

科目名 <sup>1</sup>	エンジン構造 I		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科			学年	<sup>3</sup> 学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 二級自動車整備士の試験合格にむけて、ガソリン・エンジンに関する基礎知識(エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置など)を学習し、理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 三級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのガソリン・エンジンに関する基礎知識を習得する。							
受講条件	13 特になし							
教科書名	14 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名	15 JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16 パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17 なし			
関連前科目	18 なし			関連後科目	19 エンジン整備I・II			
20 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月14日	総論	18世紀に誕生した自動車から現在までの自動車の歴史を学び、自動車の動力源の時代別の変化を理解し、現在主流となっている動力源を把握することができる。				三級自動車整備士(総合) P13-14 パワーポイント	
第2回	4月21日	総論	内燃機関の分類についての説明が出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P49 パワーポイント	
第3回	5月12日	エンジン本体(シリンダ)	シリンダ、ピストン、クランクシャフトなどを理解し、説明することが出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P56-65 パワーポイント	
第4回	5月19日	エンジン本体(フライホイール)	フライホイール、カムシャフトの部品名称や構造・作動を理解し、説明することが出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P67-68 パワーポイント	
第5回	5月26日	エンジン本体(カムシャフト)	カムシャフト、やバルブ機構の部品名称や構造・作動を理解し、説明することが出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P67-68 パワーポイント	
第6回	6月2日	エンジン本体(バルブタイミング)	バルブタイミングダイアグラムの作り方や、トルク、排気量等の計算を理解し、説明することが出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P52 パワーポイント	
第7回	6月7日	エンジン本体(作動)	2、4サイクルエンジン(ガソリン・ディーゼル)の作動 燃焼 熱効率についての説明が出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P49-P54 パワーポイント	
第8回	6月16日	エンジン本体(熱効率)	4サイクルエンジン(ガソリン・ディーゼル)の作動 燃焼 熱効率の違いについての説明が出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P49-P54 パワーポイント	
第9回	6月23日	潤滑装置	4サイクル、2サイクルエンジン潤滑装置 ポンプクリアランスについての説明が出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P87-P92 パワーポイント	
第10回	6月31日	冷却装置(種類)	空冷・水冷・油冷についての説明が出来るようになる。冷却水の循環経路についての説明が出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P93-P94 パワーポイント	
第11回	7月7日	冷却装置(各部作動)	ウォーター・ポンプ、サーモスタットなどの名称・構造・作動を理解し、説明することが出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P94 パワーポイント	
第12回	7月14日	冷却装置(冷却水)	冷却水の濃度と凍結温度の関係や、ラジエータ、ファンの部品名称・構造を理解し、説明することが出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P97、P98 パワーポイント	
第13回	7月28日	吸排気装置(各部名称)	吸気系統及び排気系統の各部品の名称や、構造・作動を理解し、説明が出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P101-105 パワーポイント	
第14回	8月25日	吸排気装置(構造)	ガソリン・ディーゼルの吸気系統及び排気系統の構造・作動を理解し、違いを説明が出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P101-105 パワーポイント	
第15回	9月8日	期末試験	期末試験の実施と解説					
21 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	中澤 輝行			
				実務経験紹介				
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所			作成者	Check者(確認者)		
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	シャシ構造Ⅰ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識(三級自動車整備士)のうちシャシ分野である「自動車の運動性能」及び「動力伝達装置」(クラッチ、トランスミッション、トランスファ、プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト、ユニバーサル・ジョイントの原理や構造・作動の概要を学ぶ。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 三級自動車整備士の国家試験に合格できるレベルのシャシに関する知識(「自動車の運動性能」及び「動力伝達装置」)に関する原理や、構造・作動など基礎的な知識を習得する。						
受講条件	13. 特になし						
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第六章			教材名	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17. なし		
関連前科目	18. なし			関連後科目	19. シャシ整備Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月18日	自動車の運動性能	自動車に求められる三つの運動性能「走る」、「曲がる」、「止まる」の原理を理解し説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P161-164 パワーポイント
第2回	4月25日	動力伝達装置 (概要及びクラッチ)	動力伝達装置の概要および、クラッチの種類(4輪と2輪)を理解し、説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P165-166 パワーポイント
第3回	5月9日	動力伝達装置 (クラッチ本体、操作機構)	四輪のダイヤフラム・スプリング式クラッチの各部品名称や役割、構造や作動などを理解し、説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P167-169 パワーポイント
第4回	5月16日	動力伝達装置 (クラッチ本体、操作機構)	二輪のダイヤフラム・スプリング式クラッチの各部品名称や役割、構造や作動などを理解し、説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P170-173 パワーポイント
第5回	5月30日	動力伝達装置 (マニュアルトランスミッション)	トランスミッションの概要及び変速比、マニュアルトランスミッション本体の構成部品などを理解し、説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P174-176 パワーポイント
第6回	6月6日	動力伝達装置 (シンクロメッシュ機構)	シンクロメッシュ機構やインテラック機構やギヤ抜け防止機構の構成部品や、構造・作動を理解し、説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P177-180 パワーポイント
第7回	6月13日	動力伝達装置 (オートマチックトランスミッション)	オートマチックトランスミッションの構成部品であるトルクコンバータや、プランetaryギヤユニットの構成部品や構造・作動を理解し説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P180-182 パワーポイント
第8回	6月20日	動力伝達装置 (無段変速機(CVT))	無段変速機(CVT)や、変速の原理、油圧制御装置などの構成部品や構造・作動を理解し説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P183-184 パワーポイント
第9回	6月27日	動力伝達装置 (トランスミッション(二輪車))	二輪車に用いられているドグ式トランスミッションやベルト式無段変速機の構成部品や構造・作動を理解し説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P185-188 パワーポイント
第10回	7月4日	動力伝達装置 (トランスファ、プロペラ・シャフト)	トランスファやプロペラ・シャフトの構成部品や構造・作動を理解し説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P189-192 パワーポイント
第11回	7月11日	動力伝達装置 (ドライブ・シャフト、チェーン)	各ジョイント(ユニバーサル・ジョイント、フック・ジョイント、パーフィールド型ジョイント、トリボート型ジョイント)や、チェーンの構成部品や構造・作動を理解し説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P192-195 パワーポイント
第12回	7月18日	動力伝達装置 (ファイナル・ギヤ、デファレンシャル)	終減速比の計算や、ファイナル・ギヤ、デファレンシャルの構成部品や構造・作動を理解し説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P195-199 パワーポイント
第13回	8月1日	動力伝達装置 (点検・整備①)	これまでに学習したクラッチ、プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの点検及び整備の仕方について理解し、説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P199-202 パワーポイント
第14回	8月29日	動力伝達装置 (点検・整備②)	これまでに学習したデファレンシャル(ブロード、ギヤの歯当たり、バックラッシュ)の点検・整備について理解し、説明できるようにする。	三級自動車整備士(総合) P203-206 パワーポイント
第15回	9月5日	期末試験	期末試験の実施と解説	

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

15回目に期末試験を実施。  
 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。  
 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。  
 ③授業態度は全15回1点の減点式。 21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S): 100点~90点
②確認テスト	2位	2位				15	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		15	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	竹下 昌孝	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	電装品構造 I		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、電気の基礎的な内容及び自動車の各装置について、実習授業と連動させた内容で基礎的な構造動作を学習し、理解する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 三級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルの電装品に関する基礎知識を習得する。						
受講条件	13. 特になし						
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17. <a href="https://am.denso.com/">https://am.denso.com/</a>		
関連前科目	18. なし			関連後科目	18,19. 電装品整備 I・II		
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上/単位、実習・演習:30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月14日	電流・電圧・抵抗・直流と交流・電流の三作用	電圧と電流の違い、交流と直流の違いが説明できるようになる。電流が流れることによって起こる現象が言えるようになる。				三級自動車整備士(総合) P36-42 パワーポイント
第2回	4月21日	電子・静電気・導体不導体・半導体	電気が流れるとは、どのようなことかを理解し、電気を流す物質と流さない物質を判別できるようにする。				三級自動車整備士(総合) P43-45 パワーポイント
第3回	5月12日	磁気、電流による磁界、コイルについて	永久磁石と電磁石の違いを理解し、コイルに電流を流すとなぜ磁力が発生するのかを説明できるようにする。				三級自動車整備士(総合) P46-48 パワーポイント
第4回	5月19日	バッテリーの概要、起電原理	自動車用鉛バッテリーの仕組みを理解し、起電の原理が説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P139-145 パワーポイント
第5回	5月26日	始動装置の各部名称	始動装置の概要と、内部の各部品の役割が説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P146 パワーポイント
第6回	6月2日	始動装置の種類	プラネタリ式、直結式の違いが説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P147-5行 パワーポイント
第7回	6月7日	始動装置の点検整備	スタータ脱着時の注意事項が言えるようになる。単体のスタータが点検できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P147-6行-148 パワーポイント
第8回	6月16日	充電装置の構造(励磁式)	充電装置の内部の各部品の役割と発電の原理が説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P149-150 パワーポイント
第9回	6月23日	充電装置の構造(マグネット式)	励磁式との違い、充電装置の点検・整備ができるようになる。				三級自動車整備士(総合) P151-152 パワーポイント
第10回	6月31日	点火装置概要	点火装置の構成部品とその特性が説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P153 パワーポイント
第11回	7月7日	点火装置(点火の基礎)	電圧発生原理、相互誘導作用による高電圧の発生について説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P154 パワーポイント
第12回	7月14日	点火装置(ダイレクト・イグニッション、スパークプラグ)	ダイレクト・イグニッション方式の構造、スパークプラグの構造、種類について、それぞれ利点が説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P155-156 パワーポイント
第13回	7月28日	点火装置(点検整備)	イグニッションコイル、スパークプラグについて、点検整備が出来るようになる。				三級自動車整備士(総合) P157 パワーポイント
第14回	8月25日	余熱装置	余熱装置の役割と構造・機能を理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P158-159 パワーポイント
第15回	9月8日	期末試験	期末試験の実施と解説				
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							
21. 15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				70
②確認テスト		2位	2位				15
③課題レポート							なし
④授業態度			2位	1位			15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員			
				実務経験紹介			
更新履歴							
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

科目名 <sup>1</sup>	基礎自動車工学 I		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識および原理の概要を学ぶ。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識、整備するための基礎、基本を理解することで、国家試験に合格できるよう基礎・基本を身に付ける。						
受講条件	13. 特になし						
教科書名 <sup>14</sup>	三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章～第二章、第八章			教材名 <sup>15</sup>	JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名 <sup>16</sup>	パソコン、タブレット、apple TV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	なし		
関連前科目 <sup>18</sup>	なし			関連後科目 <sup>18,19</sup>	なし		
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	4月18日	自動車の概要	定義・歴史、自動車の分類を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P13-P14 パワーポイント	
第2回	4月25日	自動車の構造	自動車の構成・エンジンの原理・作動・構造を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P14-P17 パワーポイント	
第3回	5月9日	ガソリンエンジンの構造	エンジン本体・潤滑装置・冷却装置について、作動・構造を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P15-16 パワーポイント	
第4回	5月16日	ガソリンエンジンとジーゼルエンジン構造	燃料装置・吸排気装置について、作動・構造を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P15-17 パワーポイント	
第5回	5月30日	ガソリンエンジンとジーゼルエンジン構造	エンジンにおいて、必要な充電装置、始動装置について、ガソリンエンジンの点火装置、ジーゼルエンジンの予熱装置について、作動・構造を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P15-18 パワーポイント	
第6回	6月6日	自動車の機械要素	自動車のねじ・スプリングについて、種類・構造を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P19-P22 パワーポイント	
第7回	6月13日	自動車の機械要素	自動車のベアリング・ギヤについて、種類・構造を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P22-24 パワーポイント	
第8回	6月20日	動力伝達装置	ギヤ・ベルト及びプーリの種類・構造を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P22-25 パワーポイント	
第9回	6月27日	動力伝達装置	チェーン及びスプロケの種類・構造を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P27 パワーポイント	
第10回	7月4日	基礎的な原理・法則	熱について、原理と法則を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P29-P30 パワーポイント	
第11回	7月11日	基礎的な原理・法則	力について、原理と法則を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P30-P33 パワーポイント	
第12回	7月18日	燃料及び潤滑剤	燃料について、種類と構成を理解し、説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P33 パワーポイント	
第13回	8月1日	燃料及び潤滑剤	潤滑剤について、摩耗を防ぎ滑らかな作動に必要なことを理解し、説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P33-P34 パワーポイント	
第14回	8月29日	燃料及び潤滑剤	潤滑剤について、場所と環境によって種類を使い分けることを理解し、説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P34-P39 パワーポイント	
第15回	9月5日	期末試験	期末試験の実施と解説				
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							
15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				70
②確認テスト		2位	2位				15
③課題レポート							なし
④授業態度			2位	1位			15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
補修、追試の有無等							
シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員			
				実務経験紹介			
更新履歴							
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

科目名 <sup>1</sup>	シャシ構造Ⅱ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科			学年	<sup>3</sup> 学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	後期	開講年月 <sup>5</sup>	9月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識(三級自動車整備士)のうちシャシ分野である「アクスル及びサスペンション」、「ステアリング装置」、「ホイール及びタイヤ」の原理や構造・作動の概要を学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 三級自動車整備士の国家試験に合格できるレベルのシャシに関する知識(「アクスル及びサスペンション」、「ステアリング装置」、「ホイール及びタイヤ」)に関する原理や、構造・作動など基礎的な知識を習得する。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第六章			教材名	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17. なし			
関連前科目	18. なし			関連後科目	19. シャシ整備Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上/単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	9月29日	アクスル及びサスペンション(概要、アクスル)	アクスルの概要やアクスルのうちの独立懸架式、車軸懸架式などの構成部品や構造・作動などを理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P207-210 パワーポイント	
第2回	10月6日	アクスル及びサスペンション(サスペンション、ショックアブソーバ)	リーフ・スプリング、コイル・スプリング、トーション・バー・スプリング、エア・スプリング、ショックアブソーバスタビライザなどの構成部品や、構造・作動を理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P210-214 パワーポイント	
第3回	10月20日	アクスル及びサスペンション(四輪のサスペンション)	四輪に用いられているサスペンション(車軸懸架式サスペンションや独立懸架式サスペンション)について理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P214-218 パワーポイント	
第4回	10月27日	アクスル及びサスペンション(二輪のサスペンション)	二輪に用いられているサスペンション(フロント・アクスル、フロント・サスペンション、リヤ・アクスル、リヤ・サスペンション)について理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P218-219 パワーポイント	
第5回	11月10日	アクスル及びサスペンション(点検・整備)	これまでに学習したアクスル及びサスペンションの点検や整備(分解や組立)について理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P219-223 パワーポイント	
第6回	11月17日	ステアリング装置(概要、操作機構)	ステアリング装置の概要や、ステアリングの操作機構の構成部品や、構造・作動などについて理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P224-228 パワーポイント	
第7回	12月1日	ステアリング装置(ステアリングの機構)	ステアリング・ギヤの機構、ステアリング・リンク機構(独立懸架式、車軸懸架式)について理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P229-232 パワーポイント	
第8回	12月8日	ステアリング装置(パワーステアリング)	パワーステアリング(油圧式、電動式)の構成部品や構造・作動を理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P233-236 パワーポイント	
第9回	12月15日	ステアリング装置(点検・整備)	これまでに学習したステアリング装置の点検や整備(分解や組立)について理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P236-238 パワーポイント	
第10回	12月22日	ホイール及びタイヤ(概要、ホイール)	ホイール及びタイヤの概要や、ホイールの各名称、ホイールの取付方式及び寸法、リムの呼称について理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P239-242 パワーポイント	
第11回	1月19日	ホイール及びタイヤ(タイヤ①)	タイヤの構成部品や各部の名称、構造・作動について理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P242-245 パワーポイント	
第12回	1月26日	ホイール及びタイヤ(タイヤ②)	タイヤの種類やタイヤの呼称について理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P245-249 パワーポイント	
第13回	2月2日	ホイール及びタイヤ(タイヤに起こる異常現象)	タイヤに起こる異常現象(スタンディング・ウェーブ、ハイドロプレーニング)やホイール・バランスについて理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P249-250 パワーポイント	
第14回	2月9日	ホイール及びタイヤ(点検・整備)	これまでに学習したタイヤ及びホイールの点検や整備(分解や組立)について理解し説明できるようになる。				三級自動車整備士(総合) P250-253 パワーポイント	
第15回	2月12日	期末試験	期末試験の実施と解説					
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
21. 15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	竹下 昌孝	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員				
				実務経験紹介				
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所			作成者	Check者(確認者)		
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	基礎自動車工学Ⅱ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 学年	
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	後期	開講年月 <sup>5</sup>	9月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識および原理の概要を学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識、整備するための基礎、基本を理解することで、国家試験に合格できるよう基礎・基本を身に付ける。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名 <sup>14</sup>	三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章～第二章、第八章			教材名 <sup>15</sup>	JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名 <sup>16</sup>	パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	なし			
関連前科目 <sup>18</sup>	なし			関連後科目 <sup>18,19</sup>	なし			
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材		
第1回	9月29日	燃料	燃料に求められる性質、各種潤滑剤について性質を理解し、説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P333-334 パワーポイント		
第2回	10月6日	熱について	熱の伝導・エネルギーについて、説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P29-30 パワーポイント		
第3回	10月20日	燃焼について・力について	燃焼と力の発生を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P29-30 パワーポイント		
第4回	10月27日	力の計算(摩擦係数・偶力・軸トルク)	力と質量、トルクとモーメント計算について、説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P30-33 パワーポイント		
第5回	11月10日	重心	重心の概念を理解する。 前後の重心の位置関係を、計算で求めることが出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P30-33 パワーポイント		
第6回	11月17日	速度	物体の速度や加速度の計算を理解することで、車の速度や加速度・エンジンの回転速度等の計算が出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P30-33 パワーポイント		
第7回	12月1日	仕事と仕事率	仕事と仕事率の概念を理解することで、仕事と仕事率の計算が出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P34-35 パワーポイント		
第8回	12月8日	圧力と応力	圧力の概念(パスカルの原理)を理解することで、油圧式ブレーキなどの倍力作用を計算出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P34-35 パワーポイント		
第9回	12月15日	電気と磁気	電気と磁気の特徴を理解することで、モーターと発電機の作動原理を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P36-48 パワーポイント		
第10回	12月22日	電流と電圧	電流と電圧の関係を理解することで、電気回路の基礎的な計算が出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P36-47 パワーポイント		
第11回	1月19日	電力と電力量	電力と電力量の関係を理解することで、自動車の充電装置やバッテリーとアクセサリの電力消費を検討することが出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P36-47 パワーポイント		
第12回	1月26日	導体・不導体と半導体	導体・不導体および半導体の特性を知ること、自動車で用いられる各種センサなどに用いられる部品を性質を説明出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P43-45 パワーポイント		
第13回	2月2日	自動車の諸元	自動車の諸元に表記される各種数値の意味を理解し、排気量と圧縮比の計算が出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P34-35 パワーポイント		
第14回	2月9日	自動車の諸元 車両質量と自動車の抵抗・駆動力	自動車の車両質量の意味と車両にかかる各種抵抗・駆動力や燃費の計算が出来るようになる。			三級自動車整備士(総合) P34-35 パワーポイント		
第15回	2月12日	期末試験	期末試験の実施と解説					
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	住本 直哉		シラバス承認者	小林 建次		授業担当教員		
						実務経験紹介		
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所			作成者	Check者(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	自動車点検・整備		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 学年	
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	後期	開講年月 <sup>5</sup>	9月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識および点検の概要を学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 自動車整備を本格的に学んでいくために求められる定期点検の内容を理解し、正確に作業を行えるよう基礎知識、整備するための基礎、基本を理解することで、国家試験に合格できるよう基礎・基本を身に付ける。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章～第二章、第八章			教材名	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17. なし			
関連前科目	18. なし			関連後科目	19. 検査法			
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上/単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材		
第1回	9月29日	点検の概要(重要性)	自動車点検の意味・種類を理解する。			三級自動車整備士(総合) P13-14 パワーポイント		
第2回	10月6日	四輪自動車の日常点検	四輪・二輪自動車の日常点検および新車無料点検の内容を理解する。			三級自動車整備士(総合) P341-P357 パワーポイント		
第3回	10月20日	二輪自動車の日常点検	自動車の定期点検の種類・内容を理解し説明できるようになる。。			三級自動車整備士(総合) P341-P357 パワーポイント		
第4回	10月27日	エンジン点検	四輪・二輪のエンジンの各点検項目について説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P341-P357 パワーポイント		
第5回	11月10日	エンジン点検	エンジンの点検について、エンジンオイル・冷却水・補器類の駆動ベルトの点検の仕方を説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P341-P359 パワーポイント		
第6回	11月17日	エンジン点検	エンジンの点検について、エアクリーナ・フューエルフィルタ・バッテリー・予熱装置の点検の仕方を説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P341-P360 パワーポイント		
第7回	12月1日	エンジン点検	エンジンの点検について、バルブクリアランス・圧縮圧力・点火装置・排気装置の点検の仕方を説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P341-P361 パワーポイント		
第8回	12月8日	シャシ点検	シャシの点検について、二輪特有の点検を理解し、説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P341-P362 パワーポイント		
第9回	12月15日	シャシ点検	シャシの点検について、クラッチ・オートマテックトランスミッションの点検の仕方を説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P341-P363 パワーポイント		
第10回	12月22日	シャシ点検	シャシの点検について、プロペラシャフト・ユニバーサルジョイント・デフアレシタルの点検の仕方を説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P341-P364 パワーポイント		
第11回	1月19日	シャシ点検	シャシの点検について、アクスル及びサスペンション・ステアリング・ホイールの点検の仕方を説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P341-P365 パワーポイント		
第12回	1月26日	シャシ点検	低圧電気について、特性と危険性を理解し、説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P366 パワーポイント		
第13回	2月2日	電装点検	電装品について、サーキットテスタで適切な測定方法を説明することが出来る。			三級自動車整備士(総合) P341-P367 パワーポイント		
第14回	2月9日	電装点検	点検で行なった作業内容・点検結果をお客様に説明するときの順番、要点を理解する。			三級自動車整備士(総合) P341-P367 パワーポイント		
第15回	2月12日	期末試験	期末試験期末試験の実施と解説の実施と解説					
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
21. 15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	住本 直哉		シラバス承認者	小林 建次		授業担当教員		
						実務経験紹介		
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	日本語 I		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科		学年 <sup>3</sup>	1学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	民間検定
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	2	時間数 <sup>9</sup>	60	該当資格名称 <sup>10</sup>	日本語能力試験 N2
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	J L P T (日本語能力試験) N2に合格できる力を身につける。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	J L P T (日本語能力試験) N2相当の読解力を身につける。						
受講条件	特になし						
教科書名 <sup>14</sup>	TRY! N2 文法から伸ばす日本語			教材名 <sup>15</sup>	オリジナルPowerPoint		
設備名・機器名 <sup>16</sup>	P C プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	なし		
関連前科目 <sup>18</sup>	なし			関連後科目 <sup>19</sup>	日本語 II		
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 <sup>20</sup>							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第 1 回	4月14日	1. スタッフ募集のお知らせ①	イントロ(導入) / 文法1・2			TRY! N2文法から伸ばす日本語P18-19オリジナルパワーポイント	
第 2 回	4月18日	1. スタッフ募集のお知らせ②	文法3・4・5			TRY! N2文法から伸ばす日本語P20-23オリジナルパワーポイント	
第 3 回	4月21日	1. スタッフ募集のお知らせ③	文法6・7・8			TRY! N2文法から伸ばす日本語P23-26オリジナルパワーポイント	
第 4 回	4月25日	1. スタッフ募集のお知らせ④	本文内容確認(P.18) / まとめの問題			TRY! N2文法から伸ばす日本語P18、27-29オリジナルパワーポイント	
第 5 回	5月9日	2. 転任のあいさつ(1)①	イントロ(導入) / 文法9・10			TRY! N2文法から伸ばす日本語P30-32オリジナルパワーポイント	
第 6 回	5月12日	2. 転任のあいさつ(1)②	文法11・12・13			TRY! N2文法から伸ばす日本語P32-34オリジナルパワーポイント	
第 7 回	5月16日	2. 転任のあいさつ(1)③	文法14・15 / 本文内容確認(P.30)			TRY! N2文法から伸ばす日本語P30、34-37オリジナルパワーポイント	
第 8 回	5月19日	2. 転任のあいさつ(2)①	文法16・17・18			TRY! N2文法から伸ばす日本語P38-42オリジナルパワーポイント	
第 9 回	5月26日	2. 転任のあいさつ(2)②	文法19・20・21			TRY! N2文法から伸ばす日本語P42-44オリジナルパワーポイント	
第 10 回	5月30日	2. 転任のあいさつ(2)③	本文内容確認(P.38) / まとめの問題			TRY! N2文法から伸ばす日本語P38、45-49オリジナルパワーポイント	
第 11 回	6月2日	3. ホテルの仕事①	イントロ(導入) / 文法22・23			TRY! N2文法から伸ばす日本語P50-52オリジナルパワーポイント	
第 12 回	6月6日	3. ホテルの仕事②	文法24・25・26			TRY! N2文法から伸ばす日本語P53-55オリジナルパワーポイント	
第 13 回	6月9日	3. ホテルの仕事③	文法27・28・29			TRY! N2文法から伸ばす日本語P55-57オリジナルパワーポイント	
第 14 回	6月13日	3. ホテルの仕事④	本文内容確認(P.50) / まとめの問題			TRY! N2文法から伸ばす日本語P50、58-61オリジナルパワーポイント	
第 15 回	6月16日	4. 台風情報①	イントロ(導入) / 文法30・31			TRY! N2文法から伸ばす日本語P62-64オリジナルパワーポイント	
第 16 回	6月20日	4. 台風情報②	文法32・33・34			TRY! N2文法から伸ばす日本語P64、66オリジナルパワーポイント	
第 17 回	6月23日	4. 台風情報③	文法35・36 / 本文内容確認(P.62)			TRY! N2文法から伸ばす日本語P66-68、62オリジナルパワーポイント	
第 18 回	6月27日	4. 台風情報④	まとめの問題			TRY! N2文法から伸ばす日本語P69-71オリジナルパワーポイント	
第 19 回	6月30日	5. 就職活動(1)①	イントロ(導入) / 文法37・38			TRY! N2文法から伸ばす日本語P72-74オリジナルパワーポイント	
第 20 回	7月4日	5. 就職活動(1)②	文法39・40・41			TRY! N2文法から伸ばす日本語P74-76オリジナルパワーポイント	
第 21 回	7月7日	5. 就職活動(1)③ 5. 就職活動(2)①	文法42 / 本文内容確認(P.72) / 文法43			TRY! N2文法から伸ばす日本語P76-77、72、78-79オリジナルパワーポイント	
第 22 回	7月11日	5. 就職活動(2)②	文法44・45・46			TRY! N2文法から伸ばす日本語P79-81オリジナルパワーポイント	
第 23 回	7月14日	5. 就職活動(2)③	文法47 / 本文内容確認(P.78) / まとめの問題			TRY! N2文法から伸ばす日本語P81-82、78、83-85オリジナルパワーポイント	
第 24 回	7月18日	6. 苦勞した5年間(1)①	イントロ(導入) / 文法48・49			TRY! N2文法から伸ばす日本語P86-88オリジナルパワーポイント	
第 25 回	7月28日	6. 苦勞した5年間(1)②	文法50・51・52			TRY! N2文法から伸ばす日本語P88-90オリジナルパワーポイント	
第 26 回	8月1日	6. 苦勞した5年間(1)③ 6. 苦勞した5年間(2)①	本文内容確認(P.86) / 文法53・54			TRY! N2文法から伸ばす日本語P86、92-94オリジナルパワーポイント	
第 27 回	8月25日	6. 苦勞した5年間(2)②	文法55・56・57			TRY! N2文法から伸ばす日本語P94-97オリジナルパワーポイント	
第 28 回	8月29日	6. 苦勞した5年間(2)③	文法58・59 / 本文内容確認(P.92)			TRY! N2文法から伸ばす日本語P97-98、92オリジナルパワーポイント	
第 29 回	9月5日	前期期末試験対策	前期期末試験復習			TRY! N2文法から伸ばす日本語オリジナルパワーポイント	
第 30 回	9月8日	前期期末試験	前期期末試験と解説の実施				
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 <sup>21</sup>							

単位認定 総合成績60点以上 及び 出席率90%以上  
 (期末試験 50分間) (確認テスト: 毎時限行う場合10分・範囲ごとに行う場合30分)

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準 <small>21.</small>
①成績判定試験	1位	2位				70	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト	2位	2位				15	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート						なし	良 (B) : 79点~70点
④授業態度			2位	1位		15	可 (D) : 69点~60点
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	横山 あかり	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	日本語 I		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科			学年	<sup>3</sup> 学年	
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	後期	開講年月 <sup>5</sup>	9月	該当資格区分 <sup>6</sup>	民間検定		
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	2	時間数 <sup>9</sup>	60	該当資格名称 <sup>10</sup>	日本語能力試験 N2		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	J L P T (日本語能力試験) N2に合格できる力を身につける。								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	J L P T (日本語能力試験) N2相当の読解力を身につける。 自動車に関する用語 (漢字) の読み書きができるようになる。…授業で小テストを実施								
受講条件	特になし								
教科書名 <sup>14</sup>	TRY! N2 文法から伸ばす日本語			教材名 <sup>15</sup>	オリジナルPowerPoint				
設備名・機器名 <sup>16</sup>	P C プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	なし				
関連前科目 <sup>18</sup>	なし			関連後科目 <sup>19</sup>	日本語 II				
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 <sup>20</sup>									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材		
第1回	9月29日	6. 苦労した5年間 (2) ④	まとめの問題				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P99-102オリジナルパワーポイント		
第2回	10月3日	7. オオカミと生態系 (1) ①	イントロ (導入) / 文法60・61				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P103-106オリジナルパワーポイント		
第3回	10月6日	7. オオカミと生態系 (1) ②	文法62・63・64				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P106-108オリジナルパワーポイント		
第4回	10月10日	7. オオカミと生態系 (1) ③ 7. オオカミと生態系 (2) ①	文法65 / 本文内容確認(P.103) / 文法66				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P108-109、103、109-112オリジナルパワーポイント		
第5回	10月17日	7. オオカミと生態系 (2) ②	文法67・68・69				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P112-114オリジナルパワーポイント		
第6回	10月20日	7. オオカミと生態系 (2) ③	文法70・71・72				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P114-116オリジナルパワーポイント		
第7回	10月24日	7. オオカミと生態系 (2) ④	本文内容確認(P.111) / まとめの問題				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P111、117-121オリジナルパワーポイント		
第8回	10月27日	8. 取引先で①	イントロ (導入) / 文法73・74				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P122-124オリジナルパワーポイント		
第9回	11月7日	8. 取引先で②	文法75・76・77				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P125-127オリジナルパワーポイント		
第10回	11月10日	8. 取引先で③	本文内容確認(P.122) / まとめの問題				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P122、128-130オリジナルパワーポイント		
第11回	11月17日	JLPT N2 模擬試験	公式問題集 N2 模擬試験 (*聴解を除く)				公式問題集オリジナルパワーポイント		
第12回	11月21日	JLPT N2 直前対策授業① (*模試で誤答が多かった問題の解説)	公式問題集 N2 模擬試験 (文字語彙) 解答解説				公式問題集オリジナルパワーポイント		
第13回	11月28日	JLPT N2 直前対策授業② (*模試で誤答が多かった問題の解説)	公式問題集 N2 模擬試験 (文法) 解答解説				公式問題集オリジナルパワーポイント		
第14回	12月1日	JLPT N2 直前対策授業③ (*模試で誤答が多かった問題の解説)	公式問題集 N2 模擬試験 (読解) 解答解説				公式問題集オリジナルパワーポイント		
第15回	12月5日	JLPT N2 直前対策授業④ (*模試で誤答が多かった問題の解説)	公式問題集 N2 模擬試験 (読解) 解答解説				公式問題集オリジナルパワーポイント		
第16回	12月8日	9. 食べ放題 (1) ①	イントロ (導入) / 文法78・79				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P131-133オリジナルパワーポイント		
第17回	12月12日	9. 食べ放題 (1) ②	文法80・81・82				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P133-135オリジナルパワーポイント		
第18回	12月15日	9. 食べ放題 (1) ③	文法83・84 / 本文内容確認(P.131)				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P135-137、131オリジナルパワーポイント		
第19回	12月19日	9. 食べ放題 (2) ①	文法85・86・87				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P138-140オリジナルパワーポイント		
第20回	12月22日	9. 食べ放題 (2) ②	文法88・89・90				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P140-142オリジナルパワーポイント		
第21回	1月16日	9. 食べ放題 (2) ③	文法91 / 本文内容確認 (P.138) / まとめの問題				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P143-144、138、145-147オリジナルパワーポイント		
第22回	1月19日	10. 満員電車 (1) ①	イントロ (導入) / 文法92・93				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P148-150オリジナルパワーポイント		
第23回	1月23日	10. 満員電車 (1) ②	文法94・95 / 本文内容確認(P.148)				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P150-152、148オリジナルパワーポイント		
第24回	1月26日	10. 満員電車 (2) ①	文法96・97・98				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P153-155オリジナルパワーポイント		
第25回	1月30日	10. 満員電車 (2) ②	文法99 / 本文内容確認(P.153) / まとめの問題				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P155-156、153、157-159オリジナルパワーポイント		
第26回	2月2日	11. ラーメンの紹介①	イントロ (導入) / 文法100・101				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P160-162オリジナルパワーポイント		
第27回	2月6日	11. ラーメンの紹介②	文法102・103・104				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P162-164オリジナルパワーポイント		
第28回	2月9日	後期期末試験対策	後期期末試験対策 (復習)				TRY! N2文法から伸ばす日本語 オリジナルパワーポイント		
第29回	2月12日	11. ラーメンの紹介③	文法105・106 / 本文内容確認(P.160)				TRF! N2文法から伸ばす日本語 P165-167、160オリジナルパワーポイント		
第30回	2月13日	前期期末試験	後期期末試験						
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 <sup>21</sup>									
単位認定 総合成績60点以上 及び 出席率90%以上 (期末試験 50分間) (確認テスト: 毎時限行う場合10分・範囲ごとに行う場合30分)									
↓判定方法\該当する観点→			知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準

①成績判定試験	1位	2位				70	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト	2位	2位				15	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート						なし	良 (B) : 79点~70点
④授業態度			2位	1位		15	可 (D) : 69点~60点
⑤作品						なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	横山 あかり	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	日本語能力3級		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 1学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	民間検定
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	日本語能力試験 N2
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 JLPT (日本語能力試験) N2に合格できる力を身につける。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 JLPT (日本語能力試験) N2相当の語彙・文法を身につける。 第2回JLPTでN2取得を目指す。 自動車に関する用語(漢字)の読み書きができるようになる。						
受講条件	13 とくになし						
教科書名	14 TRY! N2 文法から伸ばす日本語 8か国語でわかる整備用語(各回20問出題)			教材名	15 TRY! N2 文法から伸ばす日本語 8か国語でわかる整備用語(各回20問出題)		
設備名・機器名	16 PC プロジェクター			関連サイト	17 なし		
関連前科目	18 なし			関連後科目	19 日本語能力2級		

20. 授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上単位、実習・演習: 30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月21日	リアル 3級 課題①	文法1-4 / 本文語彙 (P.18)	TRY! N2文法から伸ばす日本語 P19-21、18
第2回	5月19日	文法・語彙・自動車用語 第1回	文法5-8 / まとめの問題 (P.27-29)	TRY! N2文法から伸ばす日本語 P22-29
第3回	5月26日	文法・語彙・自動車用語 第2回	文法9-12 / 本文語彙 (P.30)	TRY! N2文法から伸ばす日本語 P30-33
第4回	6月2日	文法・語彙・自動車用語 第3回	文法13-16	TRY! N2文法から伸ばす日本語 P34-38
第5回	6月9日	リアル 3級 課題②	文法17-20	TRY! N2文法から伸ばす日本語 P39-43
第6回	6月16日	文法・語彙・自動車用語 第4回	文法21-24 / 本文語彙 (P.38) / まとめの問題 (P.46-49)	TRY! N2文法から伸ばす日本語 P44-53、38
第7回	6月23日	文法・語彙・自動車用語 第5回	文法25-28	TRY! N2文法から伸ばす日本語 P53-56
第8回	7月4日	リアル JLPT 模擬試験	JLPT N2 模擬試験(聴解を除く)	
第9回	9月29日	文法・語彙・自動車用語 第6回	文法29-32 / 本文語彙 (P.50) / まとめの問題 (P.59-61)	TRY! N2文法から伸ばす日本語 P57-64
第10回	10月6日	文法・語彙・自動車用語 第7回	文法33-36 / 本文語彙 (P.62) / まとめの問題 (P.69-71)	TRY! N2文法から伸ばす日本語 P65-69、62、69-71
第11回	10月20日	リアル 3級 課題③	文法37-40	TRY! N2文法から伸ばす日本語 P72-75
第12回	10月27日	文法・語彙・自動車用語 第8回	文法41-44 / 本文語彙 (P.72)	TRY! N2文法から伸ばす日本語 P76-79
第13回	11月10日	文法・語彙・自動車用語 第9回	文法45-48 / 本文語彙 (P.78) / まとめの問題 (P.83-85)	TRY! N2文法から伸ばす日本語 P80-86
第14回	11月17日	期末試験対策	試験対策問題(文法1-48 / 語彙)	
第15回	12月4日	期末試験	期末試験	

21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

単位認定 総合成績60点以上 及び 出席率90%以上  
(期末試験 50分間) (確認テスト: 毎時限行う場合10分・範囲ごとに行う場合30分)

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S): 100点~90点
②確認テスト	2位	2位				15	優(A): 89点~80点
③課題レポート						なし	良(B): 79点~70点
④授業態度			2位	1位		15	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	横山 あかり	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	キャリアデザインⅠ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 学年	
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 学校行事(入学式、体育大会、ほりかわ祭、国内研修)セミナーの受講。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 学校行事に参加し学生間の親睦を深める。企業研修、知識の習得							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. なし			教材名	15. なし			
設備名・機器名	16. なし			関連サイト	17. なし			
関連前科目	18. なし			関連後科目	19. なし			
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上/単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月14日	オリエンテーション	オリエンテーションの続き、自己紹介などを通じてこれからの学生生活について理解する。					
第2回	5月12日	JLPTについて	学校説明、JLPTについて、体育大会について、ルール解説、種目決定					
第3回	5月23日	体育大会①	チームワークや、責任感、達成感の習得できる。					
第4回	5月23日	体育大会②	チームワークや、責任感、達成感の習得できる。					
第5回	6月30日	JLPTについて②	7月6日(日)に実施されるJLPTの試験にて合格できるよう、漢字の読み書きなどを中心に学ぶ					
第6回	7月7日	マナーとルール①	日本で生活する際に必要なマナーやルールを守れるようになる。					
第7回	7月14日	マナーとルール②	日本で生活する際に必要なマナーやルールを守れるようになる。					
第8回	7月28日	夏休みについて	夏休みの過ごし方セミナー 夏期休業中の過ごし方を全員で共有しオーバーワーク等を防ぐ。					
第9回	8月25日	校内技術コンクールについて	校内技術コンクールについての事前指導の実施。					
第10回	10月31日	学園祭①	ほりかわ祭の準備、クラスで担当企画の運営準備でチームワークを発揮できる。					
第11回	11月1日	学園祭②	ほりかわ祭当日の運営において、担当企画を成功させ、企画運営に関するノウハウを習得できる。					
第12回	11月5日	国内研修	国内研修(ヤマト工場見学)にて、配送に使用される自動車の整備について学ぶことができる。					
第13回	12月8日	日本語によるスピーチ①	1年間日本語を学んできたことを踏まえ、日本語によるスピーチを実施する。					
第14回	12月15日	日本語によるスピーチ②	1年間日本語を学んできたことを踏まえ、日本語によるスピーチを実施する。					
第15回	12月22日	1年間の振り返り	〈専〉YIC京都工科大自動車学校に入学後の1年間を全員で振り返り、進級後に更に成長できるようにする。					
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
21. ①課題レポート提出。 ②授業態度は全15回1回1点の減点式。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	竹下 昌孝	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員				
				実務経験紹介				
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)			
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	エンジン実習Ⅰ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 学年
授業形態 <sup>4</sup>	実習	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	3	時間数 <sup>9</sup>	96	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、ガソリン・エンジンに関する基礎知識(エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置など)を学習し、理解する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 三級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのガソリン・エンジンに関する基礎知識と技術を習得する。						
受講条件	13. 特になし						
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名 <sup>15</sup>	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	17. なし		
関連前科目	18. なし			関連後科目 <sup>18,19</sup>	19. エンジン実習Ⅱ		
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	7月1日	エンジンの種類と基本構成、作動原理概論	内燃機関の種類(ガソリン、ディーゼル、2ストロークと4ストロークエンジン)の基本原理を理解する。主要部品(シリンダー、ピストン、クランクシャフトなど)の名称と役割を説明できるようになる。				
第2回	7月1日	一般工具と測定工具のと正しい使い方	エンジン整備で頻繁に使用する一般的な工具(スパナ、メガネレンチ、ソケットレンチ、ドライバ、プライヤーなど)や測定工具(ノギス、マイクロメーター、シリンダーゲージ、シクネスゲージなど)の原理と正確な使い方を理解し、実測できるようになる。				
第3回	7月2日	整備マニュアルの読み方、エンジン分解・組立における安全作業	エンジン整備に不可欠な整備マニュアル(修理書)や部品図の構成、見方、活用方法を理解すると共に、分解・組立作業における危険予測、適切な保護具の着用、工具の正しい取り扱い、作業手順の確認など、安全に作業を進めるための心構えを理解する。				
第4回	7月2日	ダイハツABエンジンの基本構造と脱着	ダイハツABエンジン(2気筒)の全体構造、補機類(ジェネレーター、スターターなど)の配置を理解し、模擬的にエンジン脱着手順を説明できるようになる。				ダイハツABエンジン
第5回	7月3日	エンジン補機類・吸排気系の取り外し	ダイハツABエンジンからインテークマニホールド、エキゾーストマニホールド、キャブレター/インジェクター、補機類を分解できるようになる。				ダイハツABエンジン
第6回	7月3日	バルブ、バルブスプリング、バルブステムシールの取り外しと点検	バルブスプリングコンプレッサーなど専用工具を使い、バルブ、バルブスプリング、バルブステムシールを取り外し、カーボン付着や摩耗状態を目視点検できるようになる。				ダイハツABエンジン
第7回	7月3日	シリンダーヘッド各部の測定と点検	シリンダーヘッドの歪み測定、バルブシートの摩耗、バルブステムの曲がり、バルブガイドの内径測定など、精密な点検方法を実習し、理解する。				ダイハツABエンジン
第8回	7月3日	ピストン、コンロッドの取り外しと点検	ピストンリングブライヤーなどを使用し、ピストン、ピストンリング、コンロッド、コンロッドベアリングを取り外し、摩耗や損傷を点検できるようになる。				ダイハツABエンジン
第9回	7月8日	クランクシャフト、メインベアリングの取り外しと点検	クランクシャフト、メインベアリングキャップ、メインベアリングを取り外し、ジャーナル部の摩耗、ベアリングの状態を点検できるようになる。				ダイハツABエンジン
第10回	7月8日	各部の精密測定と良否判断(シリンダー、ピストン、クランク)	シリンダーゲージを用いたシリンダー内径測定(真円度、円筒度)、マイクロメーターを用いたピストン、クランクシャフトジャーナルの外径測定を行い、整備基準値との比較から良否を判断できるようになる。				ダイハツABエンジン
第11回	7月9日	エンジン組立の準備とガスケット・シール材の選定	組立前の部品洗浄、新品ガスケットやシール材の準備、液体ガスケットの塗布方法など、組立準備の重要性を理解する。				ダイハツABエンジン
第12回	7月9日	クランクシャフトとメインベアリングの組み付けとトルク管理	メインベアリングのオイル塗布、クランクシャフトの組み付け、規定トルクでのメインベアリングキャップの締め付けを実習できるようになる。				ダイハツABエンジン
第13回	7月10日	ピストン、コンロッドの組み付けとピストンリングの向き	ピストンリングの向き、コンロッドの取り付け方向、規定トルクでのコンロッドボルトの締め付け、シリンダーへのピストン挿入を実習できるようになる。				ダイハツABエンジン
第14回	7月10日	バルブトレイン部品の組み付けとバルブクリアランスの確認	バルブ、バルブスプリング、リテーナー、コッターの組み付け、カムシャフト、ロッカーアームの搭載、バルブクリアランスの確認方法を実習できるようになる。				ダイハツABエンジン
第15回	7月10日	ダイハツEBエンジン(3気筒)の基本構造と特徴	ダイハツEBエンジン(3気筒)の全体構造、特に2気筒ABエンジンとの違い(シリンダー数、補機類の配置など)を理解する。				ダイハツEBエンジン
第16回	7月10日	ダイハツEBエンジンの分解作業(前半)	EBエンジンの補機類、吸排気系、シリンダーヘッドカバー、シリンダーヘッドの分解を実習できるようになる。				ダイハツEBエンジン
第17回	7月15日	ダイハツEBエンジンの分解作業(後半)と各部品点検	シリンダーブロック、ピストン、コンロッド、クランクシャフトの分解を実習し、ABエンジンと同様に各部品の点検測定を行えるようになる。				ダイハツEBエンジン
第18回	7月15日	ダイハツEBエンジンの組立作業(前半)	分解したEBエンジンのクランクシャフト、ピストン、コンロッドなどの下回り部品の組み付けを実習できるようになる。				ダイハツEBエンジン
第19回	7月16日	ダイハツEBエンジンの組立作業(後半)とバルブクリアランス調整	シリンダーヘッド、バルブトレイン部品の組み付け、バルブクリアランスの調整方法を実習できるようになる。				ダイハツEBエンジン
第20回	7月16日	C50オートバイエンジンの構造と特徴、車両からの脱着	C50エンジン(カブ系エンジン)の基本構造(横型、OHCなど)、車両からの脱着手順を理解する。				C50エンジン
第21回	7月17日	C50エンジンの分解作業(シリンダーヘッド、シリンダー)	C50エンジンのシリンダーヘッドカバー、カムシャフト、シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンを分解できるようになる。				C50エンジン
第22回	7月17日	C50エンジンのバルブクリアランス点検と調整	C50エンジンのバルブクリアランスの測定方法を実習し、基準値から外れている場合の調整方法を理解する。				C50エンジン
第23回	7月17日	C50エンジンのオイルポンプの良否判断と分解・点検	オイルポンプの作動原理、点検方法、良否判断基準を理解し、実際に分解して内部の摩耗などを点検できるようになる。				C50エンジン
第24回	7月17日	C50エンジンの組立作業と総合評価	分解したC50エンジンを組み立て、一連のエンジン分解・組立実習で得られた知識と技能を総合的に評価できるようになる。				C50エンジン
第25回	9月30日	内燃機関の基礎知識	内燃機関の種類(ガソリン、ディーゼル)、2ストロークと4ストロークエンジンの基本原理、主要部品(シリンダー、ピストン、クランクシャフトなど)の名称と役割を理解し、説明できるようになる。				

第26回	9月30日	4気筒ディーゼルエンジン（トヨタ2C）の全体構造と脱着手順	トヨタ2Cエンジンの全体構造、補機類（ジェネレーター、スターターなど）の配置を理解し、模擬的にエンジン脱着手順を学習する。	トヨタ2Cエンジン
第27回	10月1日	トヨタ2Cエンジン補機類・吸排気系の分解	トヨタ2Cエンジンからインテークマニホールド、エキゾーストマニホールド、補機類を分解できるようにする。	トヨタ2Cエンジン
第28回	10月1日	トヨタ2Cエンジンシリンダーヘッドの分解手順	シリンダーヘッドカバー、カムシャフト、ロッカーアーム、シリンダーヘッドの分解手順を学び、各部品を損傷させないよう慎重に取り外せるようになる。	トヨタ2Cエンジン
第29回	10月2日	トヨタ2Cエンジンバルブ関連部品の取り外しと目視点検	バルブコンプレッサーなど専用工具を使い、バルブ、バルブスプリング、バルブステムシールを取り外し、カーボン付着や摩耗状態を目視点検できるようにする。	トヨタ2Cエンジン、バルブコンプレッサー
第30回	10月2日	トヨタ2Cエンジンシリンダーヘッド関連部品の精密点検	シリンダーヘッドの歪み測定、バルブシートの摩耗、バルブステムの曲がり、バルブガイドの内径測定など、精密な点検方法を実習できるようにする。	-
第31回	10月2日	トヨタ2Cエンジンシリンダーブロック本体の分解	シリンダーヘッドを取り外した後、オイルパン、オイルストレーナー、シリンダーブロック本体を分解できるようにする。	トヨタ2Cエンジン
第32回	10月2日	トヨタ2Cエンジンピストン、コンロッド関連部品の点検	ピストンリングブライヤーなどを使用し、ピストン、ピストンリング、コンロッド、コンロッドベアリングを取り外し、摩耗や損傷を点検できるようにする。	トヨタ2Cエンジン、ピストンリングブライヤー
第33回	10月7日	トヨタ2Cエンジンクランクシャフト、メインベアリングの点検	クランクシャフト、メインベアリングキャップ、メインベアリングを取り外し、ジャーナル部の摩耗、ベアリングの状態を点検できるようにする。	トヨタ2Cエンジン
第34回	10月7日	トヨタ2Cエンジン主要部品の精密測定と良否判断	シリンダーゲージを用いたシリンダー内径測定（真円度、円筒度）、マイクロメーターを用いたピストン、クランクシャフトジャーナルの外径測定を行い、整備基準値との比較から良否を判断できるようにする。	シリンダーゲージ、マイクロメーター
第35回	10月8日	トヨタ2Cエンジン周辺部品の分解と点検	オイルポンプ、ウォーターポンプ、タイミングベルト/チェーンなどの各部品を分解し、損傷や摩耗の有無を点検できるようにする。	トヨタ2Cエンジン
第36回	10月8日	組立準備の重要性と手順	組立前の部品洗浄、新品ガスケットやシール材の準備、液体ガスケットの塗布方法など、組立準備の重要性を学び、実践できるようにする。	-
第37回	10月9日	トヨタ2Cエンジンクランクシャフトの組み付け	メインベアリングのオイル塗布、クランクシャフトの組み付け、規定トルクでのメインベアリングキャップの締め付けを実習し、習得する。	トヨタ2Cエンジン、トルクレンチ
第38回	10月9日	トヨタ2Cエンジンピストン、コンロッドの組み付け	ピストンリングの向き、コンロッドの取り付け方向、規定トルクでのコンロッドボルトの締め付け、シリンダーへのピストン挿入を実習し、習得する。	トヨタ2Cエンジン、トルクレンチ
第39回	10月9日	トヨタ2Cエンジンシリンダーヘッドの搭載と締め付け	シリンダーヘッドガスケットの装着、シリンダーヘッドの搭載、ヘッドボルトの規定トルクでの締め付け順序と複数回締め付けを実習し、習得する。	トヨタ2Cエンジン、トルクレンチ
第40回	10月9日	トヨタ2Cエンジンバルブ、カムシャフト、ロッカーアームの組み付け	バルブ、バルブスプリング、リテーナー、コッターの組み付け、カムシャフト、ロッカーアームの搭載を実習し、習得する。	トヨタ2Cエンジン
第41回	10月14日	トヨタ2Cエンジンバルブクリアランス確認と調整	バルブクリアランスの確認方法を実習し、必要に応じて調整できるようにする。	トヨタ2Cエンジン
第42回	10月14日	トヨタ2Cエンジンタイミングベルトの重要性と交換作業	トヨタ2Cの分解・組立を通して、タイミングベルトの重要性を理解し、交換作業ができるようになる。	トヨタ2Cエンジン
第43回	10月15日	トヨタ2Cインジェクションポンプの分解・組立と作動原理	インジェクションポンプの分解・組立を通して、構造や作動を理解できるようにする。	インジェクションポンプ
第44回	10月15日	オートバイエンジン（JC11）の基本構造と脱着手順	JC11エンジンの脱着分解組み付け手順を理解する。	JC11エンジン
第45回	10月16日	JC11エンジン主要部品の分解と構造理解	JC11エンジンの各部品の名称・構造・作動を理解できるようにする。	JC11エンジン
第46回	10月16日	JC11エンジンバルブクリアランスの点検・調整	JC11エンジンのバルブクリアランスの点検・調整ができるようになる。	JC11エンジン
第47回	10月16日	JC11エンジンオイルポンプの点検と良否判定	JC11エンジンのオイルポンプの良否判定ができるようになる。	JC11エンジン
第48回	10月16日	総合実習・評価	これまでの実習で得られた内燃機関の知識と技能を総合的に活用し、分解・組立、測定、点検作業を安全かつ正確に実施できるようにする。	-（必要に応じて各エンジンを使用）

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

8回目ごとに実技試験を実施。 21.  
 ①設問数は、国家資格試験に準じた内容の3問で行う。  
 ②授業態度は1回のローテーションで2.4回実施にて15点。1点ずつの減点式。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者（確認者）	
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

科目名 <sup>1</sup>	シャシ実習Ⅰ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科			学年	<sup>3</sup> 1学年
授業形態 <sup>4</sup>	実習	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	3	時間数 <sup>9</sup>	96	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、シャシの基本実習を行うことにより、整備の基礎知識や基礎技術の習得を図る。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 三級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのシャシに関する基礎知識と技術を習得する。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名 <sup>15</sup>	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	17. なし			
関連前科目	18. なし			関連後科目 <sup>18,19</sup>	19. シャシ実習Ⅱ			
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上単位、実習・演習:30コマ以上/単位								20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	7月22日	四輪車のタイヤの種類と構造	四輪車のタイヤの種類(ラジアル、アルミニウム、スチール)や構造(ラジアル、バイアス)を理解し、説明できるようになる。				タイヤ・ホイール	
第2回	7月22日	四輪車のタイヤやホイールの呼称、タイヤ表記と荷重・速度記号	四輪車のタイヤやホイールの呼称、タイヤ表記、荷重指数、速度記号などの意味を理解し、説明できるようになる。				タイヤ・ホイール	
第3回	7月23日	四輪車タイヤ脱着準備とジャッキアップホイールナットの緩め・締め付け	四輪車のタイヤ脱着に必要な工具の準備、ジャッキアップの正しい手順と安全上の注意点を習得できるようになる。ホイールナットの緩め方、締め付けトルク、締め付け順序を習得できるようになる。				ジャッキ、安全スタンド、工具、トルクレンチ	
第4回	7月23日	四輪車タイヤ脱着(手作業:タイヤレバー使用センター出し・指定位置)	タイヤレバーを使用し、四輪車のタイヤをホイールから脱着する作業を実習し、習得する。タイヤをホイールに装着する際のセンター出し、指定位置への取り付け方法を習得できるようになる。				タイヤレバー、タイヤ、ホイール	
第5回	7月24日	四輪車タイヤ脱着(タイヤチェンジャー使用)	タイヤチェンジャーを使用し、四輪車のタイヤをホイールから安全に脱着する作業を実習し、習得する。				タイヤチェンジャー、タイヤ	
第6回	7月24日	四輪車のホイールバランス調整(原理と準備)	四輪車のホイールバランス調整の必要性、原理を理解し、ホイールランサーの基本的な操作方法を習得できるようになる。				ホイールランサー	
第7回	7月24日	四輪車のホイールバランス調整(実技)	ホイールランサーを使用し、四輪車のホイールバランスを正確に調整できるようになる。				ホイールランサー	
第8回	7月24日	二輪車のタイヤ種類と構造	二輪車のタイヤ種類(チューブレス、チューブタイプ)や構造を理解し、説明できるようになる。				タイヤ・ホイール	
第9回	7月29日	二輪車のタイヤやホイールの呼称、タイヤ表記と荷重・速度記号	二輪車のタイヤやホイールの呼称、タイヤ表記、荷重指数、速度記号などの意味を理解し、説明できるようになる。				タイヤ・ホイール	
第10回	7月29日	二輪車タイヤ脱着準備と車両からの取り外し	二輪車のタイヤ脱着に必要な工具の準備、車両からのホイール取り外し手順を習得できるようになる。				二輪車、工具	
第11回	7月30日	二輪車タイヤ脱着(手作業:タイヤレバー使用)	タイヤレバーを使用し、二輪車のタイヤをホイールから脱着する作業を実習し、習得する。				タイヤレバー、タイヤ	
第12回	7月30日	二輪車タイヤ装着(手作業)	二輪車のタイヤをホイールに装着する際の手順と注意点を習得できるようになる。				タイヤ・ホイール	
第13回	7月31日	二輪車タイヤ脱着(タイヤチェンジャー使用)	タイヤチェンジャーを使用し、二輪車のタイヤをホイールから安全に脱着する作業を実習し、習得する。				タイヤチェンジャー、タイヤ	
第14回	7月31日	二輪車のホイールバランス調整(原理と準備)	二輪車のホイールバランス調整の必要性、原理を理解し、専用ホイールランサーの基本的な操作方法を習得できるようになる。				二輪車用ホイールランサー	
第15回	7月31日	二輪車のホイールバランス調整(実技)	専用のホイールランサーを用い、二輪車のホイールバランスを正確に調整できるようになる。				二輪車用ホイールランサー	
第16回	7月31日	二輪車タイヤの車両への取り付けと最終確認	二輪車のタイヤを車両に安全に取り付け、最終確認(アクスルナット締め付けトルクなど)を実施できるようになる。				二輪車、トルクレンチ	
第17回	8月4日	四輪車タイヤ及び二輪車タイヤの溝深さ点検とスリップサイン	四輪車のタイヤ溝深さの測定方法と、スリップサインの役割を理解し、点検できるようになる。				溝測定ゲージ	
第18回	8月4日	四輪車タイヤ及び二輪車タイヤの偏摩耗と損傷診断	四輪車のタイヤの偏摩耗の種類と原因、損傷(ひび割れ、カットなど)の診断方法を習得し、習得する。				タイヤ・ホイール	
第19回	8月5日	チューブレスタイヤの外周バンク修理	チューブレスタイヤの外周バンク修理の手順と注意点を習得できるようになる。				バンク修理キット	
第20回	8月5日	チューブタイプタイヤのバンク修理	チューブタイプタイヤのバンク修理の手順と注意点を習得できるようになる。				バンク修理キット	
第21回	8月6日	タイヤの総合的な良否判断	四輪車・二輪車のタイヤの点検・測定結果から、総合的にタイヤの良否を判断できるようになる。				-	
第22回	8月6日	タイヤ関連作業における安全管理の徹底	タイヤの空気圧調整、タイヤ交換、バンク修理など、タイヤ関連作業における危険予測と安全対策を徹底できるようになる。				-	
第23回	8月6日	タイヤ関連トラブルシューティング	タイヤの異常摩耗やバンクなど、タイヤ関連のトラブルの原因を特定し、適切な処置を考察できるようになる。				-	
第24回	8月6日	総合実習・評価	四輪車および二輪車のホイール・タイヤに関する一連の点検・整備、修理作業を安全かつ正確に実施できるようになる。				-	
第25回	12月9日	ドライブシャフト、フロベラシャフト、ドライブチェーンの構造や種類	動力伝達装置の基礎と概要、自動車の動力伝達装置の全体像と役割を理解し、説明できるようになる。				-	
第26回	12月9日	ファイナルギア及びテフアレンシャルギアの分解・組立、LSDとの違い	クラッチの構造と機能、二輪・四輪クラッチの構造と作動原理を理解し、説明できるようになる。				-	
第27回	12月10日	四輪車のクラッチの構造と機能	クラッチの構造と機能、クラッチディスクの摩耗測定を行い、基準値と比較できるようになる。				クラッチ単体	

第28回	12月10日	四輪車のクラッチの分解とクラッチディスクの測定	クラッチの組立と調整、分解したクラッチの正確な組立方法を理解し、実践できるようになる。	クラッチ単体
第29回	12月11日	コイル・スプリング式クラッチカバーの分解・組立	クラッチの組立と調整、クラッチの遊び調整と作動確認ができるようになる。	
第30回	12月11日	二輪車のクラッチの構造と機能(湿式多板クラッチ中心)	クラッチの組立と調整、C50車体を用いたクラッチの総合的な点検ができるようになる。	C50車体
第31回	12月11日	二輪車のクラッチの分解とクラッチディスクの測定	ファイナルギアとディファレンシャルギア、ファイナルギアとディファレンシャルギアの構造と機能を理解し、説明できるようになる。	C50車体
第32回	12月11日	四輪車のブレーキ装置：真空制御倍力装置の作動原理	ファイナルギアとディファレンシャルギア、ギアの分解手順を理解し、各 부품の点検ができるようになる。	ドライブシャフト プロペラシャフト
第33回	12月16日	四輪ディスクブレーキの分解・組立とシール交換	コイルスプリング式クラッチと総合診断、コイルスプリング式クラッチのカバーの分解と組立ができるようになる。	
第34回	12月16日	四輪ドラムブレーキの分解・組立とシール交換	コイルスプリング式クラッチと総合診断、動力伝達装置全体の異音、振動診断ができるようになる。	
第35回	12月17日	四輪ブレーキの種類と構造・機能の概説	四輪ブレーキ装置の基礎、四輪ブレーキ装置の全体像と役割を理解し、説明できるようになる。	
第36回	12月17日	四輪車のブレーキ装置：真空制御倍力装置の作動原理	四輪ブレーキ装置の基礎、真空式制動倍力装置の作動原理と構造を理解し、説明できるようになる。	
第37回	12月18日	四輪ブレーキの分解・組立とシール交換について	四輪ブレーキ装置の基礎、ブレーキの種類(ディスクブレーキ、ドラムブレーキ)とそれぞれの特徴を理解し、説明できるようになる。	単体部品
第38回	12月18日	四輪ドラムブレーキの分解・点検	四輪ブレーキの分解と点検、ブレーキキャリパ、ホイールシリンダの分解手順を理解し、各 부품の点検ができるようになる。	単体部品
第39回	12月18日	四輪ドラムブレーキの分解・点検	四輪ブレーキの分解と点検、ブレーキパッド、ブレーキシューの摩耗測定と交換基準を理解し、説明できるようになる。	単体部品
第40回	12月18日	ブレーキフルードの役割とエア抜き作業	四輪ブレーキの分解と点検、ブレーキフルードの点検と交換ができるようになる。	
第41回	12月23日	四輪ディスクブレーキの分解・組立とシール交換	四輪ブレーキの組立と調整、分解したブレーキ部品の正確な組立方法を理解し、実践できるようになる。	
第42回	12月23日	四輪ディスクブレーキの分解・組立とシール交換	四輪ブレーキの組立と調整、ブレーキのエア抜き作業ができるようになる。	
第43回	12月24日	四輪ドラムブレーキの分解・組立とシール交換	四輪ブレーキの組立と調整、ブレーキの効き具合の確認と調整ができるようになる。	
第44回	12月24日	二輪車のブレーキ装置の作動と構成及び構造・機能	二輪ブレーキ装置の基礎と分解、二輪ブレーキ装置の全体像と役割を理解し、説明できるようになる。	
第45回	12月25日	二輪ディスクブレーキの分解・組立とシール交換	二輪ブレーキ装置の基礎と分解、二輪ブレーキキャリパ、ドラムブレーキの分解手順を理解し、各 부품の点検ができるようになる。	
第46回	12月25日	二輪ドラムブレーキの分解・組立とシール交換	二輪ブレーキの組立と総合診断、分解した二輪ブレーキ部品の正確な組立方法を理解し、実践できるようになる。	
第47回	12月25日	二輪ブレーキシステムの総合点検と調整Ⅰ	二輪ブレーキの組立と総合診断、二輪ブレーキのエア抜き作業と調整ができるようになる。	
第48回	12月25日	二輪ブレーキシステムの総合点検と調整Ⅱ	二輪ブレーキの組立と総合診断、ブレーキ装置全体の総合的な機能点検とトラブルシューティングができるようになる。実習内容を総括し、説明できるようになる。	

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

8回目ごとに実技試験を実施。  
①設問数は、国家資格試験に準じた内容の3問で行う。  
②授業態度は1回のローテーションで2.4回実施にて1.5点。1点ずつの減点式。 21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト	2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	電装実習Ⅰ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科			学年	<sup>3</sup> 学年
授業形態 <sup>4</sup>	実習	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	3	時間数 <sup>9</sup>	96	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、次の各装置について、学科授業と連動させた内容で構造動作を学習する。 電子・電気関係・電磁石・電磁誘導・半導体・バッテリー・始動装置・充電装置・点火装置・灯火装置・計器類・冷暖房装置							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. エンジンやシャシにも電装品が使用されており、各分野に共通して電気の知識が必要となる。 二年生の実車授業の基礎となる装置単体を中心に電装品の知識を習得する。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章				教材名 <sup>15</sup>	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター				関連サイト <sup>17</sup>	17. なし		
関連前科目	18. なし				関連後科目 <sup>18,19</sup>	19. 電装実習Ⅱ		
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	10月21日	オリエンテーションと安全講習	電装実習の概要、目的、評価方法の説明、安全講習(工具の取り扱い、感電防止、ヒューズの重要性など)。実習施設・設備の紹介と使用上の注意。					
第2回	10月21日	オームの法則と電力の基礎Ⅰ	オームの法則(V=IR)の基本概念と、電力(P=IV)の基礎を理解する。直列回路、並列回路における電圧、電流、抵抗の関係を実習で確認する。				配線パネル	
第3回	10月22日	抵抗の測定と判読	抵抗のカラーコードの判読方法を習得し、実際の抵抗器の値をテスタで測定し比較する。抵抗の種類と特徴について学ぶ。				アナログテスタ デジタルテスタ	
第4回	10月22日	電流、電圧の測定と回路の接続	回路における電流の測定方法や、電圧降下の測定方法を習得し、電源電圧、各抵抗の電圧降下を測定する。基本的な回路(直列・並列)を配線パネル上で組んで測定する。				配線パネル	
第5回	10月23日	電気回路記号と回路図の作成Ⅰ	自動車電装回路でよく用いられる電気記号を理解し、簡単な直列回路の回路図を作成する。				配線パネル	
第6回	10月23日	電気回路記号と回路図の作成Ⅱ	複雑な並列回路や、複合回路の回路図を作成する。作成した回路図を基に、実際に回路を配線する演習。				配線パネル	
第7回	10月23日	ヒューズとリレーの基礎	自動車電装におけるヒューズの役割と種類、リレーの基本的な動作原理と役割を学ぶ。リレーを使った簡単な回路の動作確認。				アナログテスタ デジタルテスタ	
第8回	10月23日	アナログテスタ、デジタルテスタの原理と使い方	アナログテスタ、デジタルテスタの機能の内部構造、レンジ切り替え、ゼロ調整、読み取り方について学ぶ。抵抗測定、導通確認を実習。また、メリットやデメリットについて理解する。				アナログテスタ デジタルテスタ	
第9回	10月28日	安定化電源の操作と活用	安定化電源の電圧・電流設定方法、過電流保護機能について学ぶ。電源を使った簡単な回路の動作確認。				安定化電源	
第10回	10月28日	バルブ(電球)の特性と回路	自動車用バルブ(電球)の種類(フィラメント、LED)と、電流・電圧特性を学ぶ。直列・並列接続での明るさの変化を実験。					
第11回	10月29日	簡単な配線図からの回路構築Ⅰ	シンプルな配線図(例:ヘッドライト回路、ルームランプ回路)を読み取り、配線パネル上に実際に回路を構築する。					
第12回	10月29日	簡単な配線図からの回路構築Ⅱ	複数コンポーネントを含む配線図(例:ウインカー回路の片側)を読み取り、回路構築と動作確認を行う。					
第13回	10月30日	測定値の記録と考察	構築した回路の電圧、電流、抵抗値を正確に測定し、記録する。測定結果から回路の動作を考察し、レポートにまとめる。					
第14回	10月30日	回路トラブルシューティング入門	意図的に故障(断線、短絡、抵抗値異常など)を発生させた回路について、テスタを用いて故障箇所を特定する演習。					
第15回	10月30日	右ねじの法則と右手親指の法則	右ねじの法則(電流と磁界の関係)、右手親指の法則(コイルの磁界の向き)を座学と簡単な実験で理解する。					
第16回	10月30日	電磁石の製作と極性確認	コイルを巻いて電磁石を作成し、電流の向きとコイルの巻き方による磁極の変化を実験で確認する。方位磁石を用いて極性を確認する。				教材パネル	
第17回	11月11日	電磁誘導の原理	磁界の変化が電流を生み出す電磁誘導の原理を学ぶ。コイルと磁石を使って簡単な発電実験を行う。				教材パネル	
第18回	11月11日	フレミングの法則(右手の法則)	発生する誘導電流の向きを示すフレミングの右手の法則を理解する。発電機における電流の方向について考察する。				教材パネル	
第19回	11月12日	フレミングの法則(左手の法則)	電流の流れる導体に磁界が加わると発生する力の向きを示すフレミングの左手の法則を理解する。モーターの原理について考察する。					
第20回	11月12日	直流モーターの原理と動作	フレミングの左手の法則を基に、直流モーターの構造と動作原理を学ぶ。簡単な模型モーターを組み立てて動作確認。					
第21回	11月13日	交流発電機の原理と動作	電磁誘導とフレミングの右手の法則を基に、交流発電機の構造と動作原理を学ぶ。模型発電機を用いた実演と解説。					
第22回	11月13日	自動車における磁気応用	自動車の主要な電装部品(スターターモーター、オルタネーター、イグニッションコイル、各種センサーなど)における電気と磁気の応用について解説する。					
第23回	11月13日	総合実習:簡易モーターの製作と原理確認	これまでに学んだ知識(オームの法則、電磁石、フレミングの法則)を総合的に活用し、簡易モーターを製作し、その動作原理を説明する。					
第24回	11月13日	総括と応用事例、評価	電装実習Ⅰの総括。自動車電装システム全体の流れと、最新の電装技術(EV、HVなど)における電気、磁気の応用事例について解説。口頭試問、または筆記による理解度確認。					
第25回	1月20日	電気の基礎知識と安全作業:	電気の基本法則(オームの法則、キルヒホッフの法則)の基礎復習。自動車電気システムの特性と安全作業の重要性、感電・火災予防、保護具の正しい使用法。					
第26回	1月20日	バッテリーの特性と構造(基礎及び応用)	鉛バッテリーの構造メンテナンスフリーバッテリー、アイドリングストップ車用バッテリー、ハイブリッド車用バッテリー(補機バッテリー)、化学反応、比重と開放電圧の関係を詳細に理解する。電解液の役割、セルの構造と機能。				バッテリー	
第27回	1月21日	バッテリーの点検と測定(基礎):	テスターを用いた電圧測定(開放電圧、負荷時電圧)、バッテリーチェッカーを用いた点検・測定方法を習得する。比重計を用いた電解液比重の測定と状態判断。バッテリーテストの使用法と原理、内部抵抗測定の実習。サルフェーションの診断と、充電状態、健全				バッテリーテスター	

第28回	1月21日	バッテリーの脱着と初期点検:	車両からのバッテリーの安全かつ正確な脱着手順の実習。脱着後のバッテリーケース、端子、ケーブルの目視点検と簡易清掃。	ミラージュ、ワゴンR、デミオ
第29回	1月22日	バッテリー充電の方法と安全管理:	定電圧充電、定電流充電、パルス充電など、バッテリー充電の種類と原理の理解。充電電流・電圧の管理、充電時の安全注意事項(換気、保護具)を実習する。	
第30回	1月22日	バッテリーの液量調整とターミナルケア:	液栓式バッテリーの電解液量調整方法と補充液の種類。バッテリーターミナルの清掃、保護処理、緩み点検とトルク管理。	オルタネーター単体、オシロスコープ
第31回	1月22日	バッテリー総合診断とトラブルシューティング:	バッテリー上がりの原因特定(自己放電、充電不足、漏電など)と診断フロー。バッテリー関連の故障事例と対策。	
第32回	1月22日	スターターモーターの構造と作動原理:	スターターモーターの主要部品(マグネットスイッチ、モーター部、ピニオンギア、ワンウェイクラッチ)の機能と相互作用。エンジンの始動プロセスにおけるスターターモーターの役割と回路構成。	スターターモーター単体
第33回	1月27日	スターターモーターの作動テストと簡易点検:	車両搭載状態でのスターターモーターの作動確認(異音、回転不良など)。バッテリー電圧、スターターモーター印加電圧の簡易測定。	
第34回	1月27日	スターターモーターの単体点検と無負荷特性テスト:	スターターモーターを単体で電源に接続し、無負荷特性(回転速度、電流測定)を行い、良否を判断する。各測定値が示すモーターの異常状態(ブラシ摩耗、ベアリング不良など)の考察。	
第35回	1月28日	スターターモーターのオシロスコープ診断:	オシロスコープを用いてスターターモーターの電流波形や電圧波形を観測し、異常を診断する方法を学ぶ。正常波形とブラシ摩耗、コイル断線、ショートなどの異常波形との比較判別。	
第36回	1月28日	スターターモーターの脱着と組付け:	実車からのスターターモーターの安全かつ正確な脱着手順の実習。脱着時の周辺部品への影響確認と、組付け時の注意点(トルク管理など)。	
第37回	1月29日	スターターモーターの単体部品分解(基礎・応用):	取り外したスターターモーターの分解手順と、各部品(電機子、界磁コイル、ブラシホルダーなど)の取り外し。分解時の部品配置の記憶と記録の重要性。分解した各部品の摩耗、損傷、導通、絶縁抵抗などの精密点検と測定。ブラシの残量、コミュテーターの状態、ペーパー	
第38回	1月29日	スターターモーターの単体部品組立てと性能確認:	正確な組立て手順と、組立て後の機能確認。単体での通電テストと作動確認。	
第39回	1月29日	スターターシステム関連回路の点検:	スターターリレー、イグニッションスイッチ、ニュートラルセーフティスイッチなどの作動確認と導通点検。スターター回路の電圧降下テスト。	
第40回	1月29日	スターターシステム総合診断とトラブルシューティング:	スターターモーターが回らない、回りが遅い、空転するなどの症状からの故障原因特定。スターターシステム関連の故障事例と対策。	
第41回	2月3日	オルタネーターの構造と作動原理:	オルタネーターの主要部品(ステーター、ローター、ブラシ、レクチファイヤー、ボルテージレギュレーター)の機能と発電原理(交流・直流変換)を理解する。ICレギュレーター内蔵型オルタネーターの仕組みと充電制御の概要。	オルタネーター単体
第42回	2月3日	オルタネーターの車上山点検と発電量の確認:	車載状態でのオルタネーターの発電電圧(充電電圧)と発電電流の測定方法。オルタネーターベルトの張力点検と調整。	
第43回	2月4日	オルタネーターのオシロスコープ診断と整流原理(基礎・応用):	オシロスコープを用いてオルタネーターの交流出力波形を観測し、半波整流、全波整流の原理を理解する。リップル電圧の確認と整流状態の判断。ダイオード不良(オープン、ショート)時の波形異常の判別方法。電圧レギュレーターの制御波形の観測と正常・異常の判断。	
第44回	2月4日	オルタネーターの脱着と組付け:	実車からのオルタネーターの安全かつ正確な脱着手順の実習。脱着時の周辺部品への影響確認と、組付け時の注意点。	
第45回	2月5日	オルタネーターの分解・組立て(基礎・応用):	オルタネーターの分解手順と、各部品(ステーター、ローター、レクチファイヤーなど)の取り外し。解した各部品の摩耗、損傷、導通、絶縁抵抗などの精密点検と測定。レクチファイヤーのダイオードテスト、ブラシの残量、スリップリングの摩耗点検	
第46回	2月5日	オルタネーターの内部部品組立てと性能確認:	正確な組立て手順と、組立て後の機能確認。ボルテージレギュレーターの機能確認。	
第47回	2月5日	充電系統関連回路の点検:	充電警告灯回路の点検、バッテリーからオルタネーターへの配線(B端子)の電圧降下テスト。各種ヒューズと配線の健全性確認。	
第48回	2月5日	充電システム総合診断とフィードバック:	充電不良(過充電、充電不足)、充電警告灯の点灯などの症状からの故障原因特定。充電システム関連の故障事例と対策、そして実習全体の振り返りと質疑応答。	

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

8回目ごとに実技試験を実施。  
 ①設問数は、国家資格試験に準じた内容の3問で行う。  
 ②授業態度は1回のローテーションで24回実施にて15点。1点ずつの減点式。 21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点~90点	
②確認テスト	2位	2位				15	優(A):89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		15	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	確認者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

科目名 <sup>1</sup>	総合実習Ⅰ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 学年
授業形態 <sup>4</sup>	実習	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数	6	時間数 <sup>9</sup>	192	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	二級自動車整備士の試験合格にむけて、安全作業と測定について基礎知識を学習し、理解する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	三級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのガソリン・エンジンに関する基礎知識を習得する。						
受講条件	特になし						
教科書名 <sup>14</sup>	三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連 合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名 <sup>15</sup>	JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名 <sup>16</sup>	パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	なし		
関連前科目 <sup>18</sup>	なし			関連後科目 <sup>18,19</sup>	総合実習Ⅱ		
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位							20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	4月15日	手工具の基礎知識①	各ソケットレンチなどの使用方法や大きさの選択などを理解する。				
第2回	4月15日	手工具の基礎知識②	各メガネレンチ(オフセットレンチ)などの使用方法や大きさの選択などを理解する。				
第3回	4月16日	手工具の基礎知識③	各スパナレンチなどの使用方法や大きさの選択などを理解する。				
第4回	4月16日	手工具の基礎知識④	片手ハンマやポンチの使用方法を理解する。				
第5回	4月17日	手工具の基礎知識⑤	プラスドライバについて使用方法や大きさの選択などを理解する。				
第6回	4月17日	手工具の基礎知識⑥	マイナスドライバについて使用方法や大きさの選択などを理解する。				
第7回	4月17日	手工具の基礎知識⑦	スケールや組やすりなどの使用方法について理解する。				
第8回	4月17日	手工具の基礎知識⑧	十字レンチや、インパクトレンチの使用方法について理解する。				
第9回	4月22日	測定工具の取り扱い (ノギス)①	導入:ノギスの各部名称や目盛りの読み取り方、取扱いについて理解する。				
第10回	4月22日	測定工具の取り扱い (ノギス)②	ピストンピンを外径を測定し、測定時の目盛りの読み取り方などを理解する。				
第11回	4月23日	測定工具の取り扱い (ノギス)③	ピストン外径を測定し、測定時の目盛りの読み取り方などを理解する。				
第12回	4月23日	測定工具の取り扱い (ノギス)④	パルプスプリングの自由長を測定し、測定時の目盛りの読み取り方などを理解する。				
第13回	4月24日	測定工具の取り扱い (ノギス)⑤	ピストンピンの内径を測定し、測定時の目盛りの読み取り方などを理解する。				
第14回	4月24日	測定工具の取り扱い (ノギス)⑥	シリンダの内径を測定し、測定時の目盛りの読み取り方などを理解する。				
第15回	4月24日	測定工具の取り扱い (ノギス)⑦	ディプスパーを使用し、ピストンストロークなど深さの測定の仕方を理解する。				
第16回	4月24日	測定工具の取り扱い (ノギス)⑧	ディプスパーを使用し、クラッチディスクなどの深さの測定の仕方を理解する。				
第17回	5月13日	測定工具の取り扱い (マイクロメータ)①	導入:マイクロメータの各部名称や、目盛りの読み取り方、取り扱いなどについて理解する。				
第18回	5月13日	測定工具の取り扱い (マイクロメータ)②	ノギスで予備外径を測定し、適切なマイクロメータが選択できるようになる。				
第19回	5月14日	測定工具の取り扱い (マイクロメータ)③	適切なマイクロメータのゼロ点調整ができるようになる。				
第20回	5月14日	測定工具の取り扱い (マイクロメータ)④	ピストンの外径を測定し、測定時の目盛りの読み取り方などを理解する。				
第21回	5月15日	測定工具の取り扱い (マイクロメータ)⑤	ピストンピンの外径を測定し、測定時の目盛りの読み取り方などを理解する。				
第22回	5月15日	測定工具の取り扱い (マイクロメータ)⑥	パルプシステムの外径を測定し、測定時の目盛りの読み取りができるようになる。				
第23回	5月15日	測定工具の取り扱い (マイクロメータ)⑦	カムシャフトの長径と短径を測定し、測定時の目盛りの読み取りができるようになる。				
第24回	5月15日	測定工具の取り扱い (マイクロメータ)⑧	測定した、カムシャフトの長径と短径からカムリフトを算出できるようになる。				
第25回	5月20日	測定工具の取り扱い (ダイヤルゲージ)①	導入:ダイヤルゲージの各部名称や、取扱いについて理解する。				
第26回	5月20日	測定工具の取り扱い (ダイヤルゲージ)②	測定物、常盤、Vブロック、ダイヤルゲージスタンド、ダイヤルゲージなどを正しくセットし、目盛りが読み取れるようになる。				
第27回	5月21日	測定工具の取り扱い (ダイヤルゲージ)③	ダイヤルゲージのゼロ点調整の仕方を理解し、実践できるようになる。				
第28回	5月21日	測定工具の取り扱い (ダイヤルゲージ)④	クランクシャフトの振れの測定方法を理解し、実践できるようになる。				
第29回	5月22日	測定工具の取り扱い (ダイヤルゲージ)⑤	クランクシャフトの曲がりの算出方法を理解し、実践できるようになる。				

第30回	5月22日	測定工具の取り扱い (ダイヤルゲージ)⑥	カムシャフトの振れの測定方法を理解し、実践できるようになる。	
第31回	5月22日	測定工具の取り扱い (ダイヤルゲージ)⑦	カムシャフトの曲がりの算出方法を理解し、実践できるようになる。	
第32回	5月22日	測定工具の取り扱い (ダイヤルゲージ)⑧	クランクシャフトの軸方向のガタの測定方法を理解し、実践できるようになる。	
第33回	5月27日	測定工具の取り扱い (シリンダゲージ)①	導入：シリンダゲージの各部名称や、取扱いについて理解する。	
第34回	5月27日	測定工具の取り扱い (シリンダゲージ)②	2気筒エンジンの測定にてノギスで予備径を測定し、正しいマイクロメータを選択することができる。	
第35回	5月28日	測定工具の取り扱い (シリンダゲージ)③	マイクロメータをゼロ点調整したのち、予備径に数字を合わせシリンダゲージのゼロ点調整する方法を理解し、実践できるようになる。	
第36回	5月28日	測定工具の取り扱い (シリンダゲージ)④	2気筒エンジンの軸方向の測定方法を理解し、実践できるようになる。	
第37回	5月29日	測定工具の取り扱い (シリンダゲージ)⑤	2気筒エンジンの軸と直角方向の測定方法を理解し、実践できるようになる。	
第38回	5月29日	測定工具の取り扱い (シリンダゲージ)⑥	3気筒エンジン軸方向の測定方法を理解し、実践できるようになる。	
第39回	5月29日	測定工具の取り扱い (シリンダゲージ)⑦	3気筒エンジン軸と直角方向の測定方法を理解し、実践できるようになる。	
第40回	5月29日	測定工具の取り扱い (シリンダゲージ)⑧	4気筒エンジンの測定方法を理解し、実践できるようになる。	
第41回	6月3日	測定工具の取り扱い (ピッチゲージ)①	ピッチゲージを用いてボルトのピッチを測定することができるようになる。	
第42回	6月3日	測定工具の取り扱い (シクネスゲージ)①	シクネスゲージを用いてシリンダブロック上面のひずみの点検ができるようになる。	
第43回	6月4日	測定工具の取り扱い (シクネスゲージ)②	シクネスゲージを用いてバルブクリアランスが測定できるようになる。	
第44回	6月4日	楕円度の算出	測定したシリンダ内径の楕円度の算出方法を理解し、実践できるようになる。	
第45回	6月5日	テーパ度の算出	測定したシリンダ内径のテーパ度の算出方法を理解し、実践できるようになる。	
第46回	6月5日	摩耗度の算出	測定したシリンダ内径の摩耗度の算出方法を理解し、実践できるようになる。	
第47回	6月5日	ピストンクリアランスの算出	測定したピストン外径及びシリンダ内径からピストンクリアランスを算出する方法を理解し、実践できるようになる。	
第48回	6月5日	各エンジンの良否判定	各エンジンの測定結果や算出した数値から良否判定ができるようになる。	
第49回	6月10日	ジャッキアップについて①	導入：ジャッキの名称や正しい使用方法について理解する。	
第50回	6月10日	ジャッキアップについて②	車両のジャッキアップ、ジャッキダウン時の注意点を理解し、実践できるようになる。	
第51回	6月11日	リフト操作について①	導入：リフトの正しい使用方法について理解し、実践できるようになる。	
第52回	6月11日	リフト操作について②	車両のリフトアップ、リフトダウン時の注意点を理解し、実践できるようになる。	
第53回	6月12日	ボディチェックについて	導入：受付時にお客様の車のボディチェックを行う重要性を理解する。	
第54回	6月12日	ボディチェックについて	ボディチェックのやり方や、記録の仕方などを理解し、実践できるようになる。	
第55回	6月12日	カバー類について	シートカバー、フロアマット、フェンダーカバーなどをする重要性を理解し、実践できるようになる。	
第56回	6月12日	室内の点検について	日常点検のうち、室内の点検の仕方を理解し、実践できるようになる。	
第57回	6月17日	灯火類の点検について①	日常点検のうち、灯火類の点検にて、灯火類の操作の仕方について理解し、実践できるようになる。	
第58回	6月17日	灯火類の点検について②	日常点検のうち、灯火類の点灯状態の点検について理解し、実践できるようになる。	
第59回	6月18日	灯火類の点検について③	日常点検のうち、灯火類のレンズの損傷や取り付け状態について理解し、実践できるようになる。	
第60回	6月18日	エンジンルームの点検について①	エンジンルームの点検のうち、ブレーキフルード、ウィンドウォッシュャ、エンジンオイルなどの点検の仕方を理解し、実践できるようになる。	
第61回	6月19日	エンジンルームの点検について②	エンジンルームの点検のうち、冷却水、バッテリーの液量などの点検の仕方を理解し、実践できるようになる。	
第62回	6月19日	タイヤの点検①	日常点検のうち、タイヤの摩耗・損傷などを点検の仕方を理解し、実践できるようになる。	
第63回	6月19日	タイヤの点検②	日常点検のうち、タイヤの溝深さの測定の仕方を理解し、実践できるようになる。	
第64回	6月19日	タイヤの点検③	日常点検のうち、タイヤの空気圧の測定や調整の仕方を理解し、実践できるようになる。	
第65回	6月24日	二輪車の日常点検①	バイクの日常点検のうち、ブレーキの遊び、動き具合の点検の仕方を理解し、実践できるようになる。	
第66回	6月24日	二輪車の日常点検②	バイクの日常点検のうち、ブレーキ液の量の点検の方法について理解し、実践できるようになる。	
第67回	6月25日	二輪車の日常点検③	バイクの日常点検のうち、エンジンオイルの量の点検の方法について理解し、実践できるようになる。	
第68回	6月25日	二輪車の日常点検④	バイクの日常点検のうち、灯火類の点検の仕方を理解し、実践できるようになる。	
第69回	6月26日	二輪車の日常点検⑤	バイクの日常点検のうち、タイヤの空気圧、亀裂、損傷、異常摩耗、溝の深さなどの点検の仕方を理解し、実践できるようになる。	

第70回	6月26日	二輪車の日常点検⑥	バイクの日常点検のうち、冷却水の量の点検の仕方を理解し、実践できるようになる。
第71回	6月26日	二輪車の日常点検⑦	バイクの日常点検のうち、エンジンのかかり具合・異音・バッテリー液の量の点検の仕方を理解し、実践できるようになる。
第72回	6月26日	二輪車の日常点検⑧	バイクの日常点検のうち、チェーンの緩みの点検について理解し、実践できるようになる。
第73回	11月18日	各工具類の使用について①	各工具の使用方法を改めて復習し、正しい使用方法について理解し実践できるようになる。
第74回	11月18日	各工具類の使用について②	安全作業の重要性として、正しい工具の使い方を理解し、実践できるようになる。
第75回	11月19日	安全作業について①	前期の復習として、ジャッキやリジトラック、輪留めを使用し、安全に車両をジャッキアップ、ジャッキダウンすることができる。
第76回	11月19日	安全作業について②	前期の復習として、リフトアップやリフトダウン時に安全に車両を上げ下げすることができる。
第77回	11月20日	車両の各部名称について①	車両を整備するうえで、エンジンルーム内の大まかな名称について理解する。
第78回	11月20日	車両の各部名称について②	車両を整備するうえで、車両足回りの大まかな名称について理解する。
第79回	11月20日	ホイールベアリングのガタの点検①	導入：ホイールベアリングの点検の仕方を理解する。
第80回	11月20日	ホイールベアリングのガタの点検②	ホイールベアリングの点検を理解し、実践できるようになる。
第81回	11月25日	タイヤの脱着①	タイヤの脱着について、正しい順番でボルト又はナットを緩め安全に取り外すことができる。
第82回	11月25日	タイヤの脱着②	タイヤの脱着について、正しい順番でボルト又はナットを締め安全に取り付けることができる。
第83回	11月26日	フロントブレーキの点検①	フロントブレーキの分解の仕方を理解し、実践できるようになる。
第84回	11月26日	フロントブレーキの点検②	フロントブレーキのパッドの点検の仕方を理解し、実践できるようになる。
第85回	11月27日	フロントブレーキの点検③	フロントブレーキのディスクの点検の仕方を理解し、実践できるようになる。
第86回	11月27日	フロントブレーキの点検④	フロントブレーキのパッドの組付けやキャリパの組み付けなどを理解し、実践できるようになる。
第87回	11月27日	リアブレーキの点検①	ドラムブレーキを外す際の注意点を理解し、実践できるようになる。
第88回	11月27日	リアブレーキの点検②	ブレーキライニングの測定の仕方を理解し、実践できるようになる。
第89回	12月2日	リアブレーキの点検③	ホイールシリンダの点検の仕方を理解し、実践できるようになる。
第90回	12月2日	リアブレーキの点検④	ドラムブレーキの組付け方法を理解し、実践できるようになる。
第91回	12月3日	パーキングブレーキの点検①	パーキングブレーキレバーの引きしろの点検の仕方を理解し、実践できるようになる。
第92回	12月3日	パーキングブレーキの点検②	パーキングブレーキペダルの踏みしろの点検の仕方を理解し、実践できるようになる。
第93回	12月4日	パーキングブレーキの点検③	ドラムブレーキのパーキングブレーキの調整の仕方を理解し、実践できるようになる。
第94回	12月4日	パーキングブレーキの点検④	インドラムのパーキングブレーキの調整の仕方を理解し、実践できるようになる。
第95回	12月4日	ブレーキの引きずりの点検①	フロントブレーキの引きずりの点検の仕方を理解し、実践できるようになる。
第96回	12月4日	ブレーキの引きずりの点検②	リアブレーキの引きずりの点検仕方を理解し、実践できるようになる。

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

21.

8回目ごとに実技試験を実施。

21.

- ①設問数は、国家資格試験に準じた内容の3問で行う。  
②授業態度は1回のローテーションで24回実施にて15点。1点ずつの減点式。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S)：100点～90点 優(A)：89点～80点 良(B)：79点～70点 可(D)：69点～60点 不可(E)：59点以下
②確認テスト	2位	2位				15	
③課題レポート						なし	
④授業態度			2位	1位		15	
⑤作品						なし	
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	エンジン構造Ⅱ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	3学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 二級自動車整備士の試験合格にむけて、ジーゼル・エンジンとは何か、ガソリン・エンジンとの構造や作動の違い、共通点等を学習する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 三級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのジーゼル・エンジンに関する基礎知識を習得する。						
受講条件	13 特になし						
教科書名 <sup>14</sup>	三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名 <sup>15</sup>	JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名 <sup>16</sup>	パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	なし		
関連前科目 <sup>18</sup>	なし			関連後科目 <sup>19</sup>	エンジン整備Ⅰ・Ⅱ		

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月14日	総論	1年次の前期の復習、ジーゼル・エンジンの歴史や概要、ガソリン・エンジンとの違いを理解し、説明することが出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) 前期使用パワーポイント
第2回	4月21日	燃料装置	キャブレターの概要と構造・機能及び電子制御式燃料噴射装置の概要についての説明が出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) P106-108 パワーポイント
第3回	5月12日	燃料装置	燃料装置の燃料保管容器及び構成部品の構造・作動についての説明が出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) P109-110 パワーポイント
第4回	5月19日	燃料装置	燃料装置(ジーゼルエンジン・機械式燃料噴射装置)についての説明が出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) P111-112 パワーポイント
第5回	5月26日	電子盛業装置 (ガソリン・エンジン)	電子制御燃料装置(ガソリン)の各センサ・ECU・アクチュエータについての説明が出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) P113-114 パワーポイント
第6回	6月2日	電子盛業装置 (ガソリン・エンジン)	電子制御装置(ガソリンエンジン)の制御系統の各種センサの作動を理解し、説明することが出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) P115-116 パワーポイント
第7回	6月7日	電子盛業装置 (ガソリン・エンジン)	電子制御装置(ガソリンエンジン)の制御系統の各種センサの作動を理解し、説明することが出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) P117-119 パワーポイント
第8回	6月16日	電子盛業装置 (ガソリン・エンジン)	電子制御装置(ガソリンエンジン)の制御系統の各種センサの作動を理解し、説明することが出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) P119-121 パワーポイント
第9回	6月23日	電子盛業装置 (ガソリン・エンジン)	電子制御装置(ガソリンエンジン)のスクランツールを用いた時と用いない時の整備を理解し、説明することが出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) P121-123 パワーポイント
第10回	6月31日	電子盛業装置 (ジーゼル・エンジン)	電子制御燃料装置(ジーゼル)の各アクチュエータについての説明が出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) P124-126 パワーポイント
第11回	7月7日	電子盛業装置 (ジーゼル・エンジン)	電子制御燃料装置(ジーゼルエンジン・コモンレール式高圧燃料噴射装置)についての説明が出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) P127-130 パワーポイント
第12回	7月14日	排出ガス浄化装置	排気ガスの発生過程とその成分について説明することが出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) P131-132 パワーポイント
第13回	7月14日	排出ガス浄化装置	触媒コンバータ・三元触媒・EGR装置等についての説明が出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) P132-135 パワーポイント
第14回	8月25日	車載式故障診断装置	車載式故障診断装置についての説明が出来るようになる。	三級自動車整備士(総合) P136-137 パワーポイント
第15回	9月8日	期末試験	期末試験の実施と解説	

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

15回目に期末試験を実施。  
 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。  
 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。  
 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。 21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点~90点	
②確認テスト	2位	2位				15	優(A):89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		15	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	シャシ構造Ⅲ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科			学年	2学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 二級自動車整備士の試験合格にむけて、自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識(三級自動車整備士)のうちシャシ分野である「ホイール・アライメント」、「ブレーキ装置」、「フレーム及びボデー」、「安全装置」の原理や構造・作動の概要を学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 三級自動車整備士の国家試験に合格できるレベルのシャシに関する知識(「ホイール・アライメント」、「ブレーキ装置」、「フレーム及びボデー」、「安全装置」)に関する原理や、構造・作動など基礎的な知識を習得する。							
受講条件	13 特になし							
教科書名 <sup>14</sup>	三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第六章			教材名 <sup>15</sup>	JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名 <sup>16</sup>	パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	なし			
関連前科目 <sup>18</sup>				関連後科目 <sup>19</sup>	シャシ整備Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	10月3日	ホイール・アライメント (概要、ホイールアライメント)	ホイール・アライメントの概要及びキャンバ、キャスト、キング・ピン傾角、トー、スラスト角、セット・バック、左右のホイールの切れ角(ターニング・ラジラス)について理解し説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P254-258 パワーポイント
第2回	10月10日	ホイール・アライメント (点検・整備)	これまでに学習したホイール・アライメントの点検及び整備について理解し説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P258-263 パワーポイント
第3回	10月17日	ブレーキ装置 (概要、フット・ブレーキ)	ブレーキ装置の概要及び油圧式ブレーキの構成部品、構造・作動について理解し説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P264-267 パワーポイント
第4回	10月24日	ブレーキ装置 (配管、ドラム・ブレーキ)	ブレーキ・パイプ及びブレーキ・ホースの構成部品、ドラム・ブレーキの種類、構成部品、構造・作動について理解し説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P267-273 パワーポイント
第5回	11月7日	ブレーキ装置 (ディスク・ブレーキ)	ブレーキ・ディスクの構成部品、種類、構成部品、構造・作動について理解し説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P273-276 パワーポイント
第6回	11月21日	ブレーキ装置 (ブレーキ液、制動倍力装置)	ブレーキ液や、制動倍力装置、フル・エア式ブレーキの構成や構造・作動について理解し説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P276-279 パワーポイント
第7回	11月28日	ブレーキ装置 (安全装置)	各安全装置(液面警告装置、アンチロック装置)の構成部品や構造・作動について理解し説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P279-280 パワーポイント
第8回	12月5日	ブレーキ装置 (パーク・ブレーキ)	手動式パーク・ブレーキ、電動式パーク・ブレーキの構成部品や構造・作動について理解し説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P280-283 パワーポイント
第9回	12月12日	ブレーキ装置 (点検・整備)	これまでに学習したブレーキ装置の点検や整備(分解や組立)について理解し説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P284-287 パワーポイント
第10回	12月19日	フレーム及びボデー (概要、フレーム、ボデー)	フレーム及びボデーの概要及び、フレーム、ボデーの構成部品や構造について理解し説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P288-295 パワーポイント
第11回	1月16日	フレーム及びボデー (ボデー機能部品)	ボデー機能部品(ウインド・ガラス、ドア・ロック機構、ウインド・レギュレータ、バンパ、ミラー)について理解し説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P295-292 パワーポイント
第12回	1月23日	フレーム及びボデー (ボデーの塗装、点検・整備)	ボデーの塗装やこれまでに学習したフレーム及びボデーに関する点検や整備について理解し、説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P299-300 パワーポイント
第13回	1月30日	安全装置 (概要、予防安全装置)	安全装置の概要や予防安全装置(アクティブ・セーフティ)について理解し説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P301-302 パワーポイント
第14回	2月6日	安全装置 (衝突安全装置、乗員の保護)	衝突安全装置(パッシブ・セーフティ)やELRシート・ベルト、プリテンショナ・シート・ベルト、SRSエアバックについて理解し説明できるようになる。	三級自動車整備士(総合) P302-303 パワーポイント
第15回	2月13日	期末試験	期末試験の実施と解説	

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

15回目に期末試験を実施。  
①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。  
②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。  
③授業態度は全15回1回1点の減点式。 21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点~90点	
②確認テスト	2位	2位				15	優(A):89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		15	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	竹下 昌孝	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	電装品構造Ⅱ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	3学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 二級自動車整備士の試験合格にむけて、電気の基礎的な内容及び自動車の各装置について、実習授業と連動させた内容で基礎的な構造動作を学習し、理解する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 三級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルの電装品に関する基礎知識を習得する。						
受講条件	13 特になし						
教科書名	14 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名	15 JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名	16 パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17 <a href="https://www.jaspa.or.jp/association/publication/">https://www.jaspa.or.jp/association/publication/</a>		
関連前科目	18 なし			関連後科目	18,19 電装品整備Ⅰ・Ⅱ		
20 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上単位、実習・演習:30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	4月14日	灯火装置の概要	車両の各灯火装置の役目が答えられるようになる。バルブの種類を理解し、使用されているバルブの選択ができるようになる。			三級自動車整備士(総合) P306-309 24行 パワーポイント	
第2回	4月21日	灯火装置の作動	各灯火の作動を理解し、特にデマスイッチ及びライトコントロールスイッチの回路で電気の流れが説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P309 25行 -312 パワーポイント	
第3回	5月12日	リレー	リレーの構造、用途、回路構成ができるようになる。			三級自動車整備士(総合) P313 パワーポイント	
第4回	5月19日	灯火装置の作動(前照灯)	ヘッドライトスイッチ、ターンシグナルランプの点検、ヘッドライトの光軸調整の手順が説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P314-316 パワーポイント	
第5回	5月26日	計器類(各部名称)	計器について、各種ゲージ類と警報装置の作動条件を説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P317-318 8行 パワーポイント	
第6回	6月2日	計器類(作動方式)	ステップモータ式と交差コイル式及びオドメータ・トリップメータの作動原理が説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P318 9行-319 パワーポイント	
第7回	6月7日	計器類(各センサ)	フューエルゲージ・ウォーターテンパレチャゲージ、およびオイルプレッシャスイッチの作動原理が説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P320-322 パワーポイント	
第8回	6月16日	冷暖房装置(構造・機能)	自動車エアコンユニットの構造、機能が説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P323-324 パワーポイント	
第9回	6月23日	冷暖房装置(冷凍サイクル)	自動車エアコンユニットの、冷媒サイクルの名称、役割、状態の作動についてが説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P325 パワーポイント	
第10回	6月31日	冷暖房装置(整備)	自動車エアコンユニット整備手順について説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P326 パワーポイント	
第11回	7月7日	ホーン(警告器)	ホーンの構造、作動原理が説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P327-328 13行 パワーポイント	
第12回	7月14日	ウィンドシールド・ワイパ	ワイパモータ・リンク機構について、作動原理が説明できるようになる。			三級自動車整備士(総合) P328 14行-329 パワーポイント	
第13回	7月28日	ウィンドシールド・ウォッシャ	ウィンドウォッシャ構造、各部名称と点検項目について説明ができるようになる。			三級自動車整備士(総合) P330-331 パワーポイント	
第14回	8月25日	総合復習 国家試験受験対策	三級国家試験問題を使用し、習熟度確認として模擬試験の実施と解説			三級自動車整備士(総合) パワーポイント	
第15回	9月8日	期末試験	期末試験の実施と解説				
21 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							
21 15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				70
②確認テスト		2位	2位				15
③課題レポート							なし
④授業態度			2位	1位			15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
補修、追試の有無等							
シラバス作成者	住本 直哉		シラバス承認者	小林 建次		授業担当教員	
						実務経験紹介	
更新履歴							
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所		作成者	Check者(確認者)	
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

科目名 <sup>1</sup>	自動車法規Ⅰ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 2学年	
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 二級自動車整備士の試験合格にむけて、自動車整備を本格的に学んでいくために求められるコンプライアンスや基礎知識(三級自動車整備士)のうち法令分野である「道路運送車両法」について学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 三級自動車整備士の国家試験に合格できるレベルの法令に関する知識「道路運送車両法」やコンプライアンスの重要性などについて基礎的な知識を習得する。							
受講条件	13 特になし							
教科書名	14 自動車整備士の図解3級法令 令和6年(2024年)版/株式会社公論出版/令和6年4月/初版発行/第1編、第2編			教材名	15 JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16 パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17 なし			
関連前科目	18 なし			関連後科目	18,19 自動車法規Ⅱ・Ⅲ			
20 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	10月3日	自動車整備士として守るべきコンプライアンス①	自動車整備士として守るべきコンプライアンスとして、「道路運送車両法」、「労働基準法」、「環境保護法」などについて理解し説明できるようになる。				パワーポイント	
第2回	10月10日	自動車整備士として守るべきコンプライアンス②	自動車整備士として守るべきコンプライアンスとして、「個人上昇保護法」、「リコール対応」、「安全作業の遵守」などについて理解し説明できるようになる。				パワーポイント	
第3回	10月17日	道路運送車両法(総則、登録制度、保安基準)	道路運送車両法の「総則」、「登録制度」、「保安基準」などについて理解し、説明できるようになる。				自動車整備士の図解3級法令 P4-6、P8、P9-10 パワーポイント	
第4回	10月24日	道路運送車両法(点検整備制度、検査制度①)	道路運送車両法の「点検整備制度」、「検査制度」などについて理解し、説明できるようになる。				自動車整備士の図解3級法令 P11-15 パワーポイント	
第5回	11月7日	道路運送車両法(検査制度②、整備事業)	道路運送車両法の「登録制度」、「整備事業」などについて理解し、説明できるようになる。				自動車整備士の図解3級法令 P16-19 パワーポイント	
第6回	11月21日	道路運送車両法 保安基準(自動車の構造)	道路運送車両法の保安基準として、「自動車の構造」について理解し説明できるようになる。				自動車整備士の図解3級法令 P21-25 パワーポイント	
第7回	11月28日	道路運送車両法 保安基準(自動車の装置①)	道路運送車両法の保安基準として、「自動車の装置」のうち原動機及び動力伝達装置、走行装置、操縦装置、かじ取装置、旋錠装置などについて理解し説明できるようになる。				自動車整備士の図解3級法令 P26-30 パワーポイント	
第8回	12月5日	道路運送車両法 保安基準(自動車の装置②)	道路運送車両法の保安基準として、「自動車の装置」のうち制動装置、緩衝装置、燃料装置、電気装置などについて理解し説明できるようになる。				自動車整備士の図解3級法令 P30-34 パワーポイント	
第9回	12月12日	道路運送車両法 保安基準(自動車の装置③)	道路運送車両法の保安基準として、「自動車の装置」のうち車体及び車枠、巻込防止装置、突入防止装置、乗車装置、運転者席、座席などについて理解し説明できるようになる。				自動車整備士の図解3級法令 P35-39 パワーポイント	
第10回	12月19日	道路運送車両法 保安基準(自動車の装置④)	道路運送車両法の保安基準として、「自動車の装置」のうち座席ベルト、頭部後傾抑止装置、年少者用補助乗車装置等、非常口、窓ガラス、騒音防止装置、ばい煙、悪臭のあるガス、有害ガス等の発散防止装置などについて理解し説明できるようになる。				自動車整備士の図解3級法令 P40-46 パワーポイント	
第11回	1月16日	道路運送車両法 保安基準(自動車の装置⑤)	道路運送車両法の保安基準として、「自動車の装置」のうち灯火等の共通基準、走行用前照灯、すれ違い用前照灯、前部霧灯、車幅灯などについて理解し説明できるようになる。				自動車整備士の図解3級法令 P47-49 パワーポイント	
第12回	1月23日	道路運送車両法 保安基準(自動車の装置⑥)	道路運送車両法の保安基準として、「自動車の装置」のうち側方灯及び側方反射器、番号灯、尾灯、後部反射器などについて理解し説明できるようになる。				自動車整備士の図解3級法令 P50-51 パワーポイント	
第13回	1月30日	道路運送車両法 保安基準(自動車の装置⑦)	道路運送車両法の保安基準として、「自動車の装置」のうち大型後部反射器、制動灯、補助制動灯、後退灯、方向指示器などについて理解し説明できるようになる。				自動車整備士の法令教本 P52-54 パワーポイント	
第14回	2月6日	道路運送車両法 保安基準(自動車の装置⑧)	道路運送車両法の保安基準として、「自動車の装置」のうち警音器、非常用信号用具、盗難発生警報装置、後写鏡、その他の装置などについて理解し説明できるようになる。				自動車整備士の法令教本 P55-57 パワーポイント	
第15回	2月13日	期末試験	期末試験の実施と解説					
21 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度			2位		1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	竹下 昌孝	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員				
				実務経験紹介				
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)				
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	エンジン整備Ⅰ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	3 <sup>2</sup> 学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	後期	開講年月 <sup>5</sup>	9月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、エンジンに関する基礎知識のうち「エンジン本体」について学ぶ。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 二級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのエンジンに関する基礎知識を習得する。						
受講条件	13. 特になし						
教科書名	14. 二級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17. なし		
関連前科目	18. エンジン構造Ⅰ・Ⅱ			関連後科目	18,19. なし		
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	9月29日	総論(エンジンの概要)	燃焼方式、定容・定圧・複合サイクルについて説明ができるようになる				二級自動車整備士(総合) P13-15 パワーポイント
第2回	10月6日	総論(エンジンの燃焼)	ガソリン・ディーゼルエンジンそれぞれの燃焼状態・熱効率・諸損失についての理解と、正常な燃料噴射タイミングや着火タイミング、異常燃焼(ノッキング)の原因と対策の説明ができるようになる。				二級自動車整備士(総合) P16-19 パワーポイント
第3回	10月20日	総論(排出ガス)	エンジンの排出ガスの発生過程及び有害物質の浄化対策について説明ができるようになる(有害ガスの低減方法、火炎伝播速度)				二級自動車整備士(総合) P19-24 パワーポイント
第4回	10月27日	エンジン本体(シリンダ・ヘッド)	燃焼室形状の種類とスキッシュ・エリアの役割、シリンダヘッドガスケットについて、理解し説明ができるようになる。				二級自動車整備士(総合) P25-29 パワーポイント
第5回	11月10日	エンジン本体(シリンダ・ピストン)	ピストン・リングに起こる異常現象について説明ができるようになる(スカップ現象、スティック現象、フラッタ現象、フラッタ現象の発生頻度)				二級自動車整備士(総合) P29-31 パワーポイント
第6回	11月17日	エンジン本体(コンロッド)	コンロッド、コンロッド・ベアリングの要素(肉厚、クラッシュ・ハイト、張り)について説明ができるようになる。				二級自動車整備士(総合) P32-33 パワーポイント
第7回	12月1日	小テスト	小テストの実施、解答と解説				二級自動車整備士(総合)
第8回	12月8日	エンジン本体(クランク・シャフト)	クランクシャフトに働く力、ジャーナル・ベアリング、トーショナル・ダンパについて説明ができるようになる				二級自動車整備士(総合) P33-34 パワーポイント
第9回	12月15日	エンジン本体(バルブ機構)	カムシャフト、やバルブ開閉機構の部品名称や構造・作動を理解し、説明することが出来るようになる。				二級自動車整備士(総合) P35-37 パワーポイント
第10回	12月22日	エンジン本体(バルブ機構)	バルブ開閉機構の部品名称や構造・作動および、バルブ・クリアランス自動調整機構を理解し、説明することが出来るようになる。				二級自動車整備士(総合) P37 パワーポイント
第11回	1月19日	エンジン本体(タイミング・チェーン)	タイミング・チェーン(ベルト)の構造と機能について理解し、自動調整式テンションについて説明ができるようになる。				二級自動車整備士(総合) P36-37 パワーポイント
第12回	1月26日	エンジン本体(可変バルブ機構)	可変バルブ機構が必要な理由、体積効率と吸気慣性効果との関係性を理解する。				二級自動車整備士(総合) P38 パワーポイント
第13回	2月2日	エンジン本体(可変バルブ機構)	可変バルブ機構の構造と作動が説明できるようになる(可変バルブ・タイミング機構)				二級自動車整備士(総合) P39-41 パワーポイント
第14回	2月9日	エンジン本体	後期の振り返り及び総復習。				二級自動車整備士(総合) パワーポイント
第15回	2月12日	期末試験	期末試験の実施と解説				
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							
21. 15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				70
②確認テスト		2位	2位				15
③課題レポート							なし
④授業態度			2位	1位			15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
補修、追試の有無等							
シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員			
				実務経験紹介			
更新履歴							
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

科目名 <sup>1</sup>	シャシ整備Ⅰ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科			学年	2学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	後期	開講年月 <sup>5</sup>	9月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. これまでに学習したシャシ分野の基礎知識(三級自動車整備士)をもとに、二級自動車整備士の試験合格にむけて、シャシに関する原理や構造・作動、整備に関する知識をより詳しく学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 二級自動車整備士の国家試験に合格できるレベルのシャシに関する知識(「総論」、「動力伝達装置」)に関する原理や、構造・作動、整備の方法に関する知識を習得する。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名 <sup>14</sup>	二級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和6年10月/初版発行/第二章			教材名 <sup>15</sup>	JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名 <sup>16</sup>	パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	なし			
関連前科目 <sup>18</sup>	シャシ構造Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			関連後科目 <sup>18,19</sup>	なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	9月29日	総論 (自動車の発達、自動車の性能)	自動車の発達や自動車の走行抵抗のうち「転がり抵抗」と「空気抵抗」について理解し説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P69-73 パワーポイント
第2回	10月6日	総論 (自動車の性能)	自動車の性能のうち「勾配抵抗」、「加速抵抗」および走行性能曲線図などについて理解し、説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P73-78 パワーポイント
第3回	10月20日	動力伝達装置 (概要、クラッチ)	動力伝達装置の「概要」や「マニュアル・トランスミッション(MT)のクラッチ」、「自動速心クラッチ(二輪車)」などの構造・作動を理解し、説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P79-83 パワーポイント
第4回	10月27日	動力伝達装置 (オートマチック・トランスミッション)	動力伝達装置のオートマチック・トランスミッションに用いられている「遊星歯車(プランタリ・ギヤ・ユニット)式」、「トルクコンバータ」の構造・作動を理解し説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P83-86 パワーポイント
第5回	11月10日	動力伝達装置 (変速機構)	動力伝達装置のオートマチック・トランスミッションに用いられている「各クラッチ及びロー・リバース・ブレーキ」、「バンド・ブレーキ機構」などの各種機構や「変速の仕組み」について構造・作動を理解し説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P87-91 パワーポイント
第6回	11月17日	動力伝達装置 (電子制御装置)	動力伝達装置のオートマチック・トランスミッションに用いられている「センサ及びアクチュエータ」、「ECUによる制御機能」などについて理解し、説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P91-94 パワーポイント
第7回	12月1日	動力伝達装置 (油圧制御装置)	動力伝達装置のオートマチック・トランスミッションに用いられている「油圧制御装置」、「自動変速線図」などについて理解し、説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P94-97 パワーポイント
第8回	12月8日	動力伝達装置 (油圧回路①)	動力伝達装置のオートマチック・トランスミッションに用いられている「油圧回路」のDレンジ1速~4速の油圧回路及び動力伝達経路について理解し説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P98-109 パワーポイント
第9回	12月15日	動力伝達装置 (油圧回路②)	動力伝達装置のオートマチック・トランスミッションに用いられている「油圧回路」のPレンジ、Nレンジ、Rレンジの油圧回路及び動力伝達経路について理解し説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P98-109 パワーポイント
第10回	12月22日	動力伝達装置 (ロックアップ機構)	動力伝達装置のオートマチック・トランスミッションに用いられている「ロックアップ機構」、「安全装置」について理解し説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P109-113 パワーポイント
第11回	1月19日	動力伝達装置 (CVT)	動力伝達装置の「無段変速式トランスミッション(CVT)」の構成部品、構造・作動などについて理解し、説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P114-117 パワーポイント
第12回	1月26日	動力伝達装置 (パト式自動無段変速機)	動力伝達装置のCVTに用いられている「パト式自動無段変速機(二輪車)」の構成部品、構造・作動などについて理解し、説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P117-121 パワーポイント
第13回	2月2日	動力伝達装置 (デフディファレンシャル)	動力伝達装置の「差動制限型デフディファレンシャル」、「インタ・アクスル・デフディファレンシャル」の構成部品、構造・作動などについて理解し、説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P121-124 パワーポイント
第14回	2月9日	動力伝達装置 (整備)	これまでに学習した、動力伝達装置の「保守に係る点検・整備」について理解し、説明できるようにする。	二級自動車整備士(総合) P124-129 パワーポイント
第15回	2月12日	期末試験	期末試験の実施と解説	

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

15回目に期末試験を実施。  
①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。  
②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。  
③授業態度は全15回1回1点の減点方式。 21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点~90点	
②確認テスト	2位	2位				15	優(A):89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		15	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	竹下 昌孝	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	電装品整備Ⅰ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 2学年	
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	後期	開講年月 <sup>5</sup>	9月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 二級自動車整備士の試験合格にむけて、電気の基礎的な内容及び自動車の各装置について、実習授業と連動させた内容で基礎的な構造作動を学習し、理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 二級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルの電装品に関する基礎知識を習得する。							
受講条件	13 特になし							
教科書名	14 二級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名	15 JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16 パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17 なし			
関連前科目	18 電装品構造Ⅰ・Ⅱ			関連後科目	18,19 なし			
20 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材		
第1回	9月29日	バッテリー(起電力)	バッテリーの種類・起電力と電解液比重の関係が説明できるようになる			二級自動車整備士(総合) P236-237 パワーポイント		
第2回	10月6日	バッテリー(容量)	バッテリーの特性を理解して説明できるようになる (容量、特性曲線、性能特性、自己放電)			二級自動車整備士(総合) P238-240 パワーポイント		
第3回	10月20日	バッテリー(点検)	バッテリーの様々な点検方法を理解して点検できるようになる			二級自動車整備士(総合) P240-241 パワーポイント		
第4回	10月27日	始動装置(構造・特性)	プラネタリギヤ式スタータについて、エンジンの始動特性とスタータの出力特性を理解し説明ができるようになる			二級自動車整備士(総合) P253-257 パワーポイント		
第5回	11月10日	始動装置(整備)	プラネタリ式スタータの分解・点検方法、性能テスト方法を説明できるようになる			二級自動車整備士(総合) P258-260 パワーポイント		
第6回	11月17日	充電装置(機能)	三相交流の発生仕組み・結線の違いによる特長を理解して説明できるようになる			二級自動車整備士(総合) P261-262 パワーポイント		
第7回	12月1日	充電装置(整流・定電圧)	三相全波整流の仕組み・ボルテージ・レギュレータの制御について特長を理解して説明できるようになる			二級自動車整備士(総合) P263-268 パワーポイント		
第8回	12月8日	充電装置(整備)	励磁式オルタネータについて、分解・点検・故障探求ができるようになる。			二級自動車整備士(総合) P268-271 パワーポイント		
第9回	12月15日	点火装置(構造)	概要・気筒別点火装置の構成部品を理解し説明ができるようになる			二級自動車整備士(総合) P272 パワーポイント		
第10回	12月22日	点火装置(スパークプラグ)	点火装置のうち、スパークプラグについて特性と性能を理解し説明ができるようになる			二級自動車整備士(総合) P273 パワーポイント		
第11回	1月19日	点火装置(スパークプラグ)	点火装置のうち、スパークプラグについて特性と性能を理解し説明ができるようになる			二級自動車整備士(総合) P274-277 パワーポイント		
第12回	1月26日	予熱装置(ジーゼルエンジン)	ジーゼルエンジン特有の機構(予熱装置)について、回路を理解し点検することができる。			二級自動車整備士(総合) P278-279 パワーポイント		
第13回	2月2日	電子制御装置(センサ)	ガソリン・エンジンの各センサについて理解し説明ができるようになる			二級自動車整備士(総合) P280-302 パワーポイント		
第14回	2月9日	電子制御装置(アクチュエータ)	ガソリン・エンジンの各アクチュエータについて、理解し説明ができるようになる			二級自動車整備士(総合) P303-308 パワーポイント		
第15回	2月12日	期末試験	期末試験の実施と解説					
21 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
21 15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	住本 直哉		シラバス承認者	小林 建次		授業担当教員		
						実務経験紹介		
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所			作成者	Check者(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	日本語Ⅱ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科			学年	<sup>3</sup> 2学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	民間検定	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	日本語能力試験 N2	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	J L P T (日本語能力試験) N2に合格できる力を身につける。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	J L P T (日本語能力試験) N2相当の読解力を身につける。 自動車に関する用語 (漢字) の読み書きができるようになる。… 授業で小テストを実施							
受講条件	特になし							
教科書名 <sup>14</sup>	TRY! N2 文法から伸ばす日本語			教材名 <sup>15</sup>	オリジナルPowerPoint			
設備名・機器名 <sup>16</sup>	P C プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	なし			
関連前科目 <sup>18</sup>	なし			関連後科目 <sup>19</sup>	なし			
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上/単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 <sup>20</sup>								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月18日	1 2. ウォーキングシューズの 開発 (2) ①	文法116・117・118				TRY! N2文法から伸ばす日本語 P182-183 オリジナルパワーポイント	
第2回	4月25日	1 2. ウォーキングシューズの 開発 (2) ②	本文内容確認(P.185) / まとめの問題				TRY! N2文法から伸ばす日本語 P185、184-187 オリジナルパワーポイント	
第3回	5月9日	1 3. 人生の転機 (1) ①	イントロ (導入) / 文法119・120				TRY! N2文法から伸ばす日本語 P188-190 オリジナルパワーポイント	
第4回	5月16日	1 3. 人生の転機 (1) ②	文法121・122・123				TRY! N2文法から伸ばす日本語 P190-193 オリジナルパワーポイント	
第5回	5月30日	JLPT対策①	JLPT N2 模擬試験 (文字語彙・文法・読解)				公式問題集 オリジナルパワーポイント	
第6回	6月6日	JLPT対策②	JLPT N2 模擬試験 解答解説 (文字語彙・文法)				公式問題集 オリジナルパワーポイント	
第7回	6月13日	JLPT対策③	JLPT N2 模擬試験 解答解説 (文法・読解)				公式問題集 オリジナルパワーポイント	
第8回	6月20日	JLPT対策④	JLPT N2 模擬試験 解答解説 (聴解)				公式問題集 オリジナルパワーポイント	
第9回	6月27日	JLPT対策⑤	JLPT N2 模擬試験 (聴解)、解答解説含む				公式問題集 オリジナルパワーポイント	
第10回	7月4日	1 3. 人生の転機 (2) ①	文法124・本文内容確認 (P.188)・文法125				TRY! N2文法から伸ばす日本語 P193-194、188、195-196 オリジナルパワーポイント	
第11回	7月11日	1 3. 人生の転機 (2) ②	文法126・127・128				TRY! N2文法から伸ばす日本語 P196-198 オリジナルパワーポイント	
第12回	7月18日	1 3. 人生の転機 (2) ③	文法129・130・131				TRY! N2文法から伸ばす日本語 P199-201 オリジナルパワーポイント	
第13回	8月1日	1 3. 人生の転機 (2) ④	本文内容確認(P.195) / まとめの問題				TRY! N2文法から伸ばす日本語 P195、202-204 オリジナルパワーポイント	
第14回	8月29日	前期期末試験対策	前期期末試験対策問題 (復習)				TRY! N2文法から伸ばす日本語 オリジナルパワーポイント	
第15回	9月5日	前期期末試験	前期期末試験					
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 <sup>21</sup>								
単位認定 総合成績60点以上 及び 出席率90%以上 (期末試験 50分間) (確認テスト: 毎時限行う場合10分・範囲ごとに行う場合30分)								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可 (D) : 69点~60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	横山 あかり		シラバス承認者	小林 建次		授業担当教員		
						実務経験紹介		
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	日本語Ⅱ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科			学年	<sup>3</sup> 2学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	後期	開講年月 <sup>5</sup>	9月	該当資格区分 <sup>6</sup>	民間検定	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	日本語能力試験 N2	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	J L P T (日本語能力試験) N2に合格できる力を身につける。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	J L P T (日本語能力試験) N2相当の読解力を身につける。 自動車に関する用語 (漢字) の読み書きができるようになる。… 授業で小テストを実施							
受講条件	特になし							
教科書名 <sup>14</sup>	TRY! N2 文法から伸ばす日本語			教材名 <sup>15</sup>	オリジナルPowerPoint			
設備名・機器名 <sup>16</sup>	P C プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	なし			
関連前科目 <sup>18</sup>	なし			関連後科目 <sup>19</sup>	なし			
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上/単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 <span style="float:right">20.</span>								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	9月29日	1 4. オリンピックの開催について①	イントロ (導入) / 文法132・133				TRY! N2文法から伸ばす日本語 P205-207 オリジナルパワーポイント	
第2回	10月6日	1 4. オリンピックの開催について②	文法134・135・136				TRY! N2文法から伸ばす日本語 P207-209 オリジナルパワーポイント	
第3回	10月20日	1 4. オリンピックの開催について③	文法137・138・139				TRY! N2文法から伸ばす日本語 P209-211 オリジナルパワーポイント	
第4回	10月27日	就職活動を見据え、自己分析・自己PR①	① 自己分析 (長所・短所)				合同企業説明会 (11/10) のため、就職を意識させる	
第5回	11月7日	就職活動を見据え、自己分析・自己PR②	② 自己PR				合同企業説明会 (11/10) のため、就職を意識させる	
第6回	11月21日	JLPT 直前対策①	JLPT N2 文字語彙				プリント配布、解答解説	
第7回	11月28日	JLPT 直前対策②	JLPT N2 文法				プリント配布、解答解説	
第8回	12月5日	JLPT 直前対策③	JLPT N2 読解				プリント配布、解答解説	
第9回	12月12日	1 4. オリンピックの開催について④	まとめの問題 / 本文内容確認 (P.205)				TRY! N2文法から伸ばす日本語 P212-215、205 オリジナルパワーポイント	
第10回	12月19日	自動車に関する新聞記事①	① 新聞記事に出てくる語彙・表現導入				日刊自動車新聞等 オリジナルパワーポイント	
第11回	1月16日	自動車に関する新聞記事②	② 時事問題に関心を持ち、自分の意見を述べる				日刊自動車新聞等 オリジナルパワーポイント	
第12回	1月23日	自動車に関するニュース視聴①	① ニュースに出てくる語彙・表現導入				日刊自動車新聞等 オリジナルパワーポイント	
第13回	1月30日	自動車に関するニュース視聴②	② 時事問題に関心を持ち、自分の意見を述べる				日刊自動車新聞等 オリジナルパワーポイント	
第14回	2月6日	後期期末試験対策	後期期末試験対策問題 (復習)				TRY! N2文法から伸ばす日本語 オリジナルパワーポイント	
第15回	2月13日	後期期末試験	後期期末試験					
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 <span style="float:right">21.</span>								
単位認定 総合成績60点以上 及び 出席率90%以上 (期末試験 50分間) (確認テスト: 毎時限行う場合10分・範囲ごとに行う場合30分)								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可 (D) : 69点~60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	横山 あかり		シラバス承認者	小林 建次		授業担当教員		
						実務経験紹介		
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	日本語能力2級		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 学年	
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	民間検定	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	日本語能力試験 N2	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. JLPT (日本語能力試験) N2に合格できる力を身につける。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. JLPT (日本語能力試験) N2相当の語彙・文法を身につける。 第2回JLPTでN2取得を目指す。 自動車に関する用語(漢字)の読み書きができるようになる。							
受講条件	13. とくになし							
教科書名	14. TRY! N2 文法から伸ばす日本語 8か国語でわかる整備用語(各回20問出題)			教材名	15. TRY! N2 文法から伸ばす日本語 8か国語でわかる整備用語(各回20問出題)			
設備名・機器名	16. PC プロジェクター			関連サイト	17. なし			
関連前科目	18. なし			関連後科目	19. 日本語能力2級			
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上/単位、実習・演習: 30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材		
第1回	4月25日	リアル 2級 課題①	文法49-52			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P87-90		
第2回	5月9日	文法・語彙・自動車用語 第1回	文法53-56 / 本文語彙 (P.86)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P92-95		
第3回	5月16日	文法・語彙・自動車用語 第2回	文法57-60 / 本文語彙 (P.92) / まとめの問題 (P.100-102)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P96-103		
第4回	5月30日	文法・語彙・自動車用語 第3回	文法61-64			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P105-108		
第5回	6月6日	リアル 2級 課題②	文法65-68 / 本文語彙 (P.103)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P108-113		
第6回	6月13日	文法・語彙・自動車用語 第4回	文法69-72 / 本文語彙 (P.111) / まとめの問題 (P.118-121)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P114-116		
第7回	6月20日	文法・語彙・自動車用語 第5回	文法73-76 / 本文語彙 (P.122)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P123-125		
第8回	6月27日	文法・語彙・自動車用語 第6回	文法77-80 / まとめの問題 (P.128-130)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P126-133		
第9回	7月4日	リアル JLPT 模擬試験	JLPT N2 模擬試験(聴解を除く)					
第10回	9月29日	文法・語彙・自動車用語 第7回	文法81-84 / 本文語彙 (P.131)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P133-136		
第11回	10月6日	文法・語彙・自動車用語 第8回	文法85-88			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P139-140		
第12回	11月7日	リアル 2級 課題③	文法89-92 / 本文語彙 (P.138) / まとめの問題 (P.145-147)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P141-148		
第13回	11月21日	文法・語彙・自動車用語 第9回	文法93-96 / 本文語彙 (P.148)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P149-153		
第14回	11月28日	期末試験対策	試験対策問題(文法49-96 / 語彙)					
第15回	12月5日	期末試験	期末試験					
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
単位認定 総合成績60点以上 及び 出席率90%以上 (期末試験 50分間) (確認テスト: 毎時限行う場合10分・範囲ごとに行う場合30分)								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S): 100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A): 89点~80点
③課題レポート							なし	良(B): 79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D): 69点~60点
⑤作品							なし	不可(E): 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	横山 あかり		シラバス承認者	小林 建次		授業担当教員		
						実務経験紹介		
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	キャリアデザインⅡ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科		学年	3 2学年	
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 学校行事(体育大会、ほりかわ祭)、就職活動、セミナーの受講。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 学校行事に参加し学生間の親睦を深める。企業研修、知識の習得							
受講条件	13. 特になし							
教科書名 <sup>14</sup>	なし			教材名 <sup>15</sup>	なし			
設備名・機器名 <sup>16</sup>	なし			関連サイト <sup>17</sup>	なし			
関連前科目 <sup>18</sup>	なし			関連後科目 <sup>18,19</sup>	なし			
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上/単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月18日	導入	就職活動に関する心構えなど					
第2回	5月12日	スズキフレッシュマンセミナー	新人研修の一部を受講することによって社会人としてのマナーを身に付けることができる。					
第3回	5月23日	体育大会	チームワークや、責任感、達成感の習得できる。					
第4回	5月23日	体育大会	チームワークや、責任感、達成感の習得できる。					
第5回	7月4日	JLPT	JLPTの試験に向けて対策授業の実施。漢字の読み書きなどを中心に学ぶ。					
第6回	7月14日	企業訪問セミナー	夏休み企業訪問に取り組む前の準備、所作を考えることができる。					
第7回	7月18日	夏季休暇について	夏季休暇に向けてオーバーワークなどについての事前指導を実施。					
第8回	8月25日	校内技術コンクールにむけて	校内技術コンクールの概要、注意事項、取り組みについて理解できる。					
第9回	10月31日	学園祭①	ほりかわ祭の準備、クラスで担当企画の運営準備でチームワークを発揮できる。					
第10回	11月1日	学園祭②	ほりかわ祭当日の運営において、担当企画を成功させ、企画運営に関してのノウハウを習得できる。					
第11回	11月10日	合同企業説明会事前セミナー	合同企業説明会事前セミナー概要、注意事項、所作について理解することができる。					
第12回	11月14日	合同企業説明会	説明会を通して、社会人としてのマナーを身に付けることができる。					
第13回	11月17日	合同企業説明会振り返り	合同企業説明会後のフィードバック。各社概要と特徴、雇用形態を理解することができる。					
第14回	12月1日	金融セミナー	金融リテラシーの定義を理解するとともに、家計管理とライフプランニングについて考えることができる。					
第15回	12月22日	安全運転啓発セミナー	技術アジャスターによる安全運転啓蒙講座					
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
21. ①課題レポート提出。 ②授業態度は全15回1回1点の減点式。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	竹下 昌孝	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員				
				実務経験紹介				
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)			
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	エンジン実習Ⅱ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科			学年	<sup>3</sup> 学年
授業形態 <sup>4</sup>	実習	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	4	時間数 <sup>9</sup>	144	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、ガソリン・エンジンに関する基礎知識(エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置など)を学習し、理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 三級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのガソリン・エンジンに関する基礎知識と技術を習得する。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名 <sup>15</sup>	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	17. なし			
関連前科目	18. エンジン実習Ⅱ			関連後科目 <sup>18,19</sup>	19. エンジン実習Ⅲ			
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上/単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月15日	スバルFB20 エンジン分解①	導入:作業手順や注意点などを理解する。 分解・組立を通じてエンジンの構造・作動を理解する。				スバルFB20エンジン	
第2回	4月15日	スバルFB20 エンジン分解②	Vベルト、クランクプリー、チェーンカバー、タイミングチェーン、カムスプロケット、クランクスプロケットの取り外しを通じてSSTの取扱いについて理解する。				スバルFB20エンジン	
第3回	4月16日	スバルFB20 エンジン分解③	ロッカカバー、カムシャフト、カムキャリア、シリンダヘッドの取り外しを通じてエンジンの構造・作動を理解する。				スバルFB20エンジン	
第4回	4月16日	スバルFB20 エンジン分解④	シリンダブロック、ピストン、クランクシャフトの分解を通じてエンジンの構造・作動を理解する。				スバルFB20エンジン	
第5回	4月17日	スバルFB20 エンジン測定①	ピストン外径の測定				スバルFB20エンジン	
第6回	4月17日	スバルFB20 エンジン測定②	シリンダ内径の測定				スバルFB20エンジン	
第7回	4月17日	スバルFB20 エンジン測定③	シリンダブロック上面、シリンダヘッド下面のひずみの測定				スバルFB20エンジン	
第8回	4月17日	スバルFB20 エンジン測定④	各測定結果から良否判定を行う。				スバルFB20エンジン	
第9回	4月22日	スバルFB20 エンジン組立①	シリンダブロックにクランクシャフト、及びピストンを組み付ける。通常の直列型のエンジンとの違いなどを理解する。				スバルFB20エンジン	
第10回	4月22日	スバルFB20 エンジン組立②	シリンダヘッド、カムキャリア、カムシャフト、ロッカカバーを組み付ける。				スバルFB20エンジン	
第11回	4月23日	スバルFB20 エンジン組立③	カムスプロケット、クランクスプロケット、タイミングチェーンを組み付ける。タイミングベルトとの違いや、左右に1本ずつチェーンを張るなど構造などを理解する。				スバルFB20エンジン	
第12回	4月23日	スバルFB20 エンジン組立④	チェーンカバー、クランクプリー、Vベルトを組み付ける。				スバルFB20エンジン	
第13回	4月24日	三菱4G92 エンジン分解①	導入:作業手順や注意点などを理解する。 分解・組立を通じて可変バルブリフト機構の構造・作動を理解する。				三菱4G92エンジン	
第14回	4月24日	三菱4G92 エンジン分解②	補器ベルト及び、補器類の取り外しを通じて、ベルトを外すときの注意点などを理解する。				三菱4G92エンジン	
第15回	4月24日	三菱4G92 エンジン分解③	マニホールド、シリンダヘッドカバー、タイミングベルト、各スプロケットの取り外しを通じて、タイミングマークの確認など注意点を理解する。				三菱4G92エンジン	
第16回	4月24日	三菱4G92 エンジン分解④	カムシャフト、シリンダヘッドの取り外しを通じて、分解時の注意点を理解する。				三菱4G92エンジン	
第17回	5月13日	三菱4G92 エンジン測定①	カムシャフトの長径及び短径の測定時に使用する工具や、カムリフトの算出方法を理解する。				三菱4G92エンジン	
第18回	5月13日	三菱4G92 エンジン測定②	バルブリフトの算出する方法を理解する。				三菱4G92エンジン	
第19回	5月14日	三菱4G92 エンジン構造研究①	オイルコントロールバルブ及び、カムシャフトの構造を理解する。				三菱4G92エンジン	
第20回	5月14日	三菱4G92 エンジン構造研究②	可変バルブリフト機構としての作動を理解する。				三菱4G92エンジン	
第21回	5月15日	三菱4G92 エンジン組立①	シリンダヘッド、カムシャフトの組付けの際の注意点を理解する。				三菱4G92エンジン	
第22回	5月15日	三菱4G92 エンジン組立②	各スプロケット及びタイミングベルトの組付けを通じて、タイミングベルトのオートテンショナーの構造・作動、取り付け方法などを理解する。				三菱4G92エンジン	
第23回	5月15日	三菱4G92 エンジン組立③	シリンダヘッドカバー、マニホールドを組み付ける。				三菱4G92エンジン	
第24回	5月15日	三菱4G92 エンジン組立④	補器類及び、補器ベルトの組み付けを通じて、補器ベルトの張りの必要性などを理解する。				三菱4G92エンジン	
第25回	7月22日	トヨタ1Gエンジンの構造と補器類の脱着	直列6気筒エンジンの特徴、補器類(オルタネーター、パワステポンプ、エアコンコンプレッサーなど)の配置と脱着手順を学習します。					
第26回	7月22日	いすゞ4JG2エンジンの基本構造とディーゼルエンジン整備	いすゞ4JG2ディーゼルエンジンの構造を学び、ディーゼルエンジン特有の整備ポイント(燃料噴射系、グロープラグなど)を概説します。				スバチ、メガネレンチ、ソケットレンチ、ドライバー、プライヤー	
第27回	7月23日	染色浸透探傷法の原理と良否判断	金属部品の表面に存在する微細な電裂を検出する染色浸透探傷法(PT)の原理、検査手順(前処理、浸透、洗浄、現像)を学習します。実際にエンジン部品(例:コンロッド、クランクシャフトジャーナルなど)を用いて染色浸透探傷法を行い、指示模様の観察、良否判断の基準を学びます。				トヨタ2Cエンジン	
第28回	7月23日	MC33オートバイエンジンの脱着と構造	MC33エンジン(CBR250RR等)の車両からの脱着手順、V型エンジンの構造特徴、特にカムシャフトやバルブトレインの配置を学習します。				トヨタ2Cエンジン	
第29回	7月24日	MC33エンジンのシリンダヘッド点検とバルブタイミング	シリンダヘッドの分解・点検(バルブシート、バルブ、カムシャフトなど)、V型エンジンのバルブタイミングの確認方法と調整原理を学習します。				トヨタ2Cエンジン、バルブコンプレッサー	
第30回	7月24日	MC33エンジンの組立作業とバルブクリアランス調整	分解したMC33エンジンを組み立て、バルブクリアランスの正確な測定と調整方法を実習します。				-	

第31回	7月24日	スパークプラグの点検と交換	エンジン実習1で学んだスパークプラグの役割を再確認し、実習車での点検（焼け具合診断）と交換作業を実習します。	トヨタ2Cエンジン
第32回	7月24日	エアエレメント・燃料フィルターの点検と交換	エンジンの吸気系、燃料系に影響するエアクリナーエレメント、燃料フィルターの点検と交換作業を実習します。	シリンダーゲージ、マイクロメーター
第33回	7月29日	エンジンオイル・冷却水の点検と交換	エンジンオイルのレベル、汚れ、冷却水の量、汚れ、LLCの比重などの点検と、正しい交換作業を実習します。	トヨタ2Cエンジン
第34回	7月29日	エンジン異音の診断と特定（メカニカルノイズ）	エンジンから発生する異音（タペット音、ノッキング音、ベアリング音など）の聞き分け、原因の特定方法について学習します。	-
第35回	7月30日	エンジン圧縮圧力測定と診断	エンジンの圧縮圧力測定方法を実習し、各シリンダーの圧力差から、バルブ、ピストンリング、シリンダーなどの状態を診断する方法を学びます。	トヨタ2Cエンジン、トルクレンチ
第36回	7月30日	エンジン始動不良の故障探求（基礎）	エンジンが始動しない場合の基本的な診断フロー（バッテリー、スターター、燃料、点火）を学び、簡単なトラブルシューティングを行います。	トヨタ2Cエンジン、トルクレンチ
第37回	7月31日	エンジン不調（アイドル不調、加速不良）の故障探求	アイドル回転の不安定、加速不良など、エンジン不調時の原因（吸気漏れ、センサー不良など）の探求方法を学びます。	トヨタ2Cエンジン、トルクレンチ
第38回	7月31日	エンジン排気ガス診断とトラブルシューティング	排気ガスセンサーを用いたCO、HCなどの測定方法を学び、異常値が出た場合のエンジン不調原因（O2センサー、触媒、燃焼状態など）を考察します。	トヨタ2Cエンジン
第39回	7月31日	PCV（ホリティアークラックケースベンチレーション）システムの点検	PCVバルブの役割、点検方法、詰まりによるエンジン不調への影響について学習します。	トヨタ2Cエンジン
第40回	7月31日	クランクシャフト・カムシャフトセンサーの点検	エンジン回転数、位置を検出するクランクシャフトポジションセンサー、カムシャフトポジションセンサーの役割と信号の確認方法を学びます。	トヨタ2Cエンジン
第41回	8月4日	電子制御スロットル（ETC）の構造と点検	近年普及している電子制御スロットルの構造、作動原理、点検方法について学習します。	インジェクションポンプ
第42回	8月4日	エンジンオイルポンプの機能と点検	エンジンオイルポンプの種類、作動原理、故障時の影響（油圧低下）、点検方法を学習します。	スバルFB20エンジン
第43回	8月5日	エンジン冷却システム（サーモスタット、ラジエーター）の点検	オーバーヒートやオーバークールを防ぐ冷却システムの各部品（サーモスタット、ラジエーター、ウォーターポンプ）の機能と点検方法を学びます。	三菱4G92エンジン
第44回	8月5日	ラジエーターキャップと圧力テストの実施	ラジエーターキャップの機能と、冷却システムの漏れを検出する圧力テストの方法を実習します。	JC11エンジン
第45回	8月6日	エンジンマウントの点検と交換	エンジンマウントの役割、劣化時の症状（振動、異音）、目視点検による良否判断、交換作業の基礎を学習します。	JC11エンジン
第46回	8月6日	エンジン異臭（焦げ臭い、甘い）の原因と診断	エンジン関連の異臭（焦げたオイル臭、甘い冷却水臭など）の原因を特定する方法について学習します。	JC11エンジン
第47回	8月6日	エンジン整備の総合演習とトラブルシューティング	設定されたエンジントラブルに対し、これまでの知識と技術を総動員して故障診断、原因特定、修理計画を立てる総合演習を行います。	JC11エンジン
第48回	8月6日	最終成果発表とフィードバック	これまでの実習で得られたエンジン整備に関する知識と技能を総括し、グループまたは個人で発表を行います。教員からのフィードバックを通じて理解を深めます。	-（必要に応じて各エンジンを使用）
第49回	12月9日	ガイダンス、安全教育、故障診断の概要	実習の目的やスケジュール、評価方法を説明し、実習室での安全ルールや工具・測定器具の取り扱い方法を確認する。また、故障診断の基本概念（症状・原因・対策）と診断フローの基礎を講義形式で学ぶ。	
第50回	12月9日	故障診断の基礎とダイアグコードとは	故障診断の基本概念、DTC（ダイアグノーシスコード）の仕組み、読み取り方法と意味を学ぶ。	
第51回	12月10日	OBD（オンボードダイアグノーシス）の読み取り方法	スキャンツールを用いたDTCの読み取り手順と解釈方法、OBDの概要について実習を通じて理解する。	
第52回	12月10日	水温センサシステムの構造と故障症状	水温センサの構造と役割、異常時の車両挙動、故障時のダイアグノーシスコードについて解説する。	
第53回	12月11日	水温センサに関するダイアグコード読取りと診断①	DTC読み取り後の診断手順、センサ信号の確認方法、抵抗値の測定を実習する。実車にて異常状態を再現し、ダイアグコードからの故障推定と探究を行う。	ワゴンR、ミラージュ
第54回	12月11日	始動困難の原因①：燃料系統の点検	燃料ポンプの作動確認、燃圧測定、フィルター詰まりの診断を行う。	ワゴンR、ミラージュ
第55回	12月11日	始動困難の原因②：点火系統の点検	スパークプラグの点検、イグニッションコイルの信号確認、点火時期の基礎を理解する。	ワゴンR、ミラージュ
第56回	12月11日	インジェクターの基礎構造と種類 取り外しと点検準備	各種インジェクターの構造、噴射原理、動作条件を理解し、目的別の違いを把握する。インジェクターの取り外し方法、点検前準備、注意点を学ぶ。	
第57回	12月16日	インジェクターテスト①（アイドル・中速・高速）	インジェクターテストを使用し、各回転域での噴射性能を測定・評価する。	インジェクターテスト・クリーナー
第58回	12月16日	インジェクターテスト②（加速・可変速度）	加速・可変負荷状態を模擬した噴射テストを行い、噴射特性を理解する。	インジェクターテスト・クリーナー
第59回	12月17日	インジェクターの漏れ・スプレーアトマイズ①	アイドル・中速域における噴霧状態の確認と燃料漏れの有無を診断する。	インジェクターテスト・クリーナー
第60回	12月17日	インジェクターの漏れ・スプレーアトマイズ②	高速域での噴射パターンを観察し、噴霧の均一性・粒子化状況を評価する。	インジェクターテスト・クリーナー
第61回	12月18日	二輪車診断導入・OBDの違い	二輪と四輪の診断装置・手順の違い、二輪車特有の故障傾向を学ぶ。	ドゥカティ、ハーレー、GSX1000
第62回	12月18日	チェックエンジン診断①（ドゥカティ及びGSX1000）	実際のダイアグコードを読み取り、診断手順を実習する。異なる車種での故障探究を通じて診断応用力を養う。	
第63回	12月18日	温度センサの診断（二輪車）	二輪車の温度センサ信号確認、異常診断と交換方法を学ぶ。	ドゥカティ、ハーレー、GSX1000
第64回	12月18日	二輪車の始動困難の原因探究（基礎と応用）	燃料供給系・電気系を中心とした診断と原因特定を行う。複数故障の可能性を想定した実習で実践力を養う。	ドゥカティ、ハーレー、GSX1000
第65回		インジェクターの洗浄と性能復元	インジェクタークリーナーを用いて洗浄、再テストにより効果を確認する。	インジェクターテスト・クリーナー
第66回		故障事例研究①（四輪・二輪）	実際の故障例をもとに診断と修理手順をグループで検討する。複数のトラブルケースから故障判断の正確性を高める。	
第67回		診断から整備計画立案①	診断結果に基づいて整備方針を作成し、必要な作業を検討する。二輪特有の作業を含めた整備計画を作成する。	
第68回		総合演習①：症例別故障診断（グループワーク）	グループで診断→対策→実施までを一連の流れで行う。	
第69回		総合演習②：整備・修理提案プレゼン	診断結果を整理し、整備内容をプレゼン形式で発表。	
第70回		診断結果の記録と整備報告書作成	診断から修理完了までの流れを報告書として記録。	
第71回		実力確認テスト（筆記+実技）	習得した知識と技能を評価する。	
第72回		総括・フィードバック・修了式	30回の振り返りと今後の目標設定を行う。	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							21.
8回目ごとに実技試験を実施。 ①設問数は、国家資格試験に準じた内容の3問で行う。 ②授業態度は1回のローテーションで24回実施にて15点。1点ずつの減点式。							21.
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S)：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優(A)：89点～80点
③課題レポート						なし	良(B)：79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可(D)：69点～60点
⑤作品						なし	不可(E)：59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	シャシ実習Ⅱ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科		学年	学年
授業形態 <sup>4</sup>	実習	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	4	時間数 <sup>9</sup>	144	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、シャシの基本実習を行うことにより、整備の基礎知識や基礎技術の習得を図る。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 三級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのシャシに関する基礎知識と技術を習得する。						
受講条件	13. 特になし						
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17. なし		
関連前科目	18. シャシ実習Ⅱ			関連後科目	18. 19. シャシ実習Ⅲ		
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上/単位、実習・演習:30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	6月10日	トランスミッションの概要と基本構造 分解時の工具の選定	トランスミッションの種類と役割を理解する。 ギア、シャフト、ベアリングなどの役割を学ぶ。 安全な作業手順と必要な工具を把握する。				
第2回	6月10日	マニュアルトランスミッション(4速M/T)の分解実習①	ハウジングからのギアセットの取り外し、各部品の確認。 シンクロナイザー、シフトフォークなどの分解と構造確認。				4速M/T
第3回	6月11日	マニュアルトランスミッション(4速M/T)の分解実習②	シンクロナイザー、シフトフォークなどの分解と構造確認。				4速M/T
第4回	6月11日	マニュアルトランスミッション各部品の点検と測定	摩耗、損傷の確認、クリアランス測定。				4速M/T
第5回	6月12日	マニュアルトランスミッションの組立て実習①	部品の洗浄、組み付け順序の確認。 4速M/Tの正確な組立て。				4速M/T
第6回	6月12日	マニュアルトランスミッションの組立て実習②	4速M/Tの正確な組立て。				4速M/T
第7回	6月12日	マニュアルトランスミッションの作動確認と調整	シフト操作の確認、トラブルシューティング。				4速M/T
第8回	6月12日	マニュアルトランスミッションについての振り返り	そして実習全体の振り返りと質疑応答。				
第9回	6月17日	デファレンシャルギアの構造と機能	左右輪の回転差吸収の仕組みを学ぶ。				デファレンシャル単体
第10回	6月17日	ドライブシャフトの構造と種類、点検	CVジョイント、プロベラシャフトの点検方法を学ぶ。				デファレンシャル単体
第11回	6月18日	サスペンションの基本機能と重要性	車両の安定性、乗り心地、操縦性への影響を理解する。 独立懸架式(ストラット、ダブルウィッシュボーンなど)と非独立懸架式の違いを詳細に学ぶ。				
第12回	6月18日	ストラット式サスペンションの構造と機能	ショックアブソーバー、スプリング、マウント部品の役割を理解する。				サスペンション単体
第13回	6月19日	ストラット・スプリングの分解・組立 実習	スプリングコンプレッサーの使用方法和安全な分解手順を習得する。分解した部品の正確な組立てと注意点の確認。				サスペンション単体
第14回	6月19日	ダブルウィッシュボーン式サスペンションの構造と機能	上下アーム、ボールジョイントの役割を学ぶ。				
第15回	6月19日	リアサスペンションの種類と特徴(トーションビーム、マルチリンクなど)	様々なリアサスペンション方式の構造と性能の違いを理解する。				
第16回	6月19日	MC33型フロントサスペンションの構造確認	実車(またはモデル)を使用してMC33のフロントサスペンションの構成部品を確認する。				
第17回	6月24日	MC33型フロントサスペンションの分解・組付け実習	MC33型フロントサスペンションの分解・組付け時の注意点を理解し作業を実践する。				MC33型
第18回	6月24日	ステアリングシステムの概要と種類	ラック&ピニオン、ボールナット式、電動パワーステアリングなどの基礎を学ぶ。				86・ノート・ミラージュ
第19回	6月25日	ステアリングシステムの構造確認	ステアリングギアボックス、タイロッドエンドなどの構造を確認する。				
第20回	6月25日	ホイールアライメントの基本と調整	キャンバー、キャスター、トーイン/アウトの概念と調整の重要性を学ぶ。				
第21回	6月26日	タイヤ・ホイールの構造と点検	タイヤの種類、トレッド、空気圧、ホイールバランスの点検方法。				
第22回	6月26日	ブレーキシステムの概要と種類	ドラムブレーキ、ディスクブレーキ、ABSなどの基礎を学ぶ。				
第23回	6月26日	ブレーキシステムの点検と調整	ブレーキパッド/ライニング、フルード、マスターシリンダーの点検、エア抜き。				
第24回	6月26日	シャシシステムの総合点検と最終確認	これまで学習した内容を統合し、車両全体のシャシ系の点検と問題点の特定を行う。				
第25回	10月21日	自動車の動力伝達経路と基本構造①	エンジンから駆動輪までの動力伝達経路を全体像として理解し、各構成部品の役割を概説します。				
第26回	10月21日	自動車の動力伝達経路と基本構造②	エンジンから駆動輪までの動力伝達経路を全体像として理解し、各構成部品の役割を概説します。				
第27回	10月22日	オートマチックトランスミッション(AT)の歴史と種類①	ATの発展経緯、ステップAT、CVT、DCTなどの種類とそれぞれの特徴、利点・欠点を学びます。				
第28回	10月22日	オートマチックトランスミッション(AT)の歴史と種類②	ATの発展経緯、ステップAT、CVT、DCTなどの種類とそれぞれの特徴、利点・欠点を学びます。				

第29回	10月23日	トルクコンバーターの構造と機能①	トルクコンバーターの基本的な構造（ポンプ、タービン、ステーター）と、トルク増幅、流体による動力伝達の原理を学習します。	
第30回	10月23日	トルクコンバーターの構造と機能②	トルクコンバーターの基本的な構造（ポンプ、タービン、ステーター）と、トルク増幅、流体による動力伝達の原理を学習します。	
第31回	10月23日	遊星歯車機構の基礎とATへの応用①	遊星歯車機構の基本的な構造と、それがいかにしてATの変速機構に応用されているかを学びます。	
第32回	10月23日	遊星歯車機構の基礎とATへの応用②	遊星歯車機構の基本的な構造と、それがいかにしてATの変速機構に応用されているかを学びます。	
第33回	10月28日	4速ATの主要構成部品と配置①	実際の4速ATを例に、ハウジング、遊星歯車セット、クラッチ、ブレーキバンド、バルブボディなどの主要部品を識別します。	AT単体
第34回	10月28日	4速ATの主要構成部品と配置②	実際の4速ATを例に、ハウジング、遊星歯車セット、クラッチ、ブレーキバンド、バルブボディなどの主要部品を識別します。	AT単体
第35回	10月29日	各ギアの組み合わせと変速比の計算①	4速ATにおける各ギア（1速～4速、リバース）がどのように遊星歯車機構で構成され、変速比が決定されるかを学びます。	
第36回	10月29日	各ギアの組み合わせと変速比の計算②	4速ATにおける各ギア（1速～4速、リバース）がどのように遊星歯車機構で構成され、変速比が決定されるかを学びます。	
第37回	10月30日	油圧制御回路の基礎とバルブボディの役割①	ATの変速を制御する油圧回路の基本的な流れと、バルブボディ内部のバルブやソレノイドの役割を学習します。	
第38回	10月30日	油圧制御回路の基礎とバルブボディの役割②	ATの変速を制御する油圧回路の基本的な流れと、バルブボディ内部のバルブやソレノイドの役割を学習します。	
第39回	10月30日	ロックアップ機構の原理と機能4速ATの作動原理シミュレーション①	トルクコンバーターのロックアップ機構が、伝達効率を向上させるためにどのように機能するかを詳細に学びます。実際の作動原理をアニメーションやシミュレーションソフトを用いて確認し、変速時の各部品の動きを視覚的に理解します。	
第40回	10月30日	ロックアップ機構の原理と機能5速ATの作動原理シミュレーション②	トルクコンバーターのロックアップ機構が、伝達効率を向上させるためにどのように機能するかを詳細に学びます。実際の作動原理をアニメーションやシミュレーションソフトを用いて確認し、変速時の各部品の動きを視覚的に理解します。	
第41回	11月11日	AT分解作業の安全手順と工具の準備①	AT分解作業における安全上の注意点、必要な専用工具、作業手順の確認を行います。	
第42回	11月11日	AT分解作業の安全手順と工具の準備②	AT分解作業における安全上の注意点、必要な専用工具、作業手順の確認を行います。	
第43回	11月12日	4速ATの分解作業①	バルブボディ、オイルパン、サイドカバーなどの主要部品を分解し、内部構造を観察します。遊星歯車セット、クラッチパック、ブレーキバンドなどの主要機能部品を分解し、損傷や摩耗の有無を確認します。	単体部品
第44回	11月12日	5速ATの分解作業②	バルブボディ、オイルパン、サイドカバーなどの主要部品を分解し、内部構造を観察します。遊星歯車セット、クラッチパック、ブレーキバンドなどの主要機能部品を分解し、損傷や摩耗の有無を確認します。	単体部品
第45回	11月13日	各部品の点検と測定①	分解した各部品の摩耗、損傷、変形、クラッチプレートのクリアランスなどを整備マニュアルに基づき点検・測定します。	
第46回	11月13日	各部品の点検と測定②	分解した各部品の摩耗、損傷、変形、クラッチプレートのクリアランスなどを整備マニュアルに基づき点検・測定します。	
第47回	11月13日	質疑応答と復習、定期試験準備	これまでの実習内容に関する質疑応答を行い、理解が不十分な点を解消します。定期試験の準備を行います。	
第48回	11月13日	総合評価とフィードバック	定期試験または実技試験を通じて、本実習の総合的な理解度と技能を評価し、個別にフィードバックを行います。	
第49回	12月23日	4速ATの組立作業①	点検・測定を終えた部品を、整備マニュアルの指示に従って正確に組み立てていきます。締め付けトルク管理を徹底します。	
第50回	12月23日	5速ATの組立作業②	点検・測定を終えた部品を、整備マニュアルの指示に従って正確に組み立てていきます。締め付けトルク管理を徹底します。	
第51回	12月24日	電子制御ATのセンサーとアクチュエーター①	車速センサー、スロットルポジションセンサー、油温センサー、シフトソレノイドなどの役割と機能を学びます。	コペン アリスト ボルシェボクスター
第52回	12月24日	電子制御ATのセンサーとアクチュエーター②	車速センサー、スロットルポジションセンサー、油温センサー、シフトソレノイドなどの役割と機能を学びます。	コペン アリスト ボルシェボクスター
第53回	12月25日	AT-ECUの役割と制御ロジック①	オートマチックトランスミッションの電子制御ユニット（AT-ECU）が、センサー情報に基づいてどのように変速を制御するかを学びます。	
第54回	12月25日	AT-ECUの役割と制御ロジック②	オートマチックトランスミッションの電子制御ユニット（AT-ECU）が、センサー情報に基づいてどのように変速を制御するかを学びます。	
第55回	12月25日	ATの故障診断とDTCの読み取り①	診断機（スキャンツール）を用いたATの故障診断方法、DTC（診断トラブルコード）の読み取りと意味を理解します。	コペン アリスト ボルシェボクスター
第56回	12月25日	ATの故障診断とDTCの読み取り②	診断機（スキャンツール）を用いたATの故障診断方法、DTC（診断トラブルコード）の読み取りと意味を理解します。	コペン アリスト ボルシェボクスター
第57回	1月20日	無段階変速機（CVT）の原理と構造2輪CVT機構の分解・組立①	2輪および4輪のCVTの基本的な原理（プーリーとベルト）、無段階変速の仕組みを学習します。スクーターなどの2輪車用CVTを実際に分解し、プーリー、ベルト、ウェイトローラーなどの部品構造と働きを理解し、組立を行います。	リード・ズーマーX フォルツァ・マジスティ
第58回	1月20日	無段階変速機（CVT）の原理と構造3輪CVT機構の分解・組立①	2輪および4輪のCVTの基本的な原理（プーリーとベルト）、無段階変速の仕組みを学習します。スクーターなどの3輪車用CVTを実際に分解し、プーリー、ベルト、ウェイトローラーなどの部品構造と働きを理解し、組立を行います。	リード・ズーマーX フォルツァ・マジスティ
第59回	1月21日	ドライブシャフトの構造と種類①	ドライブシャフトの役割、等速ジョイント（CVジョイント）の種類と構造、駆動方式による違いを学びます。	
第60回	1月21日	ドライブシャフトの構造と種類②	ドライブシャフトの役割、等速ジョイント（CVジョイント）の種類と構造、駆動方式による違いを学びます。	
第61回	1月22日	ドライブシャフトの車両からの脱着①	実際の車両（または実習用車両）からドライブシャフトを安全に脱着する作業を実習します。	
第62回	1月22日	ドライブシャフトの車両からの脱着②	実際の車両（または実習用車両）からドライブシャフトを安全に脱着する作業を実習します。	
第63回	1月22日	ドライブシャフトのオーバーホール①	ドライブシャフトのブーツ交換、グリスアップ、ジョイントの点検・清掃などのオーバーホール作業を実習します。	単体部品
第64回	1月22日	ドライブシャフトのオーバーホール②	ドライブシャフトのブーツ交換、グリスアップ、ジョイントの点検・清掃などのオーバーホール作業を実習します。	単体部品
第65回		ディファレンシャルギアの原理とノーマルデフの構造LSDとの比較①	差動装置（ディファレンシャルギア）が、旋回時に左右の車輪の回転差を吸収する原理と、ノーマルデフの構造を学びます。リミテッドスリップディファレンシャル（LSD）の各種方式（機械式、ビスカス式など）と、その機能、ノーマルデフとの違いを学びます。	
第66回		ディファレンシャルギアの原理とノーマルデフの構造LSDとの比較②	差動装置（ディファレンシャルギア）が、旋回時に左右の車輪の回転差を吸収する原理と、ノーマルデフの構造を学びます。リミテッドスリップディファレンシャル（LSD）の各種方式（機械式、ビスカス式など）と、その機能、ノーマルデフとの違いを学びます。	

第67回	ディファレンシャルギアの分解・組立・バックラッシュ調整①	ノーマルデフまたはLSDを分解し、リングギア、ピニオンギア、サイドギア、ディファレンシャルケースなどの部品構造を学習します。分解したディファレンシャルギアを組み立て、バックラッシュ測定と調整の重要性を学び、実践します。	
第68回	ディファレンシャルギアの分解・組立・バックラッシュ調整②	ノーマルデフまたはLSDを分解し、リングギア、ピニオンギア、サイドギア、ディファレンシャルケースなどの部品構造を学習します。分解したディファレンシャルギアを組み立て、バックラッシュ測定と調整の重要性を学び、実践します。	
第69回	動力伝達装置の総合診断演習①	複数の不具合シナリオに対し、総合的な知識を用いて動力伝達装置の故障診断を行う演習を実施します。	
第70回	動力伝達装置の総合診断演習②	複数の不具合シナリオに対し、総合的な知識を用いて動力伝達装置の故障診断を行う演習を実施します。	
第71回	質疑応答と復習、定期試験準備	これまでの実習内容に関する質疑応答を行い、理解が不十分な点を解消します。定期試験の準備を行います。	
第72回	総合評価とフィードバック	定期試験または実技試験を通じて、本実習の総合的な理解度と技能を評価し、個別にフィードバックを行います。	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

8回目ごとに実技試験を実施。  
 ①設問数は、国家資格試験に準じた内容の3問で行う。  
 ②授業態度は1回のローテーションで24回実施にて15点。1点ずつの減点式。 21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下 21.
⑥プレゼンテーション						なし	21.
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	電装実習Ⅱ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科			学年	<sup>3</sup> 学年
授業形態 <sup>4</sup>	実習	学期	後期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	4	時間数 <sup>9</sup>	144	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、次の各装置について、学科授業と連動させた内容で構造作動を学習する。 電子・電気関係・電磁石・電磁誘導・半導体・バッテリー・始動装置・充電装置・点火装置・灯火装置・計器類・冷暖房装置							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. エンジンやシャシにも電装品が使用されており、各分野に共通して電気の知識が必要となる。 二年生の実車授業の基礎となる装置単体を中心に電装品の知識を習得する。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17. なし			
関連前科目	18. 電気実習Ⅰ			関連後科目	18,19. 電装実習Ⅲ			
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	7月1日	ダイオードの基礎と種類、特性①	ダイオード(整流、順方向、逆方向特性)の種類と役割を理解する。				デジタルIC実験セット	
第2回	7月1日	ダイオードの基礎と種類、特性②	ダイオード(整流、順方向、逆方向特性)の種類と役割を理解する。				デジタルIC実験セット	
第3回	7月2日	ダイオードの回路接続と測定①	整流回路、逆流防止回路への接続方法と電圧・電流測定を実習する。				デジタルIC実験セット	
第4回	7月2日	ダイオードの回路接続と測定②	整流回路、逆流防止回路への接続方法と電圧・電流測定を実習する。				デジタルIC実験セット	
第5回	7月3日	発光ダイオード(LED)とフォトダイオードの特性と応用①	LEDの点灯回路、フォトダイオードを用いた光センサーの基本を学ぶ。				デジタルIC実験セット	
第6回	7月3日	発光ダイオード(LED)とフォトダイオードの特性と応用②	LEDの点灯回路、フォトダイオードを用いた光センサーの基本を学ぶ。				デジタルIC実験セット	
第7回	7月3日	トランジスタの基礎と増幅回路、接続と動作確認①	トランジスタ(NPN, PNP)の構造、スイッチング動作と増幅作用の基本を理解する。トランジスタを用いた基本的な増幅回路をデジタルIC実験セットで構築し、動作を確認する。トランジスタをスイッチとして使用する回路や、リレーを駆動する回路を学ぶ。				デジタルIC実験セット	
第8回	7月3日	トランジスタの基礎と増幅回路、接続と動作確認②	トランジスタ(NPN, PNP)の構造、スイッチング動作と増幅作用の基本を理解する。トランジスタを用いた基本的な増幅回路をデジタルIC実験セットで構築し、動作を確認する。トランジスタをスイッチとして使用する回路や、リレーを駆動する回路を学ぶ。				デジタルIC実験セット	
第9回	7月8日	コンデンサの種類と特性、充放電回路、フィルタ回路とタイマー回路①	コンデンサ(電解、セラミックなど)の種類、静電容量、充放電特性、直流回路における挙動を学ぶ。コンデンサを用いた基本的なフィルタ回路や、時定数を利用したタイマー回路を学ぶ。				デジタルIC実験セット	
第10回	7月8日	コンデンサの種類と特性、充放電回路、フィルタ回路とタイマー回路②	コンデンサ(電解、セラミックなど)の種類、静電容量、充放電特性、直流回路における挙動を学ぶ。コンデンサを用いた基本的なフィルタ回路や、時定数を利用したタイマー回路を学ぶ。				デジタルIC実験セット	
第11回	7月9日	各半導体素子の点検方法(ダイオード、トランジスタ、コンデンサ)①	テスターを用いたダイオードの順方向電圧降下、トランジスタのhFE測定、コンデンサの容量測定など、各素子の良否判断方法を実習する。				デジタルIC実験セット	
第12回	7月9日	各半導体素子の点検方法(ダイオード、トランジスタ、コンデンサ)②	テスターを用いたダイオードの順方向電圧降下、トランジスタのhFE測定、コンデンサの容量測定など、各素子の良否判断方法を実習する。				デジタルIC実験セット	
第13回	7月10日	半導体を用いた簡単な論理回路の構成①	半導体素子(ダイオード、トランジスタ)を組み合わせて、AND回路、OR回路などの簡単な論理回路をデジタルIC実験セットで構成し、動作を確認する。				デジタルIC実験セット	
第14回	7月10日	半導体を用いた簡単な論理回路の構成②	半導体素子(ダイオード、トランジスタ)を組み合わせて、AND回路、OR回路などの簡単な論理回路をデジタルIC実験セットで構成し、動作を確認する。				デジタルIC実験セット	
第15回	7月10日	イグニッションコイルの構造と作動原理(種類と1次・2次コイルの役割)点検と故障診断①	イグニッションコイル(分配器式、ダイレクトイグニッションコイル)の構造と、高電圧発生原理を理解する。1次・2次コイルの抵抗測定、リーク(漏電)の点検方法、絶縁不良によるエンジン不調への影響を学ぶ。					
第16回	7月10日	イグニッションコイルの構造と作動原理(種類と1次・3次コイルの役割)点検と故障診断②	イグニッションコイル(分配器式、ダイレクトイグニッションコイル)の構造と、高電圧発生原理を理解する。1次・3次コイルの抵抗測定、リーク(漏電)の点検方法、絶縁不良によるエンジン不調への影響を学ぶ。					
第17回	7月15日	ハイテンションコードの点検とリーク診断①	ハイテンションコードの種類、抵抗測定、リーク(漏電)の点検方法、絶縁不良によるエンジン不調への影響を学ぶ。					
第18回	7月15日	ハイテンションコードの点検とリーク診断②	ハイテンションコードの種類、抵抗測定、リーク(漏電)の点検方法、絶縁不良によるエンジン不調への影響を学ぶ。					
第19回	7月16日	スパークプラグの構造と作動原理①	スパークプラグの各部分名称、火花発生の原理、エンジンの燃焼への影響を理解する。				フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード	
第20回	7月16日	スパークプラグの構造と作動原理②	スパークプラグの各部分名称、火花発生の原理、エンジンの燃焼への影響を理解する。				フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード	
第21回	7月17日	スパークプラグの診断(焼け具合、摩耗)①	スパークプラグをエンジンから取り外し、電極の摩耗、カーボンの付着状態(乾いたカーボン、湿ったカーボン)、熱価などから燃焼状態を診断する方法を実習する。エンジンの使用状況に応じた適切な熱価のスパークプラグを選択する方法を学び、交換作業を実習する。				フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード	
第22回	7月17日	スパークプラグの診断(焼け具合、摩耗)②	スパークプラグをエンジンから取り外し、電極の摩耗、カーボンの付着状態(乾いたカーボン、湿ったカーボン)、熱価などから燃焼状態を診断する方法を実習する。エンジンの使用状況に応じた適切な熱価のスパークプラグを選択する方法を学び、交換作業を実習する。				フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード	
第23回	7月17日	電装システムの総合故障診断とトラブルシューティング	複数の電装部品が絡む故障に対し、系統的な診断手順と効果的なトラブルシューティング方法を実習する。					
第24回	7月17日	電装実習Ⅱ成果発表と振り返り	これまでの電装実習Ⅱで得られた知識と技能を総括し、総合的な評価を行います。個別フィードバックを通じて、今後の学習に繋げます。					
第25回	11月18日	点火装置の総合点検とトラブルシューティング①	イグニッションコイル、ハイテンションコード、スパークプラグ、イグナイタなど、点火装置全体の連携と、点火不良時の簡単なトラブルシューティングを実習する。				フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード	
第26回	11月18日	点火装置の総合点検とトラブルシューティング②	イグニッションコイル、ハイテンションコード、スパークプラグ、イグナイタなど、点火装置全体の連携と、点火不良時の簡単なトラブルシューティングを実習する。				フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード	
第27回	11月19日	灯火装置の回路構成(ヘッドライト・テールランプ)点検と故障診断①	ヘッドライト、テールランプ、ブレーキランプなど、基本的な灯火装置の回路図を理解し、実際に装置パネルで回路を組む。球切れ、ヒューズ切れ、配線の断線など、灯火装置の一般的な故障診断と修理方法を学ぶ。				フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード	

第28回	11月19日	灯火装置の回路構成（ヘッドライト・テールランプ）点検と故障診断②	ヘッドライト、テールランプ、ブレーキランプなど、基本的な灯火装置の回路図を理解し、実際に装置パネルで回路を組む。球切れ、ヒューズ切れ、配線の断線など、灯火装置の一般的な故障診断と修理方法を学ぶ。	フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード
第29回	11月20日	リレーの構造と灯火装置への応用①	電磁リレーの構造と作動原理、そして電流のON/OFF制御や回路保護のために灯火装置にどのように使用されるかを学び、回路を構成する。	フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード
第30回	11月20日	リレーの構造と灯火装置への応用②	電磁リレーの構造と作動原理、そして電流のON/OFF制御や回路保護のために灯火装置にどのように使用されるかを学び、回路を構成する。	フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード
第31回	11月20日	燃料計の動作原理と配線①	燃料計（フロート式、抵抗変化式）の指針が動く原理を理解し、燃料タンクのセンサーからメーターまでの配線と動作確認を実施する。	MC31、ZR400C、GX7CA、NC700
第32回	11月20日	燃料計の動作原理と配線②	燃料計（フロート式、抵抗変化式）の指針が動く原理を理解し、燃料タンクのセンサーからメーターまでの配線と動作確認を実施する。	MC31、ZR400C、GX7CA、NC701
第33回	11月25日	燃料計の点検と故障診断①	燃料計の指示不良、センサーの故障など、燃料計システムの一般的な故障診断と修理方法を学ぶ。	MC31、ZR400C、GX7CA、NC700
第34回	11月25日	燃料計の点検と故障診断②	燃料計の指示不良、センサーの故障など、燃料計システムの一般的な故障診断と修理方法を学ぶ。	MC31、ZR400C、GX7CA、NC701
第35回	11月26日	各種スイッチ（プッシュ、トグル、ロータリーなど）の構造と配線①	各種スイッチの構造と、導通確認、回路への接続方法を学ぶ。	フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード
第36回	11月26日	各種スイッチ（プッシュ、トグル、ロータリーなど）の構造と配線②	各種スイッチの構造と、導通確認、回路への接続方法を学ぶ。	フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード
第37回	11月27日	ワイパー回路の導通確認と作動原理①	ワイパーモーター、スイッチ、リレーなどをデジタルIC実験セットで組み合わせて、ワイパー回路を構成し、動作を確認する。	フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード
第38回	11月27日	ワイパー回路の導通確認と作動原理②	ワイパーモーター、スイッチ、リレーなどをデジタルIC実験セットで組み合わせて、ワイパー回路を構成し、動作を確認する。	フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード
第39回	11月27日	ワイパーシステムの点検と故障診断①	ワイパーの作動不良、間欠動作不良など、ワイパーシステムの一般的な故障診断と修理方法を学ぶ。	フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード
第40回	11月27日	ワイパーシステムの点検と故障診断②	ワイパーの作動不良、間欠動作不良など、ワイパーシステムの一般的な故障診断と修理方法を学ぶ。	フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード
第41回	12月2日	ドアロック、パワーウィンドウ、ルームランプ回路の基礎①	ドアロック、パワーウィンドウ、ルームランプなど、ボディ電装の基本的な回路構成を学ぶ。	フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード
第42回	12月2日	ドアロック、パワーウィンドウ、ルームランプ回路の基礎②	ドアロック、パワーウィンドウ、ルームランプなど、ボディ電装の基本的な回路構成を学ぶ。	フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード
第43回	12月3日	ボディ電装の故障診断と回路図の読み方①	ボディ電装の一般的な故障診断の手法と、配線図を用いた回路の追跡方法を実施する。	フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード
第44回	12月3日	ボディ電装の故障診断と回路図の読み方②	ボディ電装の一般的な故障診断の手法と、配線図を用いた回路の追跡方法を実施する。	フィット、ミラージュ、ノート、ワゴンR、コペン、フリード
第45回	12月4日	車両CAN通信の基礎と診断ツール①	CAN通信の概要、データ伝送の基本、診断ツール（スキャンツール）の接続と基本的な使い方を学ぶ。	
第46回	12月4日	車両CAN通信の基礎と診断ツール②	CAN通信の概要、データ伝送の基本、診断ツール（スキャンツール）の接続と基本的な使い方を学ぶ。	
第47回	12月4日	電装システムの総合故障診断とトラブルシューティング	複数の電装部品が絡む故障に対し、系統的な診断手順と効果的なトラブルシューティング方法を実施する。	
第48回	12月4日	電装実習Ⅱ成果発表と振り返り	これまでの電装実習Ⅲで得られた知識と技能を総括し、総合的な評価を行います。個別フィードバックを通じて、今後の学習に繋がります。	
第49回	1月27日	自動車の始動システム概論	エンジンを始動させるためのシステムの全体像を理解し、バッテリー、スターターモーター、マグネットスイッチ、イグニッションスイッチなどの役割を学習します。	
第50回	1月27日	スターターモーターの構造と作動原理マグネットスイッチの役割と構造	直巻モーターの構造（フィールドコイル、アーメチュア、ブラシ、コミュテーター）と、スプリングの左手の法則に基づく作動原理を学習します。マグネットスイッチ（ソレノイド）が、スターターモーターの回路をオンにし、ピニオンギアを飛び出させるメカニズムを詳細に学習します。	デミオ、ワゴンR、ミラージュ NC700 CBX750 MC22
第51回	1月28日	オーバーランニングクラッチとピニオンギア	エンジン始動後にスターターモーターが破損しないように保護するオーバーランニングクラッチの構造と機能、ピニオンギアの働きを学習します。	
第52回	1月28日	スターターモーターの電流経路と抵抗	バッテリーからスターターモーターへの大電流経路を理解し、配線や接点の抵抗が始動性能に与える影響について考察します。	
第53回	1月29日	スターターモーターの車上点検と基礎診断	バッテリー電圧、端子電圧降下、始動電流などの車上での点検方法と、簡単な故障診断の基礎を学びます。	
第54回	1月29日	実車からのスターターモーター脱着、単体点検	実際の車両（デミオ、ワゴンR、ミラージュなど）を用いて、スターターモーターを安全かつ正確に車両から取り外す作業を実施します。取り外したスターターモーターの単体での無負荷試験（回転数、消費電流）、電機コイルの断線試験（グラウラーテスト）を実施します。	デミオ、ワゴンR、ミラージュ
第55回	1月29日	スターターモーターの分解と各製品の点検測定、組立ハイブリッド車のジェネレーター	スターターモーターを分解し、ブラシ、コミュテーター、ベアリング、マグネットスイッチなどの各製品の摩耗や損傷を点検・測定します。組み立て、必要に応じて調整を行います。ハイブリッド車に使用されるジェネレーター（モータージェネレーター）の制御方法について概論を学びます。	シエンタ、レクサスHS
第56回	1月29日	自動車の充電システム概論①	バッテリーの充電と車両への電力供給を行う充電システムの全体像を理解し、オルタネーター、ボルテージレギュレーター、バッテリーの役割を学習します。	
第57回	2月3日	オルタネーターの構造と作動原理、交流の整流とダイオードの役割	オルタネーターの主要部品（スターター、ローター、整流器（ダイオード）、ブラシ、スリップリング）の構造と、交流発電の原理を学習します。オルタネーターで発電された交流電力を直流に変換する整流回路（ブリッジ整流回路）と、ダイオードの働きを詳細に学習します。	
第58回	2月3日	ボルテージレギュレーターの構造と作動原理ダイオード付きオルタネーターの出力特性	発電電圧を常に一定に保つボルテージレギュレーターの役割、構造（ICレギュレーターなど）、制御原理を学びます。より効率的な発電を可能にする中性点ダイオード付きオルタネーターの構造と、その出力特性がどのように向上するかを学習します。	
第59回	2月4日	実車からのオルタネーター脱着	実際の車両（デミオ、ワゴンR、ミラージュなど）を用いて、オルタネーターを安全かつ正確に車両から取り外す作業を実施します。	デミオ、ワゴンR、ミラージュ NC700 CBX750 MC22
第60回	2月4日	オルタネーターの車上点検と発生電圧測定	車上での充電警告灯の点検、バッテリー電圧、充電電圧、リップル電圧などの測定方法を実施します。	
第61回	2月5日	オルタネーターの単体点検（無負荷試験、負荷試験）	取り外したオルタネーターの単体での無負荷試験（発生電圧、回転数）、負荷試験（最大出力電流）を実施します。	
第62回	2月5日	オルタネーターの分解と各製品の点検測定、組立	オルタネーターを分解・組立し、ブラシ、スリップリング、ベアリング、整流ダイオード、レギュレーターなどの各製品の摩耗や損傷を点検・測定します。	
第63回	2月5日	自動車の点火システム概論	ガソリンエンジンの点火システムの目的と、基本的な構成（バッテリー、点火コイル、ディストリビューター、スパークプラグなど）を学習します。	
第64回	2月5日	スパークプラグの種類と役割、点検	スパークプラグの構造、種類（熱価、ギャップなど）、役割、そして電極の焼け具合によるエンジンの状態診断方法を学びます。	

第65回	点火コイル（イグニッションコイル）の構造と原理	点火コイルがバッテリー電圧をどのように高電圧に変換するかの原理（自己誘導、相互誘導）と、一次・二次コイルの構造を学習します。	
第66回	ディストリビューター点火方式の構造と作動	旧来のディストリビューター点火方式の構造（ポイント、コンデンサ、ローター、キャップ）と、点火時期制御の原理を学習します。	
第67回	ダイレクトイグニッション（DLI）方式とイグナイタ	各気筒独立点火のDLI方式のメリット、点火コイルとイグナイタ（点火制御回路）の構造と役割を学びます。	
第68回	点火時期の確認と調整（タイミングライト使用）	タイミングライトを用いた点火時期の確認方法と、必要に応じた調整方法を実習します。	デミオ、ワゴンR、ミラージュ NC700 CBX750 MC22
第69回	車上山点火装置の取り外しとスパークプラグ点検	実際の車両から点火コイル、スパークプラグを取り外し、各部品の状態を目視で点検する作業を実習します。	デミオ、ワゴンR、ミラージュ NC700 CBX750 MC22
第70回	イグナイタの点検と点火波形の確認	イグナイタ（パワーTR）の作動確認、オシロスコープを用いた点火一次・二次電圧波形の測定と解析方法を学びます。	
第71回	点火装置の故障診断とトラブルシューティング	点火装置に関する一般的な故障（失火、始動不良など）の原因特定と、診断機を用いたトラブルシューティング方法を学びます。	
第72回	電装システム総合評価とフィードバック	これまでの実習で得られた電装システムに関する知識と技能について総合的な評価を行い、個別のフィードバックを通じて今後の学習に繋がります。	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

8回目ごとに実技試験を実施。  
 ①設問数は。国家資格試験に準じた内容の3問で行う。  
 ②授業態度は1回のローテーションで24回実施にて15点。1点ずつの減点式。 21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者（確認者）
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	総合実習Ⅱ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科			学年	2学年
授業形態 <sup>4</sup>	実習	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	3	時間数 <sup>9</sup>	48	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、安全作業と測定について基礎知識を学習し、理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 三級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのガソリン・エンジンに関する基礎知識を習得する。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名 <sup>15</sup>	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	17. なし			
関連前科目	18. 総合実習Ⅰ			関連後科目 <sup>18,19</sup>	18,19. 総合実習Ⅲ			
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上/単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	8月26日	自動車の点検作業の概要と重要性、安全衛生と環境整備①	日常点検と定期点検の違いを理解し、点検作業の意義を学ぶ。リフトアップ作業、工具の安全な取り扱い、作業環境の整理整頓を徹底する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第2回	8月26日	自動車の点検作業の概要と重要性、安全衛生と環境整備②	日常点検と定期点検の違いを理解し、点検作業の意義を学ぶ。リフトアップ作業、工具の安全な取り扱い、作業環境の整理整頓を徹底する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第3回	8月26日	自動車の点検作業の概要と重要性、安全衛生と環境整備③	日常点検と定期点検の違いを理解し、点検作業の意義を学ぶ。リフトアップ作業、工具の安全な取り扱い、作業環境の整理整頓を徹底する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第4回	8月26日	エンジンルームの点検(オイル、冷却水、バッテリーなど)①	各種液量の点検方法、バッテリー液面・電圧の確認方法を習得する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第5回	8月27日	エンジンルームの点検(オイル、冷却水、バッテリーなど)②	各種液量の点検方法、バッテリー液面・電圧の確認方法を習得する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第6回	8月27日	エンジンルームの点検(オイル、冷却水、バッテリーなど)③	各種液量の点検方法、バッテリー液面・電圧の確認方法を習得する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第7回	8月27日	下回りの点検(排気管、プロペラシャフト、ドライブシャフトなど)①	リフトアップ時の点検項目を学び、目視による異常箇所の特を練習する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第8回	8月27日	下回りの点検(排気管、プロペラシャフト、ドライブシャフトなど)②	リフトアップ時の点検項目を学び、目視による異常箇所の特を練習する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第9回	8月28日	下回りの点検(排気管、プロペラシャフト、ドライブシャフトなど)③	リフトアップ時の点検項目を学び、目視による異常箇所の特を練習する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第10回	8月28日	ブレーキシステムの点検、足回り・サスペンションの点検①	ブレーキフルード量、ブレーキパッド残量、ディスクローターの状態確認方法を学ぶ。タイヤの空気圧・溝深さ、ホイールの損傷、サスペンションのガタつきなどを確認する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第11回	8月28日	ブレーキシステムの点検、足回り・サスペンションの点検②	ブレーキフルード量、ブレーキパッド残量、ディスクローターの状態確認方法を学ぶ。タイヤの空気圧・溝深さ、ホイールの損傷、サスペンションのガタつきなどを確認する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第12回	8月28日	ブレーキシステムの点検、足回り・サスペンションの点検③	ブレーキフルード量、ブレーキパッド残量、ディスクローターの状態確認方法を学ぶ。タイヤの空気圧・溝深さ、ホイールの損傷、サスペンションのガタつきなどを確認する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第13回	9月30日	灯火装置・計器類の点検①	ヘッドライト、テールランプ、ウインカー、メーター類の作動確認を行う。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第14回	9月30日	灯火装置・計器類の点検②	ヘッドライト、テールランプ、ウインカー、メーター類の作動確認を行う。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第15回	10月1日	灯火装置・計器類の点検③	ヘッドライト、テールランプ、ウインカー、メーター類の作動確認を行う。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第16回	10月1日	四輪自動車の総合点検実習(フィット・ミラージュ・ノートクラス)①	小型乗用車における一連の点検作業を実践し、点検項目の全体像を把握する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第17回	10月2日	四輪自動車の総合点検実習(フィット・ミラージュ・ノートクラス)②	小型乗用車における一連の点検作業を実践し、点検項目の全体像を把握する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第18回	10月2日	四輪自動車の総合点検実習(フィット・ミラージュ・ノートクラス)③	小型乗用車における一連の点検作業を実践し、点検項目の全体像を把握する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード	
第19回	10月2日	二輪自動車の総合点検実習(MC33・NC700クラス)①	二輪車の特性を踏まえた点検項目と方法を学び、実習を行う。				MC33・NC31・ZR400C・GK7CA NC700・BJ250・Z125	
第20回	10月2日	二輪自動車の総合点検実習(MC33・NC701クラス)②	二輪車の特性を踏まえた点検項目と方法を学び、実習を行う。				MC33・NC31・ZR400C・GK7CA NC700・BJ250・Z126	
第21回	10月7日	二輪自動車の総合点検実習(MC33・NC702クラス)③	二輪車の特性を踏まえた点検項目と方法を学び、実習を行う。				MC33・NC31・ZR400C・GK7CA NC700・BJ250・Z127	
第22回	10月7日	点検結果の記録と報告書の作成①	点検結果を正確に記録し、不具合箇所を明確にまとめるスキルを身につける。					
第23回	10月8日	点検結果の記録と報告書の作成②	点検結果を正確に記録し、不具合箇所を明確にまとめるスキルを身につける。					
第24回	10月8日	総合実習成果発表と振り返り	これまでの実習で得た知識、技能、顧客対応スキルを総合的に発表し、自己評価と今後の課題を明確にする。					
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								

8回目ごとに実技試験を実施。

①設問数は。国家資格試験に準じた内容の3問で行う。

②授業態度は1回のローテーションで24回実施にて15点。1点ずつの減点式。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト	2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

## 更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	自動車工学		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	3学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	二級自動車整備士の試験合格にむけて、燃料、油脂・製図についての基礎知識を学習し、理解する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	二級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのガソリン・エンジンに関する基礎知識を習得する。						
受講条件	特になし						
教科書名 <sup>14</sup>	二級自動車整備士(総合)(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和6年10月/初版発行/第4章、第9章			教材名 <sup>15</sup>	JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名 <sup>16</sup>	パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	なし		
関連前科目 <sup>18</sup>	なし			関連後科目 <sup>18,19</sup>	なし		
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 <span style="float:right">20.</span>							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	4月14日	燃料(燃料の性状と規格)	燃料の発熱量、ガソリンの性状と規格について説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P341 パワーポイント	
第2回	4月21日	燃料(燃料の性状と規格)	軽油の性状と規格について説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P342 パワーポイント	
第3回	5月12日	燃料(燃料の性状と規格)	LPガスの性状と規格について説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P343 パワーポイント	
第4回	5月19日	燃料(燃料の性状と規格)	軽油の性状と規格、LPガス・CNガスの性状と規格について説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P343 パワーポイント	
第5回	5月26日	潤滑及び潤滑剤(摩擦力と潤滑剤)	摩擦のメカニズム、オイルによる潤滑状態について説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P345 パワーポイント	
第6回	6月2日	潤滑及び潤滑剤(摩擦力と潤滑剤)	潤滑剤の作用、潤滑剤の種類について説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P345-346 パワーポイント	
第7回	6月7日	潤滑及び潤滑剤(潤滑油)	エンジンオイルの性状と規格について説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P346- パワーポイント	
第8回	6月16日	潤滑及び潤滑剤(潤滑油)	ギヤオイル、グリース、その他の潤滑剤について説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P347 パワーポイント	
第9回	6月23日	潤滑及び潤滑剤(潤滑油)	ATF・PSFの性状と規格について説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P348 パワーポイント	
第10回	6月31日	復習	燃料油脂			二級自動車整備士(総合) パワーポイント	
第11回	7月7日	製図(規格と様式)	「概要と図面様式」 製図の規格、図面の様式等について説明ができるようになる。			二級自動車整備士(総合) P379-380 パワーポイント	
第12回	7月14日	製図(線・文字・尺度)	「線・文字・尺度」 線の種類、文字の書体、尺度について説明ができるようになる。			二級自動車整備士(総合) P380-381 パワーポイント	
第13回	7月28日	製図(図形の表し方)	「投影法・展開・想像・断面図」 図の種類とその補助となる図法について説明ができるようになる。			二級自動車整備士(総合) P382-388 パワーポイント	
第14回	8月25日	復習	製図			二級自動車整備士(総合) パワーポイント	
第15回	9月8日	期末試験	期末試験の実施と解説				
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 <span style="float:right">21.</span>							
15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。 <span style="float:right">21.</span>							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				70
②確認テスト		2位	2位				15
③課題レポート							なし
④授業態度				2位	1位		15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
補修、追試の有無等							
シラバス作成者	住本 直哉		シラバス承認者	小林 建次		授業担当教員	
						実務経験紹介	
更新履歴							
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所		作成者	Check者(確認者)	
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

科目名 <sup>1</sup>	エンジン整備Ⅱ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	3学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、エンジンに関する基礎知識(潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置など)を学習し、理解する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 二級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのエンジンに関する基礎知識を習得する。						
受講条件	13. 特になし						
教科書名	14. 二級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17. なし		
関連前科目	18. エンジン構造Ⅰ・Ⅱ			関連後科目	18.19. なし		
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月14日	潤滑装置	4サイクルエンジン潤滑装置の潤滑経路。二輪車・四輪車の潤滑装置の違い。リリーフ・バルブ、オイルポンプについての説明が出来るようになる。				二級自動車整備士(総合) P42-44 パワーポイント
第2回	4月21日	冷却装置 (粘性式ファン)	ファン・クラッチの仕組み・作動について説明できるようになる(粘性式ファン・クラッチ)				二級自動車整備士(総合) P45-46 パワーポイント
第3回	5月12日	冷却装置 (電動ファン)	電動ファンの仕組み・作動について説明できるようになる(電動ファン・クラッチ)				二級自動車整備士(総合) P46-49 パワーポイント
第4回	5月19日	燃料装置 (ガソリン)	ガソリン・エンジン燃料噴射装置について概要とフューエル・ポンプ(ガソリン・エンジン)について説明できるようになる。				二級自動車整備士(総合) P50-51 パワーポイント
第5回	5月26日	燃料装置 (コモンレール特徴)	ジーゼルエンジン(コモンレール式高圧燃料噴射装置)について、吸入・吐出量制御バルブ構造と作動を理解し説明できるようになる。				二級自動車整備士(総合) P52-55 パワーポイント
第6回	6月2日	燃料装置 (コモンレール作動)	コモンレール式高圧燃料噴射装置について、コモンレール・フロアダンパ、プレッシャリミッタについて、作動を理解し、説明できるようになる。				二級自動車整備士(総合) P56-57 パワーポイント
第7回	6月7日	燃料装置 (インジェクタ)	コモンレール式高圧燃料噴射装置について、インジェクタの作動を理解し、説明できるようになる。				二級自動車整備士(総合) P58-59 パワーポイント
第8回	6月16日	小テスト	小テストの実施、解答と解説				二級自動車整備士(総合)
第9回	6月23日	吸排気装置 (ターボ・チャージャ)	過給機概要とターボ・チャージャの仕組みを理解する。				二級自動車整備士(総合) P60-61 パワーポイント
第10回	6月31日	吸排気装置 (過給圧制御装置)	過給圧制御装置のうち、ウェスト・ゲート・バルブ式と可変容量式について、特徴と仕組みを理解する。				二級自動車整備士(総合) P62-63 パワーポイント
第11回	7月7日	吸排気装置 (インタークーラー)	ターボインタークーラーについて、役割と仕組み・特徴を理解する。				二級自動車整備士(総合) P63-64 パワーポイント
第12回	7月14日	吸排気装置 (EGR装置)	EGR装置・排気ガス後処理装置(EGR、DPF、尿素SCR)・排気ガス制御装置・二次空気供給装置について、説明できるようになる				二級自動車整備士(総合) P65-68 パワーポイント
第13回	7月28日	総合復習 国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説				二級自動車整備士(総合)
第14回	8月25日	総合復習 国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説				二級自動車整備士(総合)
第15回	9月8日	期末試験	期末試験の実施と解説				
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							
21. 15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				70
②確認テスト		2位	2位				15
③課題レポート							なし
④授業態度				2位	1位		15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
補修、追試の有無等							
シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員			
				実務経験紹介			
更新履歴							
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

科目名 <sup>1</sup>	シャシ整備Ⅱ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	3学年	
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. これまでに学習したシャシ分野の基礎知識(三級自動車整備士)をもとに、二級自動車整備士の試験合格にむけて、シャシに関する原理や構造・作動、整備に関する知識をより詳しく学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 二級自動車整備士の国家試験に合格できるレベルのシャシに関する知識(「アクスル及びサスペンション」、「ステアリング装置」、「ホイール及びタイヤ」、「ホイール・アライメント」)に関する原理や、構造・作動、整備の方法に関する知識を習得する。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. 二級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和6年10月/初版発行/第二章			教材名 <sup>15</sup>	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	17. なし			
関連前科目	18. シャシ構造Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			関連後科目 <sup>18,19</sup>	18,19. なし			
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材		
第1回	4月14日	アクスル及びサスペンション(概要)	アクスル及びサスペンションの「概要」や「構造・機能」のうち「サスペンションの機能」について理解し、説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P130-135 パワーポイント		
第2回	4月21日	アクスル及びサスペンション(エア・スプリング型サスペンション)	アクスル及びサスペンションに用いられている「エア・スプリング型サスペンション」について理解し、説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P135-139 パワーポイント		
第3回	5月12日	アクスル及びサスペンション(エア・スプリング型サスペンション)	アクスル及びサスペンションの「エア・スプリング型サスペンション」に用いられている「エア・コンプレッサ」、「バルブ」、「プレッシャ・レギュレータ」などの構造・作動を理解し、説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P139-142 パワーポイント		
第4回	5月19日	アクスル及びサスペンション(エア・スプリング型サスペンション)	アクスル及びサスペンションの「エア・スプリング制御式サスペンション」に用いられている「プレッシャ・センサ」、「ハイト・センサ」、車高の上昇・下降時の作動について理解し、説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P142-146 パワーポイント		
第5回	5月26日	アクスル及びサスペンション(エア・スプリング型サスペンション)	アクスル及びサスペンションの「エア・スプリング制御式サスペンション」のECUによる各種制御や「整備」について理解し、説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P146-150 パワーポイント		
第6回	6月2日	ステアリング装置(概要)	ステアリング装置の「概要」や「コーナリング・フォースとスリップ・アングル」、「アンダステアとオーバステア」などを理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P151-155 パワーポイント		
第7回	6月7日	ステアリング装置(油圧式パワー・ステアリング①)	ステアリング装置の「二輪の旋回性能」、「二輪の旋回特性」、「油圧式パワー・ステアリング」などを理解し、説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P155-158 パワーポイント		
第8回	6月16日	ステアリング装置(油圧式パワー・ステアリング②)	ステアリング装置の油圧式パワー・ステアリングの「直進時」、「操舵時」、各部品名称や構造・作動を理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P158-161 パワーポイント		
第9回	6月23日	ステアリング装置(電動パワー・ステアリング)	ステアリング装置の「電動パワー・ステアリング」や「整備」について理解し、説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P161-166 パワーポイント		
第10回	6月31日	ホイール及びタイヤ(概要、構造・機能)	ホイール及びタイヤの「ホイール」、「タイヤ」について理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P167-170 パワーポイント		
第11回	7月7日	ホイール及びタイヤ(タイヤの振動)	ホイール及びタイヤの「タイヤの振動」、「タイヤの寿命」、「整備」について理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P171-174 パワーポイント		
第12回	7月14日	ホイール及びタイヤ(整備)	ホイール及びタイヤの「整備」について理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P174-177 パワーポイント		
第13回	7月28日	ホイール・アライメント(概要、構造・機能)	ホイール・アライメントの「概要」、「構造・機能」、「キャンバ」、「キャスタ」について理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P178-182 パワーポイント		
第14回	8月25日	ホイール・アライメント(概要、構造・機能)	ホイール・アライメントの「キング・ピン傾角」、「トー」について理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P183-186 パワーポイント		
第15回	9月8日	期末試験	期末試験の実施と解説					
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
21. 15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	竹下 昌孝	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員				
				実務経験紹介				
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)				
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	電装品整備Ⅱ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科		学年	3学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 二級自動車整備士の試験合格にむけて、電気の基礎的な内容及び自動車の各装置について、実習授業と連動させた内容で基礎的な構造動作を学習し、理解する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 二級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルの電装品に関する基礎知識を習得する。						
受講条件	13 特になし						
教科書名	14 二級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名	15 JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名	16 パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17 なし		
関連前科目	18 電装品構造Ⅰ・Ⅱ			関連後科目	18,19 なし		
20 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月14日	半導体(概要)	概要・電気装置によく使われている半導体について説明ができるようになる				二級自動車整備士(総合) P229 パワーポイント
第2回	4月21日	半導体(整流・定電圧)	全波整流と定電圧の回路について理解し説明ができるようになる				二級自動車整備士(総合) P230-231 パワーポイント
第3回	5月12日	論理回路	論理回路について(AND・OR・NOT・NAND・NOR)それぞれ説明ができるようになる				二級自動車整備士(総合) P232-235 パワーポイント
第4回	5月19日	電気装置の配線(概要)	電気装置の決まり・概要・多重通信のうち、CAN通信について説明ができるようになる				二級自動車整備士(総合) P242 パワーポイント
第5回	5月26日	電気装置の配線(信号駆動方式)	CANの信号駆動方式について理解し説明ができるようになる				二級自動車整備士(総合) P243-245 パワーポイント
第6回	6月2日	電気装置の配線(通信方法)	CAN通信のうち、CAN-H・CAN-L、データフレームについて理解し説明ができるようになる				二級自動車整備士(総合) P246 30行 パワーポイント
第7回	6月7日	電気装置の配線(整備)	CAN通信について、点検・整備・故障診断ができるようになる				二級自動車整備士(総合) P246 31行-247 パワーポイント
第8回	6月16日	警報装置	警報装置の種類・動作を説明できるようになる				二級自動車整備士(総合) P248-250 パワーポイント
第9回	6月23日	スキャンツール(外部診断機)	外部診断機について、各操作の内容、作業手順を説明できるようになる				二級自動車整備士(総合) P251-252 パワーポイント
第10回	6月31日	計器	様々なレンジャーユニットについて、役割と特徴が説明できるようになる				二級自動車整備士(総合) P309-315 パワーポイント
第11回	7月7日	冷暖房装置(概要)	エアコンディショナの種類と構造、冷媒サイクルの名称、役割、制御状態を理解して説明できるようになる				二級自動車整備士(総合) P316-325 6行 パワーポイント
第12回	7月14日	冷暖房装置(制御方式)	エアコンディショナ制御方式の違いと各センサについて理解し、点検ができるようになる				二級自動車整備士(総合) P325 7行-333 パワーポイント
第13回	7月28日	安全装置	SRSエアバック、シート・ベルトについて、理解して説明できるようにする				二級自動車整備士(総合) P334-340 パワーポイント
第14回	8月25日	二級自動車整備士国家試験(模擬試験)	二級自動車整備士国家試験問題を合格基準以上の正解ができるようになる。				二級自動車整備士(総合) パワーポイント
第15回	9月8日	期末試験	期末試験の実施と解説				
21 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							
21 15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				70
②確認テスト		2位	2位				15
③課題レポート							なし
④授業態度			2位	1位			15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員			
				実務経験紹介			
更新履歴							
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

科目名 <sup>1</sup>	自動車法規Ⅱ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 3学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	前期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. これまで学習した法令分野の基礎知識(三級自動車整備士)をもとに、二級自動車整備士(総合)に合格にむけて自動車に関する「法令」について、より詳しく学ぶ。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 二級自動車整備士の国家試験に合格できるレベルの法令に関する知識(「道路運送車両法(抜粋)」、「道路運送車両法施行規則の別表」、「自働車NOx・PM法」)に関する知識を習得する。						
受講条件	13. 特になし						
教科書名	14. 法令教材/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和6年2月/初版発行/Ⅲ(第1章~第7章)、Ⅳ、Ⅶ			教材名	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17. なし		
関連前科目	18. 自動車法規Ⅰ			関連後科目	19. なし		

20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上単位、実習・演習:30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月14日	道路運送車両法(総則)	道路運送車両法の「目的」、「定義」、「自動車の種別」について理解し説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P20-23 パワーポイント
第2回	4月21日	道路運送車両法(自動車の登録等①)	道路運送車両法の「新規登録の申請」、「自動車登録番号標の封印等」、「永久抹消登録」、「一時抹消登録」について理解し説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P23-29 パワーポイント
第3回	5月12日	道路運送車両法(自動車の登録等②)	道路運送車両法の「自動車登録番号標の表示の義務」、「車台番号等の打刻」、「打刻の塗まつ等の禁止」、「職権による打刻等」、「臨時運行の許可」について理解し説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P29-33 パワーポイント
第4回	5月19日	道路運送車両法(保安基準、点検及び整備)	道路運送車両法の保安基準「自動車の構造」、「自動車の装置」、「乗車定員又は最大積載量」や点検及び整備の「使用者の点検及び整備の義務」、「日常点検整備」、「定期点検整備」について理解し説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P33-36 パワーポイント
第5回	5月26日	道路運送車両法(点検及び整備)	道路運送車両法の点検及び整備のうち「点検整備記録簿」、「整備管理者」、「整備命令等」、「自動車整備士の技能検定」について理解し説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P36-43 パワーポイント
第6回	6月2日	道路運送車両法(検査等①)	道路運送車両法の検査のうち「自動車の検査及び自動車検査証」、「検査の実施の方法」、「新規検査」、「自動車検査証の有効期間」、「継続検査」、「臨時検査」などについて理解し、説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P43-48 パワーポイント
第7回	6月7日	道路運送車両法(検査等②)	道路運送車両法の検査のうち自動車検査証の「備付け等」、「記載事項の変更」、「構造等変更検査」、「返納等」、「解体又は輸出に係る届出」、「再交付」、「予備検査」、「限定自動車検査証等」について理解し説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P48-52 パワーポイント
第8回	6月16日	道路運送車両法(自動車の整備事業①)	道路運送車両法の自動車の整備事業のうち「自動車特定整備事業の種類」、「認証」、「申請」、「認証基準」、「標識」、「自動車特定整備事業者の義務」、「特定整備記録簿」について理解し説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P52-57 パワーポイント
第9回	6月23日	道路運送車両法(自動車の整備事業②)	道路運送車両法の自動車の整備事業のうち「設備の維持等」、「遵守事項」、「改善命令」、「事業の停止等」、「優良自動車整備事業者の認定」、「指定自動車整備事業の指定等」について理解し説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P57-61 パワーポイント
第10回	6月31日	道路運送車両法(自動車の整備事業③)	道路運送車両法の自動車の整備事業のうち「設備の維持等」、「自動車検査員」、「保安基準適合証」、「限定保安基準適合証」、「指定整備記録簿」、「罰則の適用」、「自動車整備振興会」について理解し説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P61-64 パワーポイント
第11回	7月7日	道路運送車両法(雑則)	道路運送車両法の雑則のうち「検査対象外軽自動車の使用の届出等」、「自動車重量税の不納付による自動車検査証の不交付等」、「不正使用等の禁止」、「不正改造等の禁止」について理解し説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P65-67 パワーポイント
第12回	7月14日	道路運送車両法(道路運送車両法施行規則の別表)	道路運送車両法施行規則の別表1(自動車の種別)~別表5(作業機械等)について理解し説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P67-73 パワーポイント
第13回	7月28日	自働車NOx・PM法(制定の背景)	自働車NOx・PM法の制定の背景や、車種規制が適用されている地域、規制対象車などを理解し説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P214-218 パワーポイント
第14回	8月25日	自働車NOx・PM法	自働車NOx・PM法の排出基準を満たしていない車の使用可能最終日などを理解し説明できるようにする。	自動車整備士の法令教本 P219-223 パワーポイント
第15回	9月8日	期末試験	期末試験の実施と解説	

21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

15回目に期末試験を実施。  
 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。  
 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。  
 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト	2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	竹下 昌孝	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	先進安全技術		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 3学年	
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	後期	開講年月 <sup>5</sup>	9月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 二級自動車整備士の試験合格にむけて、先進安全技術に関する知識「ハイブリッド自動車及び電気自動車」、「先進安全技術(電子制御装置整備)」などについて学習し、理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 二級自動車整備士の国家試験に合格できるレベルの先進安全技術に関する知識(「ハイブリッド自動車及び電気自動車」、「先進安全技術(電子制御装置整備)」)に関する原理や、構造・作動、整備の方法に関する知識を習得する。							
受講条件	13 特になし							
教科書名	14 二級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名 <sup>15</sup>	15 JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16 パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	17 なし			
関連前科目	18 なし			関連後科目 <sup>18,19</sup>	19 なし			
20 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材		
第1回	9月29日	電気自動車(概要)	電気自動車について、広義な特徴と仕組みについて理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P365 パワーポイント		
第2回	10月6日	ハイブリッド車方式	各ハイブリッド車の方式、特徴について理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P365-366 パワーポイント		
第3回	10月20日	電気自動車(構造)	電気自動車を構成する部品コンバータ・インバータの作動について説明ができるようになる。			二級自動車整備士(総合) P367-368 パワーポイント		
第4回	10月27日	電気自動車(配線)	高電圧ケーブルの特徴と高電圧回路の停電方法について理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P369 パワーポイント		
第5回	11月10日	電気自動車(バッテリー)	駆動用バッテリーの役割・構造・種類について説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P370 パワーポイント		
第6回	11月17日	電気自動車(充電)	車載充電器での充電と自家発電による充電の違いを理解し、説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P371 パワーポイント		
第7回	12月1日	電気自動車(モータ)	駆動用モータの作動について、状況によりどういった作動になるかを理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P372 パワーポイント		
第8回	12月8日	小テスト	小テストの実施、解答と解説			二級自動車整備士(総合)		
第9回	12月15日	自動運転システム(概要)	自動運転に対する各メーカーの取り組みと違いについて理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P373 パワーポイント		
第10回	12月22日	自動運転システム(構造・機能)	自動運転に関わるセンサの種類・構造・作動を理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P373-375 パワーポイント		
第11回	1月19日	自動運転システム(整備)	故障診断・各センサの初期化・調整方法について理解し説明できるようになる。			二級自動車整備士(総合) P375-377 パワーポイント		
第12回	1月26日	総合復習 国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説			二級自動車整備士(総合)		
第13回	2月2日	総合復習 国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説			二級自動車整備士(総合)		
第14回	2月9日	総合復習 国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説			二級自動車整備士(総合)		
第15回	2月12日	期末試験	期末試験の実施と解説					
21 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
21 15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	住本 直哉		シラバス承認者	小林 建次		授業担当教員		
						実務経験紹介		
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	シャシ整備Ⅲ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科			学年	3学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	後期	開講年月 <sup>5</sup>	9月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. これまでに学習したシャシ分野の基礎知識(三級自動車整備士)をもとに、二級自動車整備士の試験合格にむけて、シャシに関する原理や構造・作動、整備に関する知識をより詳しく学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 二級自動車整備士の国家試験に合格できるレベルのシャシに関する知識(「ブレーキ装置」、「フレーム及びボデー」、「故障原因探究」)に関する原理や、構造・作動、整備の方法に関する知識を習得する。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. 二級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和6年10月/初版発行/第二章、第六章			教材名 <sup>15</sup>	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	17. なし			
関連前科目	18. シャシ構造Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			関連後科目 <sup>18,19</sup>	19. なし			

授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	9月29日	ブレーキ装置 (概要)	ブレーキ装置の「停止距離」の内訳や「制動時における不具合現象」などを理解し説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P187-188 パワーポイント
第2回	10月6日	ブレーキ装置 (エア・油圧式ブレーキ①)	エア・油圧式ブレーキ(複合式)に用いられている「ブレーキ・バルブ」の構造・作動を理解し説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P189-191 パワーポイント
第3回	10月20日	ブレーキ装置 (エア・油圧式ブレーキ②)	エア・油圧式ブレーキ(複合式)に用いられている「制動倍力装置」の構造・作動を理解し説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P192-194 パワーポイント
第4回	10月27日	ブレーキ装置 (フル・エア式ブレーキ①)	フル・エア式ブレーキの「概要」や構成部品である「リレー・バルブ」の構造・作動を理解し説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P194-196 パワーポイント
第5回	11月10日	ブレーキ装置 (フル・エア式ブレーキ②)	フル・エア式ブレーキの構成部品である「ブレーキ・チャンバ」、「ブレーキ・シュー拡張機構」や「二輪車のブレーキ」の構造・作動を理解し説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P197-199 パワーポイント
第6回	11月17日	ブレーキ装置 (アンチロック・ブレーキ・システム①)	アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)の「制動特性及びコーナリング特性」、「制御サイクル」、「車輪速センサ」、「ECU」について理解し説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P200-202 パワーポイント
第7回	12月1日	ブレーキ装置 (アンチロック・ブレーキ・システム②)	アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)の「増圧作動時」、「減圧作動時」、「保持作動時」、「二輪のABS」について理解し説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P202-205 パワーポイント
第8回	12月8日	ブレーキ装置 (トラクション・コントロール・システム①)	トラクション・コントロール・システム(TCS)の「制御サイクル」「TCSの作動(増圧作動、減圧作動、保持作)について理解し説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P205-209 パワーポイント
第9回	12月15日	ブレーキ装置 (補助ブレーキ①)	ブレーキ装置に用いられている「電子制御式ブレーキシステム」や、「補助ブレーキ」の「エキゾーストブレーキ」、「電磁式リターダ(エディ・カレント・リターダ)」について理解し説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P209-214 パワーポイント
第10回	12月22日	ブレーキ装置 (補助ブレーキ②)	ブレーキ装置に用いられている「補助ブレーキ」の「永久磁石式リターダ」、「流体式リターダ」、「エンジン・リターダ」について理解し説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P215-217 パワーポイント
第11回	1月19日	ブレーキ装置 (整備)	これまでに学習したブレーキ装置の「保守に係る点検・整備」、「不具合現象が発生しているときの着目点」などについて理解し、説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P218-221 パワーポイント
第12回	1月26日	フレーム及びボデー (フレーム)	トラック・バス用フレームの「構造・機能」、「軸重の計算」、剛性などを理解し、説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P222-224 パワーポイント
第13回	2月2日	フレーム及びボデー (ボデー)	乗用車、トラック、バスなどに用いられている「ボデーの構造」や「衝突エネルギーの吸収構造」などを理解し、説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P225-227 パワーポイント
第14回	2月9日	故障原因探究 (概要、診断)	故障原因探究の流れや不具合現象と着目点その原因探究などを理解し説明できるようになる。	二級自動車整備士(総合) P361-364 パワーポイント
第15回	2月12日	期末試験	期末試験の実施と解説	

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

15回目に期末試験を実施。  
①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。  
②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。  
③授業態度は全15回1回1点の減点式。 21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点~90点	
②確認テスト	2位	2位				15	優(A):89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		15	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	竹下 昌孝	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	自動車法規Ⅲ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	3学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	後期	開講年月 <sup>5</sup>	9月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. これまで学習した法令分野の基礎知識(三級自動車整備士)をもとに、二級自動車整備士(総合)に合格にむけて自動車に関する「法令」について、より詳しく学ぶ。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 二級自動車整備士の国家試験に合格できるレベルの法令に関する知識(「道路運送車両法の保安基準」)に関する知識を習得する。						
受講条件	13. 特になし						
教科書名 <sup>14</sup>	法令教材/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和6年2月/初版発行/ VI			教材名 <sup>15</sup>	JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名 <sup>16</sup>	パソコン、タブレット、apple TV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	なし		
関連前科目 <sup>18</sup>	自動車法規 I			関連後科目 <sup>19</sup>	なし		

20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	9月29日	道路運送車両法 保安基準(総則、自動車の保安基準①)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「長さ、幅及び高さ」、「最低地上高」、「車両総重量」、「軸重等」、「安定性」、「最小回転半径」などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P93-101 パワーポイント
第2回	10月6日	道路運送車両法 保安基準(自動車の保安基準②)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「原動機及び動力伝達装置」、「走行装置等」、「操縦装置」、「かじ取り装置」、「施設装置等」などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P101-111 パワーポイント
第3回	10月20日	道路運送車両法 保安基準(自動車の保安基準③)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「制動装置」、「緩衝装置」、「燃料装置」、「高圧ガス燃料装置」、「電気装置」などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P111-124 パワーポイント
第4回	10月27日	道路運送車両法 保安基準(自動車の保安基準④)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「車枠及び車体」、「巻込防止装置等」、「乗車装置」などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P124-133 パワーポイント
第5回	11月10日	道路運送車両法 保安基準(自動車の保安基準⑤)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「運転者席」、「座席」、「座席ベルト等」、「頭部後傾抑制装置等」、「年少者用補助乗車装置等」、「乗降口」、「非常口」、「物品積載装置」、「窓ガラス」などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P134-146 パワーポイント
第6回	11月17日	道路運送車両法 保安基準(自動車の保安基準⑥)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「騒音防止装置」、「ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置」などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P146-154 パワーポイント
第7回	12月1日	道路運送車両法 保安基準(自動車の保安基準⑦)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「前照灯等」、「前部霧灯」、「車幅灯」、「昼間走行灯」などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P154-164 パワーポイント
第8回	12月8日	道路運送車両法 保安基準(自動車の保安基準⑧)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「側方灯及び側方反射器」、「番号灯」、「尾灯」、「後部反射器」などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P165-175 パワーポイント
第9回	12月15日	道路運送車両法 保安基準(自動車の保安基準⑨)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「大型後部反射器」、「制動灯」、「補助制動灯」、「後退灯」などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P175-184 パワーポイント
第10回	12月22日	道路運送車両法 保安基準(自動車の保安基準⑩)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「方向指示器」、「非常点滅表示灯」、「その他の灯火の制限」、などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P185-196 パワーポイント
第11回	1月19日	道路運送車両法 保安基準(自動車の保安基準⑪)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「警告器」、「非常信号用具」、「車線逸脱警報装置」、「車両接近通報装置」、「側方衝突警報装置」、「車両後退通報装置」、「後写鏡等」などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P196-200 パワーポイント
第12回	1月26日	道路運送車両法 保安基準(自動車の保安基準⑫)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「後退時車両直後確認装置」、「窓ふき器等」などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P200-207 パワーポイント
第13回	2月2日	道路運送車両法 保安基準(自動車の保安基準⑬)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「速度計等」、「事故情報計測・記録装置」などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P207-208 パワーポイント
第14回	2月9日	道路運送車両法 保安基準(自動車の保安基準⑭)	道路運送車両法で定められている自動車の保安基準のうち「消火器」、「自動運行装置」、「運行記録計」、「乗車定員及び最大積載量」などを理解し、説明できるようにする。	法令教材 P209-212 パワーポイント
第15回	2月12日	期末試験	期末試験の実施と解説	

21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

15回目に期末試験を実施。  
①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。  
②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。  
③授業態度は全15回1回1点の減点式。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点~90点	
②確認テスト	2位	2位				15	優(A):89点~80点	
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点	
④授業態度			2位	1位		15	可(D):69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	竹下 昌孝	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	検査法		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科			学年	3学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	後期	開講年月 <sup>5</sup>	9月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. これまで学習した法令分野の基礎知識(三級自動車整備士)をもとに、二級自動車整備士(総合)に合格にむけて自動車に関する「法令」について、より詳しく学ぶ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 二級自動車整備士の国家試験に合格できるレベルの法令に関する知識(「保安基準適合性確保の点検」、「自動車点検基準」)に関する知識を習得する。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. 二級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和6年10月/初版発行/第五章 法令教材/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和6年2月/初版発行/ VI			教材名	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17. なし			
関連前科目	18. 自動車点検・整備			関連後科目	18,19. なし			
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	9月29日	保安基準適合性確保の点検(概要)	保安基準適合性確保の点検において、「概要」、「点検の目的」、「点検の流れ」、「各部の点検」を理解し説明できるようになる。				二級自動車整備士(総合) P351-355パワーポイント	
第2回	10月6日	保安基準適合性確保の点検(検査用機器①)	保安基準適合性確保の点検に用いられている「検査用機器」の「サイドスリップ・テスト」、「ブレーキ・テスト」の目的や取り扱いを理解し説明できるようになる。				二級自動車整備士(総合) P355-356パワーポイント	
第3回	10月20日	保安基準適合性確保の点検(検査用機器②)	保安基準適合性確保の点検に用いられている「検査用機器」の「ヘッドライト・テスト」、「音響計」、「スピードメータ・テスト」、「OBD検査用スキャンツール」の目的や取り扱いを理解し説明できるようになる。				二級自動車整備士(総合) P356-359パワーポイント	
第4回	10月27日	自動車点検基準(日常点検基準、定期点検基準)	日常点検基準や定期点検基準にてそれぞれ対象となる自動車や点検整備記録簿の記載事項などを理解し説明できるようになる。また、「別表1」、「別表2」の点検箇所、点検内容を理解し説明できるようになる。				法令教材P74-77パワーポイント	
第5回	11月10日	自動車点検基準(別表3①)	定期点検基準「別表3」において、対象となる自動車や3月ごとに行う点検箇所や点検内容を理解し説明できるようになる。				法令教材P78-81パワーポイント	
第6回	11月17日	自動車点検基準(別表3②)	定期点検基準「別表3」において、対象となる自動車や12月ごとに行う点検箇所や点検内容を理解し説明できるようになる。				法令教材P78-81パワーポイント	
第7回	12月1日	自動車点検基準(別表4)	定期点検基準「別表4」において、対象となる自動車や、3月ごと及び12月ごとに行う点検箇所や点検内容を理解し説明できるようになる。				法令教材P81-82パワーポイント	
第8回	12月8日	自動車点検基準(別表5①)	定期点検基準「別表5」において、対象となる自動車や、6月ごとに行う点検箇所や点検内容を理解し説明できるようになる。				法令教材P83-85パワーポイント	
第9回	12月15日	自動車点検基準(別表5②)	定期点検基準「別表5」において、対象となる自動車や、12月ごとに行う点検箇所や点検内容を理解し説明できるようになる。				法令教材P83-85パワーポイント	
第10回	12月22日	自動車点検基準(別表5の2)	定期点検基準「別表5の2」において、対象となる自動車や、6月ごと及び12月ごとに行う点検箇所や点検内容を理解し説明できるようになる。				法令教材P86-87パワーポイント	
第11回	1月19日	自動車点検基準(別表6①)	定期点検基準「別表6」において、対象となる自動車や、1年ごとに行う点検箇所や点検内容を理解し説明できるようになる。				法令教材P88-90パワーポイント	
第12回	1月26日	自動車点検基準(別表6②)	定期点検基準「別表6」において、対象となる自動車や、2年ごとに行う点検箇所や点検内容を理解し説明できるようになる。				法令教材P88-90パワーポイント	
第13回	2月2日	自動車点検基準(別表7①)	定期点検基準「別表7」において、対象となる自動車や、1年ごとに行う点検箇所や点検内容を理解し説明できるようになる。				法令教材P91-92パワーポイント	
第14回	2月9日	自動車点検基準(別表7②)	定期点検基準「別表7」において、対象となる自動車や、2年ごとに行う点検箇所や点検内容を理解し説明できるようになる。				法令教材P91-92パワーポイント	
第15回	2月12日	期末試験	期末試験の実施と解説					
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
21. 15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	竹下 昌孝		シラバス承認者	小林 建次		授業担当教員		
						実務経験紹介		
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	日本文化		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科		学年	3学年	
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 日本での仕事や生活をするにあたって、日本の文化や歴史などについて理解を深める。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 日本の文化や歴史を学ぶことで、							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. なし			教材名	15. なし			
設備名・機器名	16. なし			関連サイト	17. なし			
関連前科目	18. なし			関連後科目	19. なし			
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上/単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回		日本の節句	七草の節句、桃の節句、菖蒲の節句、笹竹の節句、菊の節句などがいつに行われるのか何を目的に行われるのかをを理解し、説明できるようになる。					
第2回		日本の祝日	日本の祝日について、何を祝うのかなどを理解し、説明できるようになる。					
第3回		子供から大人までの行事	子供から大人になるまでの行事(お宮参り、お食い初め、七五三、成人式など)について理解し、説明できるようになる。					
第4回		確認テスト①	これまでに教わった節句、祝日、行事について確認テストを行い、60点以上をとる。					
第5回		自動車の文化について① (自動車産業の誕生)	戦後の経済復興と自動車産業の成長(トヨタ・ホンダ・日産など)について理解し、説明できるようになる。					
第6回		自動車の文化について② (日本車の輸出と国際競争)	アメリカ・ヨーロッパ市場への進出、日本車の品質について理解し、説明できるようになる。					
第7回		自動車の文化について③ (モータースポーツの発展)	日本のモータースポーツ発展(鈴鹿サーキットの誕生やF1、WRC、ドリフト)などについて理解し、説明できるようになる。					
第8回		自動車の文化について④ (チューニング文化)	1980年代から1990年代にかけて流行ったチューニングなどについて理解し、説明できるようになる。					
第9回		自動車の文化について⑤ (技術革新とエンジンリング)	ハイブリッド車について、構造や仕組みを理解し、説明できるようになる。					
第10回		自動車の文化について⑥ (技術革新とエンジンリング)	EV車について、構造や仕組みを理解し、説明できるようになる。					
第11回		自動車の文化について⑦ (技術革新とエンジンリング)	FCVについて、構造や仕組みを理解し、説明できるようになる。					
第12回		自動車の文化について⑧ (CASE)	CASEのうち、(コネクテッド、自動運転)について理解し、説明できるようになる。					
第13回		自動車の文化について⑨ (CASE)	CASEのうち、(シェアリング、電動化)について理解し、説明できるようになる。					
第14回		総復習	これまでに教わった日本の文化や自動車の文化について総復習を行う。					
第15回		期末試験	期末試験及び解説を実施。					
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
21. 15回目に期末試験を実施。 ①設問数は50問・50分。国家資格試験に準じた内容の記述問題20問・選択問題30問で行う。 ②確認試験は2回に1回、5分程度で行う。 ③授業態度は全15回1回1点の減点式。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	竹下 昌孝	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員				
				実務経験紹介				
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)				
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	日本語能力1級		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	3学年	
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	民間検定	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	日本語能力試験 N2	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. JLPT (日本語能力試験) N2に合格できる力を身につける。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. JLPT (日本語能力試験) N2相当の語彙・文法を身につける。 第2回JLPTでN2取得を目指す。 自動車に関する用語 (漢字) の読み書きができるようになる。							
受講条件	13. とくになし							
教科書名	14. TRY! N2 文法から伸ばす日本語 8か国語でわかる整備用語 (各回20問出題)			教材名	15. TRY! N2 文法から伸ばす日本語 8か国語でわかる整備用語 (各回20問出題)			
設備名・機器名	16. PC プロジェクター			関連サイト	17. なし			
関連前科目	18. なし			関連後科目	19. 日本語能力2級			
20. 授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上/単位、実習・演習: 30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材		
第1回	4月14日	リアル 1級 課題①	文法97-100 / 本文語彙 (P.153) / まとめの問題 (P.157-159)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P154-161		
第2回	4月21日	文法・語彙・自動車用語 第1回	文法101-104			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P161-164		
第3回	5月12日	文法・語彙・自動車用語 第2回	文法105-108 / まとめの問題 (P.169-171) / 本文語彙 (P.172)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P165-174		
第4回	5月12日	文法・語彙・自動車用語 第3回	文法109-112			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P174-177		
第5回	5月19日	リアル 1級 課題②	文法113-116 / 本文語彙 (P.179)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P179-182		
第6回	5月26日	文法・語彙・自動車用語 第4回	文法117-120 / まとめの問題 (P.185-187)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P182-190		
第7回	5月26日	文法・語彙・自動車用語 第5回	文法121-124			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P190-193		
第8回	6月2日	文法・語彙・自動車用語 第6回	文法125-128 / 本文語彙 (P.195)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P196-198		
第9回	6月2日	文法・語彙・自動車用語 第7回	文法129-132			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P199-206		
第10回	6月9日	リアル 1級 課題③	文法133-136			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P207-209		
第11回	6月16日	文法・語彙・自動車用語 第8回	文法137-139			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P209-211		
第12回	6月16日	文法・語彙・自動車用語 第9回	まとめの問題 (P.202-204)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P202-204		
第13回	6月23日	文法・語彙・自動車用語 第10回	まとめの問題 (P.213-214)			TRY! N2文法から伸ばす日本語 P213-214		
第14回	6月23日	期末試験対策	試験対策問題 (文法97-139 / 語彙)			TRY! N2文法から伸ばす日本語		
第15回	7月4日	期末試験	期末試験					
21. 成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
単位認定 総合成績60点以上 及び 出席率90%以上 (期末試験 50分間) (確認テスト: 毎時限行う場合10分・範囲ごとに行う場合30分)								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可 (D) : 69点~60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	横山 あかり		シラバス承認者	小林 建次		授業担当教員		
						実務経験紹介		
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 <sup>1</sup>	キャリアデザインⅢ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科		学年	3学年
授業形態 <sup>4</sup>	講義	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	1	時間数 <sup>9</sup>	30	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 学校行事(体育大会、ほりかわ祭)、就職活動、セミナーの受講。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 学校行事に参加し学生間の親睦を深める。企業研修、知識の習得						
受講条件	13. 特になし						
教科書名	14. なし			教材名	15. なし		
設備名・機器名	16. なし			関連サイト	17. なし		
関連前科目	18. なし			関連後科目	19. なし		
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	5月23日	体育大会	チームワークや、責任感、達成感の習得できる。				
第2回	5月23日	体育大会	チームワークや、責任感、達成感の習得できる。				
第3回	7月28日	夏季休暇について	夏季休暇に向けてオーバーワークなどについての事前指導を実施。				
第4回	8月25日	校内技術コンクールにむけて	校内技術コンクールの概要、注意事項、取り組みについて理解できる。				
第5回	9月29日	国家試験対策①	総合復習及び国家試験受験対策 習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説				
第6回	10月6日	国家試験対策②	総合復習及び国家試験受験対策 習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説				
第7回	10月20日	国家試験対策③	総合復習及び国家試験受験対策 習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説				
第8回	10月27日	国家試験対策④	総合復習及び国家試験受験対策 習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説				
第9回	10月31日	学園祭①	ほりかわ祭の準備、クラスで担当企画の運営準備でチームワークを発揮できる。				
第10回	11月1日	学園祭②	ほりかわ祭当日の運営において、担当企画を成功させ、企画運営に関してのノウハウを習得できる。				
第11回	11月10日	国家試験対策⑤	総合復習及び国家試験受験対策 習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説				
第12回	11月17日	国家試験対策⑥	総合復習及び国家試験受験対策 習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説				
第13回	12月1日	国家試験対策⑦	総合復習及び国家試験受験対策 習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説				
第14回	12月8日	国家試験対策⑧	総合復習及び国家試験受験対策 習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説				
第15回	12月15日	国家試験対策⑨	総合復習及び国家試験受験対策 習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説				
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							
21. ①課題レポート提出。 ②授業態度は全15回1回1点の減点式。							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				70
②確認テスト		2位	2位				15
③課題レポート							なし
④授業態度				2位	1位		15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
シラバス作成者	竹下 昌孝	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員			
				実務経験紹介			
更新履歴							
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

科目名 <sup>1</sup>	エンジン実習Ⅲ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科			学年	3学年
授業形態 <sup>4</sup>	実習	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	3	時間数 <sup>9</sup>	96	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、ガソリン・エンジンに関する基礎知識(エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置など)を学習し、理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 三級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのガソリン・エンジンに関する基礎知識と技術を習得する。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名 <sup>15</sup>	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	17. なし			
関連前科目	18. エンジン実習Ⅱ			関連後科目 <sup>18,19</sup>	18,19. なし			
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	5月20日	ブラシレスモーターとは? : 基礎と歴史、種類と応用	ブラシレスモーターの基本的な定義、ブラシモーターとの根本的な違い、そしてその技術の歴史的発展について学習します。DCブラシレスモーター(BLDC)とACブラシレスモーター(同期モーター)の違い、それぞれの主な用途や応用例について学びます。				ブラシレスモーターキット	
第2回	5月20日	主要部品の理解:ステーターとローター、コイルと磁石	ブラシレスモーターの固定子(ステーター)と回転子(ローター)の構造、機能、およびそれぞれの役割について詳細に解説します。ステーターのコイルの種類、巻き方、そしてローターに使用される磁石(永久磁石)の種類と特性について学習します。					
第3回	5月21日	主要部品の理解:ホールセンサーとドライバー	モーターの位置検出に使用されるホールセンサーの原理と役割、そしてモーターを駆動するためのドライバー回路の基本について学びます。					
第4回	5月21日	電磁誘導の法則とモーターの回転原理	ファラデーの電磁誘導の法則と、それがブラシレスモーターの回転にどのように応用されているかを解説します。					
第5回	5月22日	ローレンツ力とトルクの発生	電流が磁場中で受ける力(ローレンツ力)が、モーターのトルクとしてどのように発生するかを学びます。					
第6回	5月22日	ホール素子の役割と位置検出	ホール素子を用いたローターの位置検出方法と、それがモーター制御にどのように利用されるかを詳細に学習します。					
第7回	5月22日	コミテーション:電子的な整流	ブラシレスモーターにおける電子的な整流(コミテーション)の原理と、それが連続的な回転を可能にする仕組みを解説します。					
第8回	5月22日	PWM制御の基礎:速度とトルクの制御	パルス幅変調(PWM)の基本的な原理と、それがブラシレスモーターの速度やトルク制御にどのように利用されるかを学びます。					
第9回	5月27日	キット内容物の確認と工具の準備 組み立て前の注意点と安全対策	ブラシレスモーター作成キットの内容物を全て確認し、組み立てに必要な基本的な工具(ドライバー、ペンチなど)を準備します。組み立て作業における安全に関する注意事項(感電、部品の破損防止など)を学び、作業環境を整えます。					
第10回	5月27日	ステーターとコイルの組み立て	キットの指示に従い、ブラシレスモーターの固定子(ステーター)にコイルを正確に巻き付ける作業を完了します。					
第11回	5月28日	ローターと磁石の取り付け	回転子(ローター)に永久磁石を正しく配置し、固定する作業を行います。磁石の極性に注意しながら進めます。					
第12回	5月28日	ドライバーボードへの配線接続	作成したモーターとドライバーボードを接続するための配線作業を開始します。配線の色分けや端子への接続方法を確認します。配線作業を完了させ、全ての接続が正しいかを目視とテスターで確認します。					
第13回	5月29日	電源接続と初期通電テスト	電源を接続し、初めてモーターに通電します。この段階でのモーターの初期動作(微細な動きや音)を確認します。					
第14回	5月29日	初期動作の評価とトラブルシューティング	モーターが正しく回転しない、異音が発生するなど、初期動作で問題が見られた場合の基本的なトラブルシューティング方法を学びます。					
第15回	5月29日	フェーズシーケンスと回転方向の調整	ブラシレスモーターの回転方向を決定するフェーズシーケンスについて理解し、必要に応じて配線を調整して回転方向を変更する方法を学びます。					
第16回	5月29日	電圧・電流の測定方法	マルチメーターを用いて、モーターに供給される電圧と消費される電流を正確に測定する方法を学びます。					
第17回	6月3日	回転数測定:タコメーターの使用	非接触式タコメーターを用いて、モーターの回転数(RPM)を測定する方法を実習します。					
第18回	6月3日	制御波形の測定:オシロスコープの基礎	オシロスコープの基本的な操作方法を学び、モータードライバーからの制御信号(PWM波形など)を観測します。					
第19回	6月4日	制御波形の解析:電圧波形と電流波形	オシロスコープで観測した電圧波形と電流波形を解析し、モーターの動作状態との関係性を考察します。					
第20回	6月4日	負荷変動とモーター特性の関係	モーターに軽度の負荷をかけながら、電圧、電流、回転数、波形がどのように変化するかを測定し、モーター特性への影響を考察します。					
第21回	6月5日	効率改善の考察とチューニング	測定結果に基づき、モーターの効率を改善するための方法(例えば、コイルの巻き方、磁石の配置、制御パラメータの調整など)について考察します。					
第22回	6月5日	さまざまな制御方式の比較、 ブラシレスモーターの応用事例研究	センサーレス制御、FOC(ベクトル制御)など、より高度なブラシレスモーター制御方式について概論を学びます。ドローン、EV、家電製品など、ブラシレスモーターが実際にどのように利用されているかの具体的な事例を調査・発表します。					
第23回	6月5日	成果発表の準備とリハーサル	これまでの実習で得られた知識、作成したモーター、測定結果、考察などをまとめ、最終発表の準備を行います。					
第24回	6月5日	最終成果発表と質疑応答	各自またはグループで、作成したブラシレスモーター、測定データ、学習内容について発表を行い、質疑応答を通じて理解を深めます。					
第25回	10月21日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説					
第26回	10月21日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説					
第27回	10月22日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説					

第28回	10月22日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第29回	10月23日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第30回	10月23日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第31回	10月23日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第32回	10月23日	実力確認テスト（筆記）	習得した知識を評価する。	
第33回	10月28日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第34回	10月28日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第35回	10月29日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第36回	10月29日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第37回	10月30日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第38回	10月30日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第39回	10月30日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第40回	10月30日	実力確認テスト（筆記）	習得した知識を評価する。	
第41回	11月11日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第42回	11月11日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第43回	11月12日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第44回	11月12日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第45回	11月13日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第46回	11月13日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第47回	11月13日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第48回	11月13日	実力確認テスト（筆記）	習得した知識を評価する。	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

8回目ごとに実技試験を実施。 21.  
 ①設問数は、国家資格試験に準じた内容の3問で行う。  
 ②授業態度は1回のローテーションで24回実施にて15点。1点ずつの減点式。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点	
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）：89点～80点	
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点	
④授業態度			2位	1位		15	可（D）：69点～60点	
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	シャシ実習Ⅲ		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	3学年
授業形態 <sup>4</sup>	実習	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	3	時間数 <sup>9</sup>	96	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、シャシの基本実習を行うことにより、整備の基礎知識や基礎技術の習得を図る。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 三級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのシャシに関する基礎知識と技術を習得する。						
受講条件	13. 特になし						
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名 <sup>15</sup>	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	17. なし		
関連前科目	18. シャシ実習Ⅱ			関連後科目 <sup>18,19</sup>	19. なし		
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	7月1日	ステアリングシステムの役割と基本構造	自動車のステアリングシステムの目的、基本構成(ステアリングホイール、ステアリングコラム、ギアボックス、リンケージ)を学習します。				
第2回	7月1日	油圧式パワーステアリングの構造と原理	油圧ポンプ、コントロールバルブ、パワーシリンダーなどの主要部品の構造と、油圧による操舵アシストの原理を理解します。				
第3回	7月2日	電動式パワーステアリング(EPS)の構造と原理	EPSの種類(コラムアシスト、ピニオンアシストなど)、モーター、ECU、トルクセンサーなどの構造と、電動アシストの原理を学習します。				
第4回	7月2日	パワーステアリングシステムの点検とトラブルシューティング	油圧式および電動式パワーステアリングシステムの一般的な点検項目、異音、重操舵などのトラブルシューティングの基礎を学びます。				
第5回	7月3日	ステアリング関連部品の点検と調整	ステアリングギアボックス、タイロッドエンド、ボールジョイント、ステアリングリンケージなどのガタや損傷の点検方法を学びます。				
第6回	7月3日	ホイール・アライメントとは? : 基礎と目的	ホイール・アライメントの基本的な定義、なぜアライメント調整が必要なのか、その目的(直進安定性、操縦性、タイヤ摩耗)を学習します。				
第7回	7月3日	キャンバー角、キャスター角、トーインの理解と車両への影響	キャンバー角、キャスター角、トーイン、トーアウトなどそれぞれの概念や安定性、タイヤの摩耗に与える影響などを理解する。				
第8回	7月3日	その他のアライメント要素とタイヤ摩耗の関連性	スラスト角、キングピン傾角などのアライメント要素、そしてアライメント不良が引き起こす様々なタイヤ摩耗のパターンを学習します。				
第9回	7月8日	ホイール・アライメントテスターの原理と種類	光学式、CCD式、3D式などのアライメントテスターの原理と特徴、それぞれの測定方法の概要を学びます。				
第10回	7月8日	CCKゲージ、ターニングラジウスゲージを用いたアライメント測定	CCKゲージ(キャンバー、キャスター、キングピンゲージ)の構造と操作方法を学び、実際の車両で測定実習を行います。ターニング・ラジウスゲージの構造と操作方法を学び、トーイン/アウトの測定実習を行います。				
第11回	7月9日	ホイール・アライメント調整の実践	測定結果に基づき、キャンバー角、キャスター角、トーインの調整方法を学び、実習車両で調整作業を行います。最終的な測定で基準値内に収まっているかを確認します。調整後の試運転についても学びます。				アライメントテスターを用いた実習。
第12回	7月9日	ブレーキシステムの役割と制動の原理	自動車のブレーキシステムの目的、運動エネルギーを熱エネルギーに変換する制動の基本的な原理を学習します。				
第13回	7月10日	油圧式ブレーキの基本構造と作動	マスターシリンダー、ブレーキパイプ、ホイールシリンダー/キャリパー、ブレーキフルードなどの基本構造と作動を学びます。				単体部品での構造理解と分解・組立。
第14回	7月10日	ディスクブレーキおよびドラムブレーキの構造と作動	ディスクブレーキのキャリパー、ディスクローター、ブレーキパッドなどの構造と、ドラムブレーキのホイールシリンダー、ブレーキシュー、ドラムなどの構造の作動原理、点検項目を学習します。				
第15回	7月10日	制動倍力装置(ブレーキブースター)の構造と作動	真空式ブレーキブースターの構造(ダイヤフラム、チェックバルブ)と、ペダル踏力を増幅させる原理を学びます。				
第16回	7月10日	プロポーションングバルブ(Pバルブ)の構造と機能	Pバルブの役割(前後輪制動力配分)、種類、作動原理、点検について学習します。				
第17回	7月15日	アンチロックブレーキシステム(ABS)の基本原理	ABSの目的、車輪速センサー、ABSアクチュエーター、ECUなどの構成部品と、タイヤのロックを防ぐ制御原理を学びます。				単体部品での構造理解と作動確認。
第18回	7月15日	エアブレーキシステムの概論と基本構造エアブレーキの主要バルブ	主に大型商用車に用いられるエアブレーキの基本構成(コンプレッサー、エアタンク、ブレーキチャンバーなど)と、その利点を学習します。エアブレーキシステムにおけるブレーキバルブ(フットバルブ)とリレーバルブの構造、作動原理、役割を詳しく学びます。				
第19回	7月16日	エアブレーキの補助装置と点検	エア乾燥機、セーフティバルブ、低圧警告装置などの補助装置、およびエアブレーキシステムの日常点検項目を学習します。				
第20回	7月16日	ブレーキ液交換とエア抜き作業	ブレーキフルードの役割、交換時期、正しい交換方法と、ブレーキシステムのエア抜き作業を実習します。				
第21回	7月17日	ブレーキパッド・ブレーキシューの交換作業	ディスクブレーキパッドとドラムブレーキシューの点検、交換方法、装着時の注意点を実習します。				実車または単体部品での実践作業。
第22回	7月17日	ブレーキ鳴き、引きずり、効き不良の診断と対策	ブレーキの一般的なトラブル(鳴き、引きずり、効き不良)の原因特定と、それぞれの対策方法について学習します。				
第23回	7月17日	ブレーキ装置の総合診断演習と質疑応答	実際の故障事例を想定し、これまで学習した知識を用いてブレーキ装置の総合的な故障診断と原因究明を行う演習を行います。				
第24回	7月17日	総合評価とフィードバック	本実習で習得した知識と技能について総合的な評価を行い、個別のフィードバックを通じて今後の学習に繋がります。				
第25回	11月18日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説				

第26回	11月18日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第27回	11月19日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第28回	11月19日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第29回	11月20日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第30回	11月20日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第31回	11月20日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第32回	11月20日	実力確認テスト（筆記）	習得した知識を評価する。	
第33回	11月25日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第34回	11月25日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第35回	11月26日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第36回	11月26日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第37回	11月27日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第38回	11月27日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第39回	11月27日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第40回	11月27日	実力確認テスト（筆記）	習得した知識を評価する。	
第41回	12月2日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第42回	12月2日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第43回	12月3日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第44回	12月3日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第45回	12月4日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第46回	12月4日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第47回	12月4日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第48回	12月4日	実力確認テスト（筆記）	習得した知識を評価する。	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

8回目ごとに実技試験を実施。  
 ①設問数は、国家資格試験に準じた内容の3問で行う。  
 ②授業態度は1回のローテーションで24回実施にて15点。1点ずつの減点式。 21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下 21.
⑥プレゼンテーション						なし	21.
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者（確認者）
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	電装実習Ⅲ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科			学年	<sup>3</sup> 3学年
授業形態 <sup>4</sup>	実習	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	3	時間数 <sup>9</sup>	96	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、次の各装置について、学科授業と連動させた内容で構造動作を学習する。 電子・電気関係・電磁石・電磁誘導・半導体・バッテリー・始動装置・充電装置・点火装置・灯火装置・計器類・冷暖房装置							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. エンジンやシャシにも電装品が使用されており、各分野に共通して電気の知識が必要となる。 二年生の実車授業の基礎となる装置単体を中心に電装品の知識を習得する。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト	17. なし			
関連前科目	18. 電装実習Ⅱ			関連後科目	18. 19. なし			
授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位								20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月15日	自動車エアコンシステムの全体像と役割	自動車エアコンシステムの基本的な構成(冷房、暖房、除湿)と、乗員の快適性および窓の曇り防止における役割を学習します。					
第2回	4月15日	冷媒の種類と特性、フロン排出抑制法	R134a、R1234yfなどの冷媒の種類、それぞれの特性(GWP値など)、冷媒管理に関する法律(フロン排出抑制法)を学びます。					
第3回	4月16日	冷媒サイクルの主要構成部品	コンプレッサー、コンデンサー、レシーバードライヤーの構造、機能、冷媒サイクルにおける役割を学習します。エキスパンションバルブ(またはオリフィスチューブ)、エバポレーターの構造、機能、冷媒サイクルにおける役割を学習します。					
第4回	4月16日	P-H線図による冷媒サイクルの可視化	冷媒の圧力-エンタルピー(P-H)線図を用いて、冷媒サイクル中の状態変化(圧縮、凝縮、膨張、蒸発)を視覚的に理解します。					
第5回	4月17日	エアコンシステムの目視点検と機能確認	エアコンシステムの外部からの目視点検(配管、ホース、ベルトなど)、スイッチ類の機能確認、吹き出し温度測定を行います。				デミオ、ワゴンR、ミラージュ	
第6回	4月17日	ゲージマニホールドの使用と冷媒圧力測定	ゲージマニホールドセットの構造、接続方法、高圧側・低圧側の圧力測定を通して、システムの状態を診断する方法を実習します。					
第7回	4月17日	エアコンガスの回収と真空引き作業、充填作業	エアコンガスチャージングステーションを用いて、冷媒の安全な回収方法と、システム内の非凝縮ガスを除去するための真空引き作業を実習します。真空引きが完了したシステムへの正確な冷媒充填方法を実習します。適正量のガス充填が性能に与える影響を学びます。					
第8回	4月17日	コンプレッサーの分解・組付けと点検	エアコンの主要部品であるコンプレッサーを単体で分解し、内部構造(ピストン、バルブなど)を観察し、組付け作業を行います。				単体部品	
第9回	4月22日	エアコンの電気制御システムとセンサーアクチュエーターとプロアモーター	エアコンECUの役割、各種センサー(外気温、内気温、エバポレーター温度、圧力センサー)の働きと信号を学習します。エアコンのアクチュエーター(マグネットクラッチ、アイドルアップ、エアミックストア、モードドア)と、プロアモーターの構造と制御を学びます。					
第10回	4月22日	エアコンシステムの診断機を用いた故障診断	診断機(スキャンツール)を用いたエアコンシステムのDTC(診断トラブルコード)の読み取り、データモニター、アクティブテストを実習します。				デミオ、ワゴンR、ミラージュ	
第11回	4月23日	エアコンの制御プログラミングの基礎と動作確認	特定の車両でエアコンの制御ロジックの変更(診断機による)や、簡易的なプログラミングによる動作確認を実習し、制御の理解を深めます。				デミオ、ワゴンR、ミラージュ	
第12回	4月23日	エアコンの異音・異臭・効き不良のトラブルシューティング	エアコンから発生する異音(コンプレッサー、プロアモーターなど)、異臭の原因と対策、冷えが悪い、温まらないなどの効き不良の診断方法を学びます。					
第13回	4月24日	エンジン燃焼の三要素の再確認と故障探求のフロー	「良い混合気、良い圧縮、良い火花」の燃焼の三要素を再確認し、電氣的故障探求の基本的なフローチャートを学習します。					
第14回	4月24日	点火系統の故障探求、燃料系統の故障探求	スパークプラグの点検、点火コイルの抵抗測定、イグナイターの作動確認、オシロスコープによる点火波形診断を実習します。燃料ポンプの吐出量・圧力測定、インジェクターの駆動波形確認、抵抗測定、目視点検による詰まり・漏れ診断を実習します。					
第15回	4月24日	吸気・排気系統の故障探求(センサー、アクチュエーター)	エアフロセンサー、O2センサー、スロットルポジションセンサーなどの信号測定、EGRバルブ、VVTなどのアクチュエーターの作動確認を実習します。					
第16回	4月24日	診断機を用いたエンジン系統のDTC解析とライブデータ分析	診断機でDTCを読み取り、そのコードが示す意味を解析します。さらにライブデータを観察し、センサー値や作動状況から故障箇所を特定する方法を学びます。					
第17回	5月13日	エンジン系統の模擬故障診断演習	教員が設定したエンジン系統の模擬故障に対し、診断機やテスターを用いて不具合箇所を特定する演習を行います。特定された不具合箇所に対し、実際に部品の交換や配線の修理を行い、故障が解消されたかを確認する作業を実習します。					
第18回	5月13日	エンジン系統の事例研究: Ducati/SC59/GSX1000(2輪車特有の電装トラブル)	2輪車(Ducati, SC59, GSX1000など)に特有のエンジン電装トラブル事例を研究し、診断方法と修理のポイントを学びます。				Ducati, SC59, GSX1000	
第19回	5月14日	エンジン系統の事例研究: XL1200(ハーレーダビッドソン等の特徴)	ハーレーダビッドソン(XL1200など)のエンジン電装システムの特徴と、一般的なトラブルシューティングについて学びます。				XL1200L	
第20回	5月14日	エンジン系統の修理後の最終確認作業と試運転	修理完了後、診断機でのDTCクリア、再度ライブデータ確認、ロードテスト(試運転)を行い、問題が完全に解決したことを確認します。					
第21回	5月15日	灯火系統の故障探求と配線図の読み方	ヘッドライト、テールランプ、ウインカーなどの不灯、点滅異常、ヒューズ切れなどの診断方法と、配線図の正しい読み方を学習します。					
第22回	5月15日	シャシ系統の電気装置の故障探求(ABS、SRSなど)	ABS(アンチロックブレーキシステム)やSRS(エアバッグシステム)などのシャシ系統における電氣的故障の診断機を用いたアプローチを学びます。					
第23回	5月15日	リレー回路の診断とCAN通信の基礎、灯火・シャシ系統の模擬故障診断演習と修理確認	自動車におけるリレー回路の役割、診断方法、そして近年普及が進むCAN通信(コントローラエリアネットワーク)の基本的な仕組みを学びます。教員が設定した灯火・シャシ系統の模擬故障に対し、診断機やテスターを用いて不具合箇所を特定し、修理・確認を行う演習					
第24回	5月15日	電装システム総合診断演習とフィードバック	これまでの電装実習全般で学習した知識と技能を総動員し、複数のシステムにまたがる複合的な故障の診断演習を行い、総合的な評価とフィードバックを行います。					
第25回	9月30日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説					
第26回	9月30日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説					

第27回	10月1日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第28回	10月1日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第29回	10月2日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第30回	10月2日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第31回	10月2日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第32回	10月2日	実力確認テスト（筆記）	習得した知識を評価する。	
第33回	10月7日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第34回	10月7日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第35回	10月8日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第36回	10月8日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第37回	10月9日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第38回	10月9日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第39回	10月9日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第40回	10月9日	実力確認テスト（筆記）	習得した知識を評価する。	
第41回	10月14日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第42回	10月14日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第43回	10月15日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第44回	10月15日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第45回	10月16日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第46回	10月16日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第47回	10月16日	総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第48回	10月16日	実力確認テスト（筆記）	習得した知識を評価する。	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

8回目ごとに実技試験を実施。  
 ①設問数は、国家資格試験に準じた内容の3問で行う。  
 ②授業態度は1回のローテーションで24回実施にて15点。1点ずつの減点式。 21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

科目名 <sup>1</sup>	総合実習Ⅲ		学科名 (コース名) <sup>2</sup>	国際自動車整備科			学年	3学年
授業形態 <sup>4</sup>	実習	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格	
教育課程区分 <sup>7</sup>	必修	単位数 <sup>8</sup>	4	時間数 <sup>9</sup>	144	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 二級自動車整備士の試験合格にむけて、安全作業と測定について基礎知識を学習し、理解する。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 三級自動車(総合)の国家試験に合格できるレベルのガソリン・エンジンに関する基礎知識を習得する。							
受講条件	13. 特になし							
教科書名	14. 三級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和5年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名 <sup>15</sup>	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES			
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	17. なし			
関連前科目	18. 総合実習Ⅱ			関連後科目 <sup>18,19</sup>	19. なし			
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	7月22日	点検結果の記録と報告書の作成③	点検結果を正確に記録し、不具合箇所を明確にまとめるスキルを身につける。					
第2回	7月22日	定期点検整備の概要と法定点検の理解①	法定点検の種類(12ヶ月点検、24ヶ月点検など)と内容を学ぶ。					
第3回	7月23日	定期点検整備の概要と法定点検の理解②	法定点検の種類(12ヶ月点検、24ヶ月点検など)と内容を学ぶ。					
第4回	7月23日	定期点検整備の概要と法定点検の理解③	法定点検の種類(12ヶ月点検、24ヶ月点検など)と内容を学ぶ。					
第5回	7月24日	日常点検と新車無料点検の実施手順①	お客様自身で行う日常点検と、新車購入後の点検項目を正確に実施する。					
第6回	7月24日	日常点検と新車無料点検の実施手順②	お客様自身で行う日常点検と、新車購入後の点検項目を正確に実施する。					
第7回	7月24日	日常点検と新車無料点検の実施手順③	お客様自身で行う日常点検と、新車購入後の点検項目を正確に実施する。					
第8回	7月24日	点検結果に基づく不具合判断と整備計画の立案①	点検で発見された不具合の緊急度や必要性を判断し、整備内容を計画する。					
第9回	7月29日	点検結果に基づく不具合判断と整備計画の立案②	点検で発見された不具合の緊急度や必要性を判断し、整備内容を計画する。					
第10回	7月29日	点検結果に基づく不具合判断と整備計画の立案③	点検で発見された不具合の緊急度や必要性を判断し、整備内容を計画する。					
第11回	7月30日	顧客対応の基礎(接客マナー、言葉遣い)①	お客様を安心させる接客態度、専門用語を避けた分かりやすい言葉遣いを学ぶ。					
第12回	7月30日	顧客対応の基礎(接客マナー、言葉遣い)②	お客様を安心させる接客態度、専門用語を避けた分かりやすい言葉遣いを学ぶ。					
第13回	7月31日	顧客対応の基礎(接客マナー、言葉遣い)③	お客様を安心させる接客態度、専門用語を避けた分かりやすい言葉遣いを学ぶ。					
第14回	7月31日	接客応酬話の実践①	お客様の要望や不具合状況を正確に聞き出すスキルを練習する。 点検で判明した不具合を分かりやすく説明し、必要な整備を納得していただくための話し方を練習する。					
第15回	7月31日	接客応酬話の実践②	お客様の要望や不具合状況を正確に聞き出すスキルを練習する。 点検で判明した不具合を分かりやすく説明し、必要な整備を納得していただくための話し方を練習する。					
第16回	7月31日	接客応酬話の実践③	お客様の要望や不具合状況を正確に聞き出すスキルを練習する。 点検で判明した不具合を分かりやすく説明し、必要な整備を納得していただくための話し方を練習する。					
第17回	8月4日	接客応酬話の実践④	見積もりの提示方法と、お客様の疑問や不安に対応するスキルを磨く。整備内容の確認、次回点検の案内、感謝の言葉の伝え方を練習する。					
第18回	8月4日	接客応酬話の実践⑤	見積もりの提示方法と、お客様の疑問や不安に対応するスキルを磨く。整備内容の確認、次回点検の案内、感謝の言葉の伝え方を練習する。					
第19回	8月5日	接客応酬話の実践⑥	見積もりの提示方法と、お客様の疑問や不安に対応するスキルを磨く。整備内容の確認、次回点検の案内、感謝の言葉の伝え方を練習する。					
第20回	8月5日	各車両における定期点検整備実習(ワゴンR・コペンクラス)①	軽自動車クラスの定期点検整備を実践し、車種ごとの注意点を学ぶ。					
第21回	8月6日	各車両における定期点検整備実習(ワゴンR・コペンクラス)②	軽自動車クラスの定期点検整備を実践し、車種ごとの注意点を学ぶ。					
第22回	8月6日	各車両における定期点検整備実習(ワゴンR・コペンクラス)③	軽自動車クラスの定期点検整備を実践し、車種ごとの注意点を学ぶ。					
第23回	8月6日	各車両における定期点検整備実習(フリード・ZR400C・GX7Cクラス)①	ミニバンや特殊車両の点検整備を実践し、多様な車種に対応する能力を養う。					
第24回	8月6日	総合実習成果発表と振り返り	これまでの実習で得た知識、技能、顧客対応スキルを総合的に発表し、自己評価と今後の課題を明確にする。					
第25回	2月3日	各車両における定期点検整備実習(フリード・ZR400C・GX8Cクラス)②	ミニバンや特殊車両の点検整備を実践し、多様な車種に対応する能力を養う。					
第26回	2月3日	各車両における定期点検整備実習(フリード・ZR400C・GX9Cクラス)③	ミニバンや特殊車両の点検整備を実践し、多様な車種に対応する能力を養う。					
第27回	2月4日	先進運転支援システム(ADAS)の概要と車載カメラ・センサーの役割①	ADASの基本機能、それに用いられるカメラやセンサーの種類と重要性を学ぶ。					
第28回	2月4日	先進運転支援システム(ADAS)の概要と車載カメラ・センサーの役割②	ADASの基本機能、それに用いられるカメラやセンサーの種類と重要性を学ぶ。					
第29回	2月5日	先進運転支援システム(ADAS)の概要と車載カメラ・センサーの役割③	ADASの基本機能、それに用いられるカメラやセンサーの種類と重要性を学ぶ。					
第30回	2月5日	エーミング作業の基礎知識と必要性①	エーミングとは何か、なぜ必要なのか、作業の重要性を理解する。					

第31回	2月5日	エーミング作業の基礎知識と必要性②	エーミングとは何か、なぜ必要なのか、作業の重要性を理解する。	
第32回	2月5日	エーミング作業の基礎知識と必要性③	エーミングとは何か、なぜ必要なのか、作業の重要性を理解する。	
第33回		エーミング作業で使用する工具・機器と作業環境①	ターゲット、スキャンツールなどの専門機器の取り扱いと、作業スペースの準備を学ぶ。	
第34回		エーミング作業で使用する工具・機器と作業環境②	ターゲット、スキャンツールなどの専門機器の取り扱いと、作業スペースの準備を学ぶ。	
第35回		エーミング作業で使用する工具・機器と作業環境③	ターゲット、スキャンツールなどの専門機器の取り扱いと、作業スペースの準備を学ぶ。	
第36回		エーミング作業の手順と注意点(レヴォーグ等を想定)①	特定車種(例:レヴォーグ)を対象に、実際のメーカー指定の手順を学習する。	各車両 エーミング(レヴォーグ)
第37回		エーミング作業の手順と注意点(レヴォーグ等を想定)②	特定車種(例:レヴォーグ)を対象に、実際のメーカー指定の手順を学習する。	各車両 エーミング(レヴォーグ)
第38回		エーミング作業の手順と注意点(レヴォーグ等を想定)③	特定車種(例:レヴォーグ)を対象に、実際のメーカー指定の手順を学習する。	各車両 エーミング(レヴォーグ)
第39回		エーミング作業の実践①	診断ツールを用いてセンサーの状態確認、故障コードの読み取りを行う。正確なターゲット設置方法と、車両との距離・高さ・角度の調整を練習する。スキャンツールを用いたカメラ・センサーの初期化と、キャリブレーション(調整)作業を行う。	各車両 エーミング(レヴォーグ)
第40回		エーミング作業の実践②	診断ツールを用いてセンサーの状態確認、故障コードの読み取りを行う。正確なターゲット設置方法と、車両との距離・高さ・角度の調整を練習する。スキャンツールを用いたカメラ・センサーの初期化と、キャリブレーション(調整)作業を行う。	各車両 エーミング(レヴォーグ)
第41回		エーミング作業の実践③	診断ツールを用いてセンサーの状態確認、故障コードの読み取りを行う。正確なターゲット設置方法と、車両との距離・高さ・角度の調整を練習する。スキャンツールを用いたカメラ・センサーの初期化と、キャリブレーション(調整)作業を行う。	各車両 エーミング(レヴォーグ)
第42回		エーミング作業後の最終確認と報告書の作成①	調整後の作動確認、エラーコードの再確認、作業履歴の記録方法を学ぶ。	各車両 エーミング(レヴォーグ)
第43回		エーミング作業後の最終確認と報告書の作成②	調整後の作動確認、エラーコードの再確認、作業履歴の記録方法を学ぶ。	各車両 エーミング(レヴォーグ)
第44回		エーミング作業後の最終確認と報告書の作成③	調整後の作動確認、エラーコードの再確認、作業履歴の記録方法を学ぶ。	各車両 エーミング(レヴォーグ)
第45回		総合的な不具合診断とトラブルシューティング①	複数の不具合が複合的に発生した場合の診断方法と、効率的な解決策を考察する。	各車両 エーミング(レヴォーグ)
第46回		総合的な不具合診断とトラブルシューティング②	複数の不具合が複合的に発生した場合の診断方法と、効率的な解決策を考察する。	各車両 エーミング(レヴォーグ)
第47回		総合的な不具合診断とトラブルシューティング③	複数の不具合が複合的に発生した場合の診断方法と、効率的な解決策を考察する。	各車両 エーミング(レヴォーグ)
第48回		総合実習成果発表と振り返り	これまでの実習で得た知識、技能、顧客対応スキルを総合的に発表し、自己評価と今後の課題を明確にする。	
第49回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第50回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第51回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第52回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第53回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第54回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第55回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第56回		実力確認テスト(筆記)	習得した知識を評価する。	
第57回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第58回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第59回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第60回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第61回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第62回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第63回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第64回		実力確認テスト(筆記)	習得した知識を評価する。	
第65回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第66回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第67回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第68回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第69回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第70回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	
第71回		総合復習及び、国家試験受験対策	習熟度確認試験と解説及び、模擬試験の実施と解説	

第72回	実力確認テスト(筆記)	習得した知識を評価する。					
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							21.
8回目ごとに実技試験を実施。 ①設問数は。国家資格試験に準じた内容の3問で行う。 ②授業態度は1回のローテーションで24回実施にて15点。1点ずつの減点式。							21.
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト	2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員			
				実務経験紹介			
更新履歴							
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)			
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

科目名 <sup>1</sup>	検査作業実習		学科名 <sup>2</sup> (コース名)	国際自動車整備科		学年	<sup>3</sup> 3学年
授業形態 <sup>4</sup>	実習	学期	通期	開講年月 <sup>5</sup>	4月	該当資格区分 <sup>6</sup>	国家資格
教育課程区 <sup>7</sup> 分	必修	単位数 <sup>8</sup>	3	時間数 <sup>9</sup>	96	該当資格名称 <sup>10</sup>	二級自動車整備士(総合)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 四輪・二輪自動車の車検、検査作業の知識と技術を習得する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 自動車の車検作業の技術を身につけて記録簿の記入が出来るようになる。 検査作業の知識を身につけて、検査機器を使用して測定、調整の技術を習得する。						
受講条件	13. 特になし						
教科書名	14. 二級自動車整備士(総合)/一般社団法人日本自動車整備振興会連合会/令和6年10月/初版発行/第一章、第四章			教材名 <sup>15</sup>	15. JAMCA参考書、i-Tasu、オリジナルPowerPoint、FAINES		
設備名・機器名	16. パソコン、タブレット、appleTV、プロジェクター			関連サイト <sup>17</sup>	17. なし		
関連前科目	18. なし			関連後科目 <sup>18,19</sup>	19. なし		
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	6月10日	車検作業の概要と自動車検査員の役割①	車検の目的、流れ、自動車検査員に求められる知識と技能を理解する。				
第2回	6月10日	車検作業の概要と自動車検査員の役割②	車検の目的、流れ、自動車検査員に求められる知識と技能を理解する。				
第3回	6月11日	車検における安全衛生と作業環境の準備①	安全な作業手順、使用工具の確認、作業スペースの整理整頓を徹底する。				
第4回	6月11日	車検における安全衛生と作業環境の準備②	安全な作業手順、使用工具の確認、作業スペースの整理整頓を徹底する。				
第5回	6月12日	車検点検項目(原動機、動力伝達装置)の確認と良否判断①	エンジン、ミッション、プロペラシャフトなどの点検項目を学び、異常の有無を判断する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード
第6回	6月12日	車検点検項目(原動機、動力伝達装置)の確認と良否判断②	エンジン、ミッション、プロペラシャフトなどの点検項目を学び、異常の有無を判断する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード
第7回	6月12日	車検点検項目(走行装置、操縦装置)の確認と良否判断①	タイヤ、ホイール、サスペンション、ステアリングなどの点検項目を学ぶ。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード
第8回	6月12日	車検点検項目(走行装置、操縦装置)の確認と良否判断②	タイヤ、ホイール、サスペンション、ステアリングなどの点検項目を学ぶ。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード
第9回	6月17日	車検点検項目(制動装置、緩衝装置)の確認と良否判断①	ブレーキ、ショックアブソーバー、スプリングなどの点検項目を学ぶ。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード
第10回	6月17日	車検点検項目(制動装置、緩衝装置)の確認と良否判断②	ブレーキ、ショックアブソーバー、スプリングなどの点検項目を学ぶ。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード
第11回	6月18日	車検点検項目(電気装置、灯火装置)の確認と良否判断①	バッテリー、配線、ヘッドライト、テールランプなどの点検項目を学ぶ。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード
第12回	6月18日	車検点検項目(電気装置、灯火装置)の確認と良否判断②	バッテリー、配線、ヘッドライト、テールランプなどの点検項目を学ぶ。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード
第13回	6月19日	車検点検項目(車体、その他)の確認と良否判断①	ボディ、窓ガラス、シートベルト、排気ガスなどの点検項目を学ぶ。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード
第14回	6月19日	車検点検項目(車体、その他)の確認と良否判断②	ボディ、窓ガラス、シートベルト、排気ガスなどの点検項目を学ぶ。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード
第15回	6月19日	四輪自動車の車検作業実習① (フィット・ミラージュクラス)	小型乗用車を対象に、一連の車検点検作業を実践する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード
第16回	6月19日	四輪自動車の車検作業実習② (フィット・ミラージュクラス)	小型乗用車を対象に、一連の車検点検作業を実践する。				フィット・ミラージュ・ノートワゴンR・コペン・フリード
第17回	6月24日	四輪自動車の車検作業実習③ (ノート・ワゴンクラス)	別の小型乗用車を対象に、車検点検作業を実践する。				
第18回	6月24日	四輪自動車の車検作業実習④ (コペン・フリードクラス)	特殊な車両やミニバンを対象に、車検点検作業を実践する。				
第19回	6月25日	二輪自動車の車検作業実習① (MC33・NC700クラス)	二輪車の特性を踏まえた車検点検項目と方法を学び、実習を行う。				MC33・NC31・ZR400C・GK7CA NC700・BJ250・Z125
第20回	6月25日	二輪自動車の車検作業実習② (GSX1000クラス)	大型二輪車を対象に、車検点検作業を実践する。				MC33・NC31・ZR400C・GK7CA NC700・BJ250・Z125
第21回	6月26日	点検記録の記入方法①:手書きによる記録	点検記録用紙への正確かつ分かりやすい手書き記入方法を習得する。				
第22回	6月26日	点検記録の記入方法②:タブレット入力による記録	タブレット端末を使用した点検結果の入力方法と、デジタル記録の利便性を学ぶ。				
第23回	6月26日	点検記録の記入方法③:音声入力による記録	音声認識システムを活用した点検結果の入力方法を習得し、効率化を図る。				
第24回	6月26日	点検記録の総合演習(複数の記録方法の併用)	実際の作業状況に応じて、適切な記録方法を選択し、効率的に記録する練習を行う。				
第25回		不具合箇所の特定と整備の必要性の判断	点検結果から不具合箇所を正確に判断し、整備の緊急度や優先順位を決定する。				
第26回		軽微な調整作業の実践(ヘッドライト光軸調整、ベルト張り調整など)	車検合格に必要な基本的な調整作業を実践する。				
第27回		お客様への点検結果の説明と接客応酬話法	専門用語を避け、分かりやすい言葉で点検結果と整備内容を説明する練習を行う。				

第28回	車検点検作業と記録の総合評価とフィードバック	これまでの学習内容を総合的に評価し、改善点を確認する。	
第29回	検査ラインの概要と各検査機器の役割	検査ラインの構成と、各機器（サイドスリップテスター、ブレーキテスターなど）の機能を理解する。	
第30回	サイドスリップテスターの使用方法和測定	サイドスリップの測定原理と、テスターの操作方法、測定値の読み取りを学ぶ。	
第31回	ブレーキテスターの使用方法和測定（制動力、左右差）	ブレーキの制動力測定、左右差の確認方法、テスターの操作を学ぶ。	
第32回	スピードメータテスターの使用方法和測定	スピードメーターの誤差測定方法と、テスターの操作を学ぶ。	
第33回	ヘッドライトテスターの使用方法和測定（光度、光軸）	ヘッドライトの光度と光軸の測定原理、テスターの操作を学ぶ。	
第34回	排気ガステスター（CO/HC）の使用方法和測定	排気ガス成分の測定原理と、テスターの操作、測定値の読み取りを学ぶ。	
第35回	下回り検査（目視、ハンマー打診）と不具合箇所の特長	リフトアップした車両の下回りを検査し、緩み、損傷、オイル漏れなどを確認する。	
第36回	各種検査機器の校正と日常点検	検査機器の精度を保つための校正の重要性と、日常的な点検方法を学ぶ。	
第37回	四輪自動車の検査ライン実習①（フィット・ミラージュクラス）	小型乗用車を対象に、検査ラインでの一連の検査作業を実践する。	
第38回	四輪自動車の検査ライン実習②（ノート・ワゴンRクラス）	別の小型乗用車を対象に、検査ラインでの検査作業を実践する。	
第39回	四輪自動車の検査ライン実習③（コペン・フリードクラス）	特殊な車両やミニバンを対象に、検査ラインでの検査作業を実践する。	
第40回	二輪自動車の検査ライン実習①（MC33・NC700クラス）	二輪車の特性を踏まえた検査ラインでの検査項目と方法を学び、実習を行う。	
第41回	二輪自動車の検査ライン実習②（BJ250・Z125クラス）	別の二輪車を対象に、検査ラインでの検査作業を実践する。	
第42回	保安基準の理解と適合・不適合の判断	自動車の各装置に対する保安基準を詳細に学び、検査結果から適合・不適合を正確に判断する。	
第43回	保安基準適合証の記入方法と重要性	保安基準適合証の各項目への正しい記入方法と、その法的意味合いを学ぶ。	
第44回	検査結果に基づく整備指示と再検査の判断	不具合箇所に対する整備内容を指示し、再検査の必要性を判断する。	
第45回	検査作業におけるトラブルシューティングと対応	検査中に発生する様々な問題（機器の不調、車両の異常など）への対処法を学ぶ。	
第46回	自動車検査員の職務倫理と責任	検査員としての公正さ、正確さ、責任感を再確認する。	
第47回	検査作業の総合演習と模擬検査	実際の車検を想定し、点検から検査ライン、適合証記入までの一連の作業を総合的に実践する。	21.
第48回	検査作業実習成果発表と振り返り	これまでの実習で得た知識と技能を発表し、今後の課題と目標を明確にする。	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

8回目ごとに実技試験を実施。  
 ①設問数は、国家資格試験に準じた内容の3問で行う。  
 ②授業態度は1回のローテーションで24回実施にて15点。1点ずつの減点式。 21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート	3位	3位				15	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	住本 直哉	シラバス承認者	小林 建次	授業担当教員	
				実務経験紹介	

更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者（確認者）
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					